

令和7年度 史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事

設 計 図

▲ 株式会社 工藤金正建築設計

図面リスト							
建築意匠図		建築構造図			電気設備図		
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称		図面番号	図面名称	
A - 01	図面リスト	S - 01	構造設計標準仕様		E - 01	電気設備 特記仕様書	
A - 02	建築特記仕様書 1	S - 02	壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)		E - 02	工事区分表	
A - 03	建築特記仕様書 2	S - 03	壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)		E - 03	付近見取図・配置図・屋外配線図	
A - 04	建築特記仕様書 3	S - 04	地質調査図		E - 04	単線結線図	
A - 05	建築特記仕様書 4	S - 05	浅層地盤改良工法特記仕様書		E - 05	コンセント設備図	
A - 06	建築特記仕様書 5	S - 06	基礎伏図・1階梁伏図		E - 06	機器姿図	
A - 07	建築特記仕様書 6	S - 07	R階梁伏図		E - 07	電灯設備	
A - 08	建築特記仕様書 7	S - 08	軸組図(1)		E - 08	機械設備用配線図	
A - 09	建築特記仕様書 8	S - 09	軸組図(2)		E - 09	トイレ呼出設備図	
A - 10	工事区分表	S - 10	基礎リスト、地中梁リスト、スラブリスト、雑配筋図、壁リスト				
A - 11	仕上表	S - 11	大梁リスト、小梁リスト				
A - 12	付近見取図・配置図	S - 12	配筋詳細図		機械設備図		
A - 13	建物求積図・求積表・開口部検討表	S - 13	架構配筋図		図面番号	図面名称	
A - 14	平面図				M - 01	機械設備 特記仕様書 1	
A - 15	屋根伏図				M - 02	機械設備 特記仕様書 2	
A - 16	立面図・断面図				M - 03	付近見取図・配置図・凡例	
A - 17	矩計図				M - 04	屋外配管図及び給水管布設参考図	
A - 18	平面詳細図				M - 05	衛生器具表	
A - 19	展開図 1				M - 06	衛生設備図 平面詳細図	
A - 20	展開図 2				M - 07	空調設備図 平面詳細図・機器表	
A - 21	展開図 3				M - 08	合併浄化槽設備 平面図・断面図・仕様書等	
A - 22	天井伏図				M - 09	合併浄化槽設備 平面図・断面図・躯体図	
A - 23	建具表				M - 10	合併浄化槽設備 電気配管図及びプロアーポンプ系統図	
A - 24	部分詳細図 1				M - 11	合併浄化槽設備 電気設備 系統図	
A - 25	部分詳細図 2						
A - 26	仮設計画図						

備考 _____



一級建築士事務所
青森県A1第495号
株式会社工藤金正建築設計
1級建築士第153872号
弘前市大学城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559 工藤金正

承認 担当 製図 年月日
Kudou Sugimi Sugimi R.7.3

工事名称 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事
図面名称 図面リスト

縮尺 設計番号 _____
- 圖面番号 A —— 01

令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事 工事特記仕様書		<p>. 工事概要</p> <p>1. 工事場所 青森県弘前市大字大森字勝山961-3</p> <p>2. 敷地面積 889.00 m²</p> <p>3. 工事種目 (1) 休息便益施設 鋼筋コンクリート造 平屋建 新築 1棟 建築面積 102.40 m² 延べ面積 70.40 m² 1階 70.40 m²</p> <p>4. 指定部分 * 有 * 無 対象部分 (指定部分工期 年 月 日)</p> <p>5. 工事範囲 「3.工事種目」すべてを工事範囲とする。 「3.工事種目」のうち _____ の工事範囲は下記のとおりとする。</p>																																																																																																																								
		<p>. 建築工事仕様</p> <p>(1) 国面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官房監査部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「標準仕様書」という。）によるほか、下記仕様書のうち、<input checked="" type="checkbox"/>を付けたものを適用する。 - 建築工事標準詳細図（令和4年版）（以下「標準詳細図」という。） - 建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）</p> <p>(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（E / <input type="checkbox"/>）図、機械設備工事の特記仕様書は（M / <input type="checkbox"/>）図による。</p> <p>(3) 本特記仕様書の表記 1) 項目は、<input checked="" type="checkbox"/>印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、<input checked="" type="checkbox"/>印の付いたものを適用する。 3) 特記事項に記載の（<input type="checkbox"/>）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 4) G印は、「国等による環境物品等の調達に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更議定決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものと示す。</p>																																																																																																																								
		<p>8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事</p> <p>・ 補強コンクリートブロック造</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>断面形状及び圧縮強さによる区分</th> <th>正味厚さ (mm)</th> <th>モード呼び寸法 (mm)</th> <th>化粧の有無</th> <th>適用箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・無・有</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>モルタルの調合（容積比） 標準仕様書表8.2.1による - セメント（<input type="checkbox"/>） : 砂（<input type="checkbox"/>） 各部の配筋 図示による 目地仕上げ - 押し目地仕上げ - 化粧目地仕上げ まぐさをかける開口部両側のブロックのモルタル又はコンクリートで充填する範囲 図示による</p> <p>・ コンクリートブロック 帳壁及び端</p> <p>ブロックの種類等 (8.3.2~4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>断面形状及び圧縮強さによる区分</th> <th>正味厚さ (mm)</th> <th>モード呼び寸法 (mm)</th> <th>化粧の有無</th> <th>(表8.3.1)以外の適用箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・無・有</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 空洞ブロック C (16)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・無・有</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 型枠状ブロック 20</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・無・有</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>モルタルの調合（容積比） 標準仕様書表8.2.1による - セメント（<input type="checkbox"/>） : 砂（<input type="checkbox"/>） 端に用いるブロックの正味厚さ (mm) 端の高さが2mm以下 120 2mm超え 150 壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 図示による 各部の配筋 図示による</p> <p>・ ALC/パネル</p> <p>ALC/パネルの区分等 (8.4.2~5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>単位荷重 (N/m²) 正荷重 / 負荷重</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>幅及び長さ (時間)</th> <th>耐火性能 (時間)</th> <th>構法の種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 外壁用 ・ コーナー ・ 意匠</td> <td>・ 一般 ・ 平 ・ 意匠</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・なし ・ 1</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 間仕切 ・ 壁用 ・ コーナー ・ 意匠</td> <td>・ 一般 ・ 平 ・ 意匠</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・なし ・ 1</td> <td>・ C種 ・ D種 ・ E種</td> </tr> <tr> <td>・ 屋根用</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 床用</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材 外壁、屋根パネルの構法 1章 通用区分による風圧力の(-1 - 1.15 - 1.3)倍の耐風圧性能 外壁パネル構法及び間仕切壁パネル構法における耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による パネル幅の最小限度を600mm未満とする場合 - 図示による 自地幅 (mm) (パネル接合小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出張及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部) 10 ~ 20 外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填 - 適用する - 適用しない</p> <p>・ 押出成形セメント板 (ECP)</p> <p>ECPの種類等 (8.5.2~5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パネルの種類</th> <th>形状</th> <th>長さ (mm)</th> <th>幅 (mm)</th> <th>工法の種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ F</td> <td>・ 50 - 60</td> <td>600</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 外壁パネル</td> <td>・ D ・ T</td> <td>50 - 60 60</td> <td>・</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 間仕切壁パネル</td> <td>・ F ・ D ・ T</td> <td>50 - 60 50 - 60 60</td> <td>600</td> <td>・ B種 ・ C種</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) F: フラットパネル、D: デザインパネル、T: タイルベースパネル</p> <p>外壁パネルの工法における耐風圧性能 1章 通用区分による風圧力の(-1 - 1.15 - 1.3)倍の耐風圧性能 外壁パネル工法及び間仕切壁パネル工法における耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 - 図示による パネル相互の目地幅 (mm) - 長辺 () 短辺 () 出張及び入隅のパネル接合目地の目地幅 (mm) 15程度 耐火構造以外の目地及び隙間の処理 パネルの製造所の仕様 やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>孔あけ及び欠き込みの大さき</th> <th>切削後のパネルの残り部分の幅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パネルに孔あけ を設ける場合</td> <td>短辺 パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下 長辺 500mm以下</td> <td>150mm以下 300mm以下</td> </tr> <tr> <td>パネルに欠き込み を設ける場合</td> <td>短辺 パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下 長辺 500mm以下</td> <td>300mm以下</td> </tr> </tbody> </table>										断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	モード呼び寸法 (mm)	化粧の有無	適用箇所	備考	・	・	・	・無・有	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	モード呼び寸法 (mm)	化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考	・	・	・	・無・有	・	・	・ 空洞ブロック C (16)	・	・	・無・有	・	・	・ 型枠状ブロック 20	・	・	・無・有	・	・	区分	単位荷重 (N/m ²) 正荷重 / 負荷重	厚さ (mm)	幅及び長さ (時間)	耐火性能 (時間)	構法の種別	・ 外壁用 ・ コーナー ・ 意匠	・ 一般 ・ 平 ・ 意匠	・	・	・なし ・ 1	・ A種 ・ B種	・ 間仕切 ・ 壁用 ・ コーナー ・ 意匠	・ 一般 ・ 平 ・ 意匠	・	・	・なし ・ 1	・ C種 ・ D種 ・ E種	・ 屋根用	・	・	・	・	・	・ 床用	・	・	・	・	・	パネルの種類	形状	長さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	備考	・ F	・ 50 - 60	600	・	・	・	・ 外壁パネル	・ D ・ T	50 - 60 60	・	・ A種 ・ B種	・	・ 間仕切壁パネル	・ F ・ D ・ T	50 - 60 50 - 60 60	600	・ B種 ・ C種	・		孔あけ及び欠き込みの大さき	切削後のパネルの残り部分の幅	パネルに孔あけ を設ける場合	短辺 パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下 長辺 500mm以下	150mm以下 300mm以下	パネルに欠き込み を設ける場合	短辺 パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下 長辺 500mm以下	300mm以下
断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	モード呼び寸法 (mm)	化粧の有無	適用箇所	備考																																																																																																																					
・	・	・	・無・有	・	・																																																																																																																					
・	・	・	・	・	・																																																																																																																					
・	・	・	・	・	・																																																																																																																					
断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	モード呼び寸法 (mm)	化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考																																																																																																																					
・	・	・	・無・有	・	・																																																																																																																					
・ 空洞ブロック C (16)	・	・	・無・有	・	・																																																																																																																					
・ 型枠状ブロック 20	・	・	・無・有	・	・																																																																																																																					
区分	単位荷重 (N/m ²) 正荷重 / 負荷重	厚さ (mm)	幅及び長さ (時間)	耐火性能 (時間)	構法の種別																																																																																																																					
・ 外壁用 ・ コーナー ・ 意匠	・ 一般 ・ 平 ・ 意匠	・	・	・なし ・ 1	・ A種 ・ B種																																																																																																																					
・ 間仕切 ・ 壁用 ・ コーナー ・ 意匠	・ 一般 ・ 平 ・ 意匠	・	・	・なし ・ 1	・ C種 ・ D種 ・ E種																																																																																																																					
・ 屋根用	・	・	・	・	・																																																																																																																					
・ 床用	・	・	・	・	・																																																																																																																					
パネルの種類	形状	長さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	備考																																																																																																																					
・ F	・ 50 - 60	600	・	・	・																																																																																																																					
・ 外壁パネル	・ D ・ T	50 - 60 60	・	・ A種 ・ B種	・																																																																																																																					
・ 間仕切壁パネル	・ F ・ D ・ T	50 - 60 50 - 60 60	600	・ B種 ・ C種	・																																																																																																																					
	孔あけ及び欠き込みの大さき	切削後のパネルの残り部分の幅																																																																																																																								
パネルに孔あけ を設ける場合	短辺 パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下 長辺 500mm以下	150mm以下 300mm以下																																																																																																																								
パネルに欠き込み を設ける場合	短辺 パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下 長辺 500mm以下	300mm以下																																																																																																																								
		<p>9 防水工事</p> <p>・ アスファルト防水</p> <p>屋根保護防水 防水層の種別 種別 施工箇所 断熱材 G 断熱用シート ・ A-1 ・ A-2 ・ A-3 ・ B-1 ・ B-2 ・ A -1 ・ A -2 ・ A -3 ・ B -1 ・ B -2 ・ リミングシート 厚さ 0.15mm 以上又はラミネーション 70g/m²程度</p> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 標準仕様書表9.2.3及び表9.2.4による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 R種 厚さ () mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 標準仕様書表9.2.5及び表9.2.6による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 R種 厚さ () mm以上 立上り部への断熱材及び絶縁用シート 設置しない ・ 設置する 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ 水下 80mm以上 床タイル張り 水下 60mm以上 立上り部の保護工法 - 乾式保護材 (品質・性能、試験方法は別表による) 窓業系パネル 類 厚さ () mm 幅 () mm - わんが押え (JIS R 1250) - コンクリート押え - モルタル押え (屋内)</p> <p>屋根露出防水 防水層の種別 種別 施工箇所 断熱材 G 仕上塗料 高日射反射率 防水 G ・ D-1 ・ D-2 ・ D -1 ・ D -2 種類 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・ 適用する ・ 適用する ・ 適用する ・ 適用する ・ 適用する ・ 適用する ・ 適用する ・ 適用する 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 標準仕様書表9.2.8による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 R種 厚さ () mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 標準仕様書表9.2.7及び表9.2.8による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 R種 厚さ () mm以上 断熱用熱工法のルーフレンリ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示による 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 アスファルトルーフィング類の製造所の指定 - () 個 屋内防水 防水層の種別 種別 施工箇所 種別 施工箇所 - E-1 - E-2 保護層 - 設ける (図示による) - 設けない E-1の工程3を行う部位 貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 防水層の下地の上り コンクリート打放し仕上げ 標準仕様書表6.2.4[打放し仕上げ種別]のB種 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 防水層の下地のモルタル塗り - 適用する (施工範囲 図示による) - 適用しない 屋上排水溝 図示による</p>																																																																																																																								

・ 改質アスファルトシート防水	屋根露出防水 防水層の種別 (9.3.2、3)(表 9.3.1~3)					<p>固定金具の材質、形状及び寸法 厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの</p> <p>接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ルーフィングシートの製造所の仕様 設置数量 ルーフィングシートの製造所の仕様 ・()個 接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地処理 ・行う(・図示による) プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り(種別S-F1、SI-F1の場合) ・行う(・図示による) ・行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 1章 適用区分による風圧力の(・1)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>材料による区分 材料による区分 R種 厚さ()mm以上 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ 標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 R種 厚さ()mm以上 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ 標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 R種 厚さ()mm以上 立上り部の押え金具の材質、形状及び寸法 アルミニウム製 L-30×15形状2.0mm程度 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ・()個</p>																																																												
	防水層の種別 (9.5.3)(表 9.5.1、2)																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th><th>施工箇所</th><th>仕上塗料</th><th>保護層</th><th>高反射率防水 G</th></tr> <tr> <th>種類</th><th>使用量</th><th>種類</th><th>使用量</th><th>種類</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・X-1</td><td></td><td>・主材料の製造所の仕様</td><td>・主材料の製造所の仕様</td><td>・適用する</td></tr> <tr> <td>・X-2</td><td></td><td>・主材料の製造所の仕様</td><td>・主材料の製造所の仕様</td><td>・適用する</td></tr> <tr> <td>・Y-1</td><td>地下外壁 防水</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・Y-2</td><td>屋内防水</td><td></td><td></td><td>・適用する ・適用しない</td></tr> </tbody> </table>								種別	施工箇所	仕上塗料	保護層	高反射率防水 G	種類	使用量	種類	使用量	種類	・X-1		・主材料の製造所の仕様	・主材料の製造所の仕様	・適用する	・X-2		・主材料の製造所の仕様	・主材料の製造所の仕様	・適用する	・Y-1	地下外壁 防水				・Y-2	屋内防水			・適用する ・適用しない																												
種別	施工箇所	仕上塗料	保護層	高反射率防水 G																																																														
種類	使用量	種類	使用量	種類																																																														
・X-1		・主材料の製造所の仕様	・主材料の製造所の仕様	・適用する																																																														
・X-2		・主材料の製造所の仕様	・主材料の製造所の仕様	・適用する																																																														
・Y-1	地下外壁 防水																																																																	
・Y-2	屋内防水			・適用する ・適用しない																																																														
ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量 種類 主材料の製造所の仕様 設置数量 主材料の製造所の仕様 ・()個																																																																		
ケイ酸質系塗布防水 (9.6.4)(表 9.6.1)																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th><th>施工箇所</th><th>種類</th><th>施工箇所</th></tr> <tr> <th>・C-SU1</th><th></th><th>・C-SUP</th><th></th></tr> </thead> </table>										種類	施工箇所	種類	施工箇所	・C-SU1		・C-SUP																																																		
種類	施工箇所	種類	施工箇所																																																															
・C-SU1		・C-SUP																																																																
防水層の下地 壁 コンクリート打放し仕上げ(表6.2.4 B種) 天井部 コンクリート打放し仕上げ(表6.2.4 B種)																																																																		
下地処理 コンクリートの打継ぎ箇所の処理 打継ぎ部分に対し、幅30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗い清掃し、ケイ酸質系塗布防水材の製造所の仕様により、ポリマーセメントモルタルを充填する。 ・図示による 標準仕様書9.6.4(2)(イ)、(カ)以外の下地処理 ・図示による																																																																		
・ 合成高分子系ルーフィングシート防水	防水層の種別 (9.4.2~4)(表 9.4.1~3)																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th><th>施工箇所</th><th>可塑剤 移行防止 シートの材質</th><th>断熱材 G</th><th>仕上塗料</th><th>高反射率防水 G</th></tr> <tr> <th>種類</th><th>使用量</th><th>シートの材質</th><th>種類</th><th>使用量</th><th>種類</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・S-F1</td><td></td><td></td><td></td><td>・ルーフィング シートの 製造所の 仕様</td><td>・適用する</td></tr> <tr> <td>・S-F2</td><td></td><td></td><td></td><td>・ルーフィング シートの 製造所の 仕様</td><td>・適用する</td></tr> <tr> <td>・S-M1</td><td></td><td></td><td></td><td>・ルーフィング シートの 製造所の 仕様</td><td>・適用する</td></tr> <tr> <td>・S-M2</td><td></td><td></td><td></td><td>・ルーフィング シートの 製造所の 仕様</td><td>・適用する</td></tr> <tr> <td>・SI-F1</td><td></td><td>標準仕様書 9.4.2(3) (I)(b) (種類) (厚さ)(mm)</td><td></td><td>・ルーフィング シートの 製造所の 仕様</td><td>・適用する</td></tr> <tr> <td>・SI-F2</td><td></td><td>標準仕様書 9.4.2(3) (I)(a) (種類) (厚さ)(mm)</td><td></td><td>・ルーフィング シートの 製造所の 仕様</td><td>・適用する</td></tr> <tr> <td>・SI-M1</td><td></td><td>発泡ガルフ シート (厚さ)(mm)</td><td></td><td>・ルーフィング シートの 製造所の 仕様</td><td>・適用する</td></tr> <tr> <td>・SI-M2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・適用する</td></tr> </tbody> </table>							種別	施工箇所	可塑剤 移行防止 シートの材質	断熱材 G	仕上塗料	高反射率防水 G	種類	使用量	シートの材質	種類	使用量	種類	・S-F1				・ルーフィング シートの 製造所の 仕様	・適用する	・S-F2				・ルーフィング シートの 製造所の 仕様	・適用する	・S-M1				・ルーフィング シートの 製造所の 仕様	・適用する	・S-M2				・ルーフィング シートの 製造所の 仕様	・適用する	・SI-F1		標準仕様書 9.4.2(3) (I)(b) (種類) (厚さ)(mm)		・ルーフィング シートの 製造所の 仕様	・適用する	・SI-F2		標準仕様書 9.4.2(3) (I)(a) (種類) (厚さ)(mm)		・ルーフィング シートの 製造所の 仕様	・適用する	・SI-M1		発泡ガルフ シート (厚さ)(mm)		・ルーフィング シートの 製造所の 仕様	・適用する	・SI-M2				
種別	施工箇所	可塑剤 移行防止 シートの材質	断熱材 G	仕上塗料	高反射率防水 G																																																													
種類	使用量	シートの材質	種類	使用量	種類																																																													
・S-F1				・ルーフィング シートの 製造所の 仕様	・適用する																																																													
・S-F2				・ルーフィング シートの 製造所の 仕様	・適用する																																																													
・S-M1				・ルーフィング シートの 製造所の 仕様	・適用する																																																													
・S-M2				・ルーフィング シートの 製造所の 仕様	・適用する																																																													
・SI-F1		標準仕様書 9.4.2(3) (I)(b) (種類) (厚さ)(mm)		・ルーフィング シートの 製造所の 仕様	・適用する																																																													
・SI-F2		標準仕様書 9.4.2(3) (I)(a) (種類) (厚さ)(mm)		・ルーフィング シートの 製造所の 仕様	・適用する																																																													
・SI-M1		発泡ガルフ シート (厚さ)(mm)		・ルーフィング シートの 製造所の 仕様	・適用する																																																													
・SI-M2					・適用する																																																													
S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 非歩行仕様 ・軽歩行仕様 SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム ・設置する ・設置しない																																																																		
屋内防水 防水層の種別 保護層 平場の保護モルタル塗厚 立上り部の保護モルタル塗厚 7mm以下																																																																		
平場のモルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類 目地割 目地割2m程度、最大目地間隔3m程度 目地の種類 押し目地 合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ 標準仕様書9.4.1から表9.4.3による ・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ 種類 厚さ()mm以上																																																																		
10 石工事 施工 石材等 石材の割付け 図示による																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>天然石</th><th>施工箇所</th><th>岩石の種類</th><th>形状及び寸法 (mm)</th><th>厚さ (mm)</th><th>表面仕上げの 種類</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td>・床石</td><td></td><td>・図示による</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>										天然石	施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げの 種類	備考		・床石		・図示による																																														
天然石	施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げの 種類	備考																																																												
	・床石		・図示による																																																															
ジェットバーナー仕上げのバフ仕上げの有無 ・あり ・なし																																																																		
テラゾブロック 施工箇所 種石の種類 種石の大さき(mm) 形状による区分 仕上げ面による区分 寸法(mm) 表面仕上げの種類 備考 大理石 1.5~12 ·平もの ・花こう岩 12~ ·役もの ・片面 ・両面																																																																		

・ オーバーヘッドドア	(16.13.2、3)					・ ガラスブロック積み	(16.14.5)						18 塗装工事	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (18.1.3)									
	セクション材料による区分	風圧力による強さの区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料		呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能		F 防火材料 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 以下の箇所を除き防火材料とする。 (箇所：)									
電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所・建具表による)																							
・ ガラス	・ フロートガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 (9.7) (16.14.2~4) (図16.14.1)					壁用金属枠及び補強材 図示による 力骨 材質 ・ ステンレス鋼 (SUS304) 寸法 径 5.5mm 形状 はしご形状複筋及び単筋 化粧目地モルタルの色 (・白 ・グレー) シーリングの種類 (・SR-1 ・PS-1) 金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 図示による 形状 図示による 木下地の場合のアンカー等の取付け間隔 ・ 図示による 目地部の横力骨の納まり ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示による 工法 1章 通用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法																	
	・ 型板ガラスの厚さによる種類 ・ 建具表による																						
	・ 紹入板ガラス及び紹入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・ 建具表による																						
	・ 合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ・ 建具表による																						
	落球衝撃はく離特性及びショットパック衝撃特性による種類 ・ 類 ・ -1類 ・ -2類 ・ 類																						
	・ 強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ・ 建具表による																						
	破片の状態及びショットパック衝撃特性による種類 ・ 類 ・ 類																						
	・ 熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類 ・ 建具表による																						
	性能による種類 ・ 1種 ・ 2種																						
	・ 接層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに接層ガラスの厚さ ・ 建具表による																						
	断熱性による区分 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6																						
	日射取得性及び日射遮蔽性による区分 ・ G ・ S																						
	乾燥気体の種類 ・ 空気 ・ アルゴン																						
	・ 热反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・ 建具表による																						
	日射熱遮へい性による区分 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種																						
	耐久性による区分 (日射熱遮蔽性による区分が2種の場合) ・ A類 ・ B類																						
	・ 倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・ 建具表による																						
17 カーテンウォール工事	ガラスの留め材及び溝の大きさ (16.14.2)(9.7)					・ 取付け形態、性能等 ・ 取付け形態による分類 ・ 棚間方式 ・ 柱・梁方式 ・ 方立方式 ・ スパン・ドレル方式 性能 ・ 水密性 ・ 気密性 ・ 遮音性 ・ 断熱性 ・ 耐火性 ・ 耐温度差性() 耐風圧性 1章 通用区分による風圧力 (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 主要部材の耐風圧性能 (ガラスを除く) 支点間距離 (h) 耐風圧性能 4m以下 ・ たわみ量が $\pm (1/150) \times h$ かつ絶対量20mm以下であること 4mを超える 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 性能の確認方法及び判定方法 性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督職員の承認を受ける ・ 金属系材料の種類 ・ アルミニウム材 ・ 鋼材 ・ ステンレス鋼材 シーリング材の種類 (目地等) 種類及び寸法等 ・ 図示による ガラスの取付け材料 ・ シーリング ・ 断熱材 f ・ 種類及び範囲 形状、寸法等 ・ 図示による 断熱材 f ・ 種類及び範囲 形状及び仕上げ 製品の寸法許容差 標準仕様書表17.2.1による 見えかえり部の仕上げ (アルミニウム材の場合) 規格等 標準仕様書16.2.3による 種別 ・ (標準仕様書表14.2.1) 着色 ・ 標準色 ・ 特注色 (鋼材及びステンレス鋼材の場合) ガラス溝の寸法、形状等 カーテンウォールの製造所の仕様																	
	・ 建具の種類 ・ ガラス留め材の種類 ・ ガラス溝の大きさ (mm)																						
	・ アルミニウム製 ・ シーリング材 ・ グレイジングチャンネル ・ 建具製造所の仕様による ・ 図示による																						
	・ 鋼製及び鋼製軽量 ・ シーリング材 ・ 建具製造所の仕様による ・ 図示による																						
	・ ステンレス製 ・ シーリング材 ・ 建具製造所の仕様による ・ 図示による																						
	・ 樹脂製 ・ グレイジングガスケット ・ 建具製造所の仕様による ・ 図示による																						
	耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。																						
18 塗装工事	・ ガラスブロック積み					取り付け 軽体付け金物の取付け位置の寸法許容差 鉛直方向 ± 10mm 水平方向 ± 25mm カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 目地の幅 ± 3mm 目地の心の通り 0 ~ 2mm 目地両側の段差 0 ~ 2mm 各階の基準墨から各部位までの距離 ± 3mm 耐火処理 適用部位、材料等 ガラスの取付け材料 ガラスの取付け材料がシーリングの場合はガラスの支持方法 4寸支持 材料 コンクリート 種類 (・普通コンクリート ・ 軽量コンクリート1種) 品質 設計基準強度 (Fc) 30N/mm ² スランプ 12cm 気乾単位容積質量 ・ 普通コンクリートの場合 2.1t/m ³ を超え 2.5t/m ³ 以下 ・ 軽量コンクリートの場合 1.8 t/m ³ ~ 2.1 t/m ³ 単位水量の最大値 185kg/m ³ ? 鉄筋 種類の記号 SD295 補強鉄線 径 (mm) 3.2 4.0 5.0 6.0 網目寸法 シーリング材の種類 (目地等) 種類及び寸法等 ガラスの取付け材料 ・ 構造ガスケット 形状、寸法等 耐火処理 適用部位、材料等 断熱材 G 種類 () 種類及び範囲 先付けの材料 ・ 表面仕上材 ・ セラミックタイル ・ 石材 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール 形状及び仕上げ 製品の見えかえり部の寸法許容差 辺長 ± 3mm 対角線長の差 0 ~ 5mm 版厚 ± 2mm 開口部内寸法 ± 2mm ねじれ、反り 0 ~ 5mm 曲がり 0 ~ 3mm 面の凹凸 0 ~ 3mm 先付け金物の位置 0 ~ 5mm PCカーテンウォールの仕上げ 構造ガスケットを用いる場合のアンカーモルタルの寸法及び寸法許容差 (mm) 図示による 製作 PC版の配筋 取付け 軽体付け金物の取付け位置の寸法許容差 鉛直方向 ± 10mm 水平方向 ± 25mm カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 目地の幅 ± 5mm 目地の心の通り 0 ~ 3mm 目地両側の段差 0 ~ 4mm 各階の基準墨から各部位までの距離 ± 5mm ガラスの取付け方法 ・ ガラスの取付け材が構造用ガスケットで複層ガラス等を使用する場合は排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う																	
	・ 素地ごしらえ																						
	・ 下地面等 木部 鉄鋼面 鉄鋼面 (DP以外) 鉄鋼面 (DPのみ) 亜鉛めっき鋼面 モルタル面及びせっこうプレスター面 コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面 押出成形セメント板面 コンクリート面 (DPのみ) せっこうボード面及び 目地：縫目処理工法 その他ボード面 目地：縫目処理工法以外																						
	種別 A種 B種 A種 B種 C種 A種 B種 B種 A種 C種 ・ A種 B種 モルタル面及びせっこうプレスター面 コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面 押出成形セメント板面 コンクリート面 (DPのみ) せっこうボード面及び 目地：縫目処理工法 その他ボード面 目地：縫目処理工法以外																						
	(18.2.2~7)																						

		<p>ハンガーレール及びランナ パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナ数で除した値に対して、耐力及び 変形量が使用上支障のないもの</p> <p>(品質・性能は別表による)</p> <p style="text-align: right;">(20.2.5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">表面材の材料</th> <th>脚部</th> <th>ドアエッジ</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・メラミン樹脂化粧板</td> <td>・幅木タイプ</td> <td>製造所の仕様による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ポリエチル樹脂化粧板</td> <td></td> <td>・アルミニウム製</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>・ステンレス製</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(品質・性能、試験方法は別表による)</p>	表面材の材料		脚部	ドアエッジ	種類	材質			・メラミン樹脂化粧板	・幅木タイプ	製造所の仕様による		・ポリエチル樹脂化粧板		・アルミニウム製		・		・ステンレス製		<p>・ ブラインド</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>操作方法の種類</th> <th>スロットの種類</th> <th>スロット幅</th> <th>ギャップ・レールの材種</th> <th>幅・高さ取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・横形</td> <td>・手動</td> <td>・コード式</td> <td>アルミニウム合金製 G</td> <td>25</td> <td>鋼製</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・電動</td> <td>・操作棒式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・縦形</td> <td>・手動</td> <td>2本操作コード式</td> <td>アルミニウム合金製</td> <td>80</td> <td>・ステンレス鋼 (SUS304)</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1本操作コード式</td> <td></td> <td>100</td> <td>・硬質アルミニウム合金</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・電動</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ステンレス鋼 (SUS304)製</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>縦型ブラインドのスラットの材質 ・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ ・クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエチル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする</p>	形式	操作方法	操作方法の種類	スロットの種類	スロット幅	ギャップ・レールの材種	幅・高さ取付箇所	・横形	・手動	・コード式	アルミニウム合金製 G	25	鋼製	・図示による		・電動	・操作棒式					・縦形	・手動	2本操作コード式	アルミニウム合金製	80	・ステンレス鋼 (SUS304)	・図示による			1本操作コード式		100	・硬質アルミニウム合金			・電動				・ステンレス鋼 (SUS304)製		<p>・ 止水板</p> <p>形式 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式 施工箇所 ・図示による</p> <p>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。</p>	<p>・ 鋼製書架及び物品棚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・鋼製書架</td> <td>JIS S 1039 の規格による</td> <td>・1種 ・2種 ・3種</td> </tr> <tr> <td>・鋼製物品棚</td> <td></td> <td>・4種 ・5種 ・6種</td> </tr> </tbody> </table>	種類	規格等	JISによる種類	・鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	・1種 ・2種 ・3種	・鋼製物品棚		・4種 ・5種 ・6種																																																																																																																																																																																																												
表面材の材料		脚部	ドアエッジ																																																																																																																																																																																																																																																																																					
種類	材質																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・メラミン樹脂化粧板	・幅木タイプ	製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・ポリエチル樹脂化粧板		・アルミニウム製																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・		・ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																																																						
形式	操作方法	操作方法の種類	スロットの種類	スロット幅	ギャップ・レールの材種	幅・高さ取付箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・横形	・手動	・コード式	アルミニウム合金製 G	25	鋼製	・図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・電動	・操作棒式																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・縦形	・手動	2本操作コード式	アルミニウム合金製	80	・ステンレス鋼 (SUS304)	・図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		1本操作コード式		100	・硬質アルミニウム合金																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・電動				・ステンレス鋼 (SUS304)製																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種類	規格等	JISによる種類																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	・1種 ・2種 ・3種																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・鋼製物品棚		・4種 ・5種 ・6種																																																																																																																																																																																																																																																																																						
<p>・ トイレベース</p> <p>・ 手すり</p> <p>・ 階段滑り止め</p> <p>・ 黒板及びホワイトボード G</p> <p>・ 鏡</p> <p>・ 表示</p> <p>・ タラップ</p> <p>・ 煙突ライニング</p>	<p>材料の種類及び仕上げ ・SUS304 表面処理 HL程度 ・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (標準仕様書表14.2.1による種別 ()種) ・アルミニウム 表面処理 (標準仕様書表14.2.1による種別 ()種) 色合い・標準色()・特注色() 手すりの握り部分 材種 表面仕上げ 直径(mm) 取付箇所 備考 ・集成材 クリアラッカー 35程度 ・集成材 45程度 ・ビニル製 35程度 45程度</p> <p>材種 ・ステンレス製 ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材 形状 タイヤ型(タイヤの材質:ゴム又は合成樹脂合等) タイヤレス型 端部の形状 ・フラットエンドあり ・フラットエンドなし 寸法(幅) 35mm程度 40mm程度 50mm程度 取付け工法 接着工法 埋込み工法</p> <p>・黒板 区分 焼き付け 種類 ・鋼製黒板 ・はうろう黒板 色 緑 ・ホワイトボード 取付け箇所() 寸法(mm) 図示による 厚さ(mm) 5 衝突防止表示 設置する (設置場所: 図示による) 形状・寸法(30) 材質 (・ステンレス製) 設置しない 誘導標識、非常用入り口等の表示 消防法に適合する市販品 室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 (案内用記号はJIS Z 8210による) 図示による</p> <p>材質及び仕上げ ・SUS304 (スリップ止め加工あり・なし) ・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (標準仕様書表14.2.2による種別 (C種) (D種))</p> <p>通用安全使用温度 工法 鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材)</p>	<p>・ ロールスクリーン</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの材種</th> <th>その他の材料</th> <th>幅・高さ取付箇所</th> <th>品質等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・スプリング式</td> <td>ガラス織維製</td> <td>製造所の仕様</td> <td>・図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コード式</td> <td>・合成・天然織維製</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・電動式</td> <td>木製</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>スクリーンの仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの ポリエチル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする</p> <p>・ カーテン</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>生地の種別、品質、特殊加工等</th> <th>取付け箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・シザーリー・片引き</td> <td>・手引き</td> <td>・つまみひだ</td> <td></td> <td>・図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ダブル・引分け</td> <td>・ひも引き</td> <td>・箱ひだ、片ひだ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・電動</td> <td>・アレンひだ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>カーテンの仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの ポリエチル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする</p> <p>・ カーテンレール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料による区分</th> <th>アルミニウム及びアルミニウム合金の押し出し成型材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ステンレス製</td> <td></td> </tr> <tr> <td>強さによる区分</td> <td>10-90</td> </tr> <tr> <td>仕上げ</td> <td>アルマイド</td> </tr> <tr> <td>形状</td> <td>角形</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ ブラインドボックス 及びカーテンボックス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>溝幅×深さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・90×150 120×80</td> </tr> <tr> <td>・120×150 150×80</td> </tr> <tr> <td>・図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>材種 ・集成材(仕上げ:) ・アルミニウム製 押出し型材(市販品) 標準仕様書表14.2.1による種別 ・BC-1種 BC-2種 色合い ・標準色()・特注色() ・鋼製(仕上げ:)</p> <p>・ 天井点検口</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外特</th> <th>内特</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アルミニウム製</td> <td>450×450</td> <td>一般形</td> <td>・屋内外用</td> <td>・額縁タイプ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>600×600</td> <td>密閉形</td> <td>・屋内用</td> <td>・目地タイプ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・目地</td> <td>・目地</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・気密形</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(品質・性能、試験方法は別表による)</p> <p>・ 床点検口</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アルミニウム製</td> <td>450×450</td> <td>一般形</td> <td>・鍵付き</td> </tr> <tr> <td></td> <td>600×600</td> <td>密閉形</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にバッキンを装着したものとする。 (品質・性能、試験方法は別表による)</p> <p>・ 耐震スリット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>方向</th> <th>幅(mm)</th> <th>タイプ</th> <th>耐火性能</th> <th>防水性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・垂直</td> <td>25</td> <td>・完全(全貫通型)</td> <td>・耐火型</td> <td>・有り</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・非耐火型</td> <td>・無し</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・水平</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>目地</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目地</th> <th>内壁</th> <th>外壁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目地材</td> <td>・シーリング材(見え掛かり部のみ)</td> <td>・シーリング材(見え掛け部のみ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・シーリング材(内外とも)</td> </tr> <tr> <td>目地寸法(mm)</td> <td>・スリット幅×深さ10</td> <td>・スリット幅×深さ10</td> </tr> </tbody> </table> <p>目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による</p>	操作方法	スクリーンの材種	その他の材料	幅・高さ取付箇所	品質等	・スプリング式	ガラス織維製	製造所の仕様	・図示による		・コード式	・合成・天然織維製				・電動式	木製				形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種別、品質、特殊加工等	取付け箇所	備考	・シザーリー・片引き	・手引き	・つまみひだ		・図示による		・ダブル・引分け	・ひも引き	・箱ひだ、片ひだ					・電動	・アレンひだ				材料による区分	アルミニウム及びアルミニウム合金の押し出し成型材	・ステンレス製		強さによる区分	10-90	仕上げ	アルマイド	形状	角形	溝幅×深さ(mm)	・90×150 120×80	・120×150 150×80	・図示による	材種	寸法	形式	外特	内特	・アルミニウム製	450×450	一般形	・屋内外用	・額縁タイプ		600×600	密閉形	・屋内用	・目地タイプ				・目地	・目地				・気密形		材種	寸法	形式	備考	・アルミニウム製	450×450	一般形	・鍵付き		600×600	密閉形		方向	幅(mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考	・垂直	25	・完全(全貫通型)	・耐火型	・有り					・非耐火型	・無し		・水平	25					目地	内壁	外壁	目地材	・シーリング材(見え掛かり部のみ)	・シーリング材(見え掛け部のみ)			・シーリング材(内外とも)	目地寸法(mm)	・スリット幅×深さ10	・スリット幅×深さ10	<p>・ 止水板</p> <p>形式 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式 施工箇所 ・図示による</p> <p>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。</p> <p>・ エキスパンションジョイント金物</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>受け枠</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・塩化ビニル又はゴム製</td> <td>・ステンレス鋼 (SUS304)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質アルミニウム合金製</td> <td>・硬質アルミニウム合金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼 (SUS304)製</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ くつふきマット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>受け枠</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・塩化ビニル又はゴム製</td> <td>・ステンレス鋼 (SUS304)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質アルミニウム合金製</td> <td>・硬質アルミニウム合金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼 (SUS304)製</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 流し台ユニット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・流し台</td> <td>II D H</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1200 550 800</td> <td>市販品</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1500 600 850</td> <td>トラップ付き</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1800 650</td> <td>天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・コンロ台</td> <td>600 550 620</td> <td>市販品</td> </tr> <tr> <td></td> <td>600 600 670</td> <td>バックガード有り</td> </tr> <tr> <td></td> <td>650</td> <td>天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・フリードレ</td> <td>1200 450 500</td> <td>市販品</td> </tr> <tr> <td></td> <td>900 700</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・水切り</td> <td>1200 900 600</td> <td>市販品</td> </tr> <tr> <td></td> <td>900</td> <td>ステンレス製</td> </tr> <tr> <td></td> <td>600</td> <td>1段式</td> </tr> </tbody> </table> <p>品質・性能 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。 構成材は、JIS A 4420 の8により試験を行ったとき、表1の規定による。</p> <p>形状 図示による ミニキッチン1050</p> <p>・ 旗竿</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>形式</th> <th>高さ(m)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>・テーバー式</td> <td></td> <td>・ハンドル式</td> <td>・ベース式</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・同一断面式</td> <td></td> <td>・ロープ式</td> <td>・バンド式</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 旗竿受金物</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>・ステンレス製 (SUS 304)</th> </tr> </thead> </table> <p>・ 車止めさく</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>材種</th> <th>柱径、肉厚(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・上下式鎖内蔵式</td> <td>・標準品</td> <td>・ステンレス製</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・スプリング式</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ フェンス</p> <p>フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンションフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス 高さ ・図示による</p> <p>・ ブレキャストコンクリート</p> <p>コンクリートの設計基準強度 水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m²を満足する調合強度 ・図示による</p> <p>配筋 筋を定めた計算書を監督職員に提出する ・図示による 取付け方法 ・図示による</p> <p>・ 間知石及びコンクリート間知ブロック積み</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・間知石</td> <td>・花こう岩</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・凝灰岩</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート間知ブロック</td> <td>-</td> <td>A B</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>積み方 ・谷積み・布積み ・目詰り ・図示による 伸縮調整目地 材種 ・図示による 厚さ ・図示による</p> <p>21 排水工事</p> <p>材料 (21.2.1、2)(表 21.2.1、2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>種類・記号</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>外径管(1種)</td> <td>B形管</td> <td></td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・RF-VP G</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・RS-VU G</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・VP</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・VU</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>基床の厚さ及び種類 ・図示による 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 接着剤 側塊の形状及び寸法 ・図示による 排水樹の種類 ・図示による 砂地盤に用いる材料 ・シリト・山砂</p> <p>・川砂</p> <p>砂利地盤に用いる材料 ・再生クラッシュラン G ・切込砂利又は切込碎石 ・現場打ちのコンクリート材料 設計基準強度(N/mm²) 18 スランプ(cm) 15又は18 ・現場打ちの場合の骨材 種類の記号 S2295 ・排水管が現場打ちの場合の足掛け金物 標準仕様書表21.2.2(6)(オ) 材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ・合成樹脂被覆加工されたもの 凍上抑制層に用いる材料 (秒を用いる場合の粒度試験) ・行う ・行わない</p>	材種	受け枠	備考	・塩化ビニル又はゴム製	・ステンレス鋼 (SUS304)		・硬質アルミニウム合金製	・硬質アルミニウム合金		・ステンレス鋼 (SUS304)製			材種	受け枠	備考	・塩化ビニル又はゴム製	・ステンレス鋼 (SUS304)		・硬質アルミニウム合金製	・硬質アルミニウム合金		・ステンレス鋼 (SUS304)製			材種	寸法(mm)	備考	・流し台	II D H			1200 550 800	市販品		1500 600 850	トラップ付き		1800 650	天板ステンレス製	・コンロ台	600 550 620	市販品		600 600 670	バックガード有り		650	天板ステンレス製	・フリードレ	1200 450 500	市販品		900 700		・水切り	1200 900 600	市販品		900	ステンレス製		600	1段式	材種	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考	・アルミニウム合金製	・テーバー式		・ハンドル式	・ベース式			・同一断面式		・ロープ式	・バンド式		材種	・ステンレス製 (SUS 304)	形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)	・上下式鎖内蔵式	・標準品	・ステンレス製			・スプリング式			材種	種類	質量区分	備考	・間知石	・花こう岩	-			・凝灰岩	-		・コンクリート間知ブロック	-	A B		材種	種類・記号	形状	呼び径	備考	・遠心力鉄筋コンクリート管	外径管(1種)	B形管		・図示による						・RF-VP G				・図示による	・RS-VU G				・図示による	・VP				・図示による	・VU				・図示による
操作方法	スクリーンの材種	その他の材料	幅・高さ取付箇所	品質等																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・スプリング式	ガラス織維製	製造所の仕様	・図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・コード式	・合成・天然織維製																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・電動式	木製																																																																																																																																																																																																																																																																																							
形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種別、品質、特殊加工等	取付け箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・シザーリー・片引き	・手引き	・つまみひだ		・図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ダブル・引分け	・ひも引き	・箱ひだ、片ひだ																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	・電動	・アレンひだ																																																																																																																																																																																																																																																																																						
材料による区分	アルミニウム及びアルミニウム合金の押し出し成型材																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																																																								
強さによる区分	10-90																																																																																																																																																																																																																																																																																							
仕上げ	アルマイド																																																																																																																																																																																																																																																																																							
形状	角形																																																																																																																																																																																																																																																																																							
溝幅×深さ(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・90×150 120×80																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・120×150 150×80																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																								
材種	寸法	形式	外特	内特																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・アルミニウム製	450×450	一般形	・屋内外用	・額縁タイプ																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	600×600	密閉形	・屋内用	・目地タイプ																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			・目地	・目地																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			・気密形																																																																																																																																																																																																																																																																																					
材種	寸法	形式	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・アルミニウム製	450×450	一般形	・鍵付き																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	600×600	密閉形																																																																																																																																																																																																																																																																																						
方向	幅(mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・垂直	25	・完全(全貫通型)	・耐火型	・有り																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			・非耐火型	・無し																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・水平	25																																																																																																																																																																																																																																																																																							
目地	内壁	外壁																																																																																																																																																																																																																																																																																						
目地材	・シーリング材(見え掛かり部のみ)	・シーリング材(見え掛け部のみ)																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		・シーリング材(内外とも)																																																																																																																																																																																																																																																																																						
目地寸法(mm)	・スリット幅×深さ10	・スリット幅×深さ10																																																																																																																																																																																																																																																																																						
材種	受け枠	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・塩化ビニル又はゴム製	・ステンレス鋼 (SUS304)																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・硬質アルミニウム合金製	・硬質アルミニウム合金																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ステンレス鋼 (SUS304)製																																																																																																																																																																																																																																																																																								
材種	受け枠	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・塩化ビニル又はゴム製	・ステンレス鋼 (SUS304)																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・硬質アルミニウム合金製	・硬質アルミニウム合金																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ステンレス鋼 (SUS304)製																																																																																																																																																																																																																																																																																								
材種	寸法(mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・流し台	II D H																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	1200 550 800	市販品																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	1500 600 850	トラップ付き																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	1800 650	天板ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・コンロ台	600 550 620	市販品																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	600 600 670	バックガード有り																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	650	天板ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・フリードレ	1200 450 500	市販品																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	900 700																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・水切り	1200 900 600	市販品																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	900	ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	600	1段式																																																																																																																																																																																																																																																																																						
材種	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・アルミニウム合金製	・テーバー式		・ハンドル式	・ベース式																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・同一断面式		・ロープ式	・バンド式																																																																																																																																																																																																																																																																																				
材種	・ステンレス製 (SUS 304)																																																																																																																																																																																																																																																																																							
形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・上下式鎖内蔵式	・標準品	・ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	・スプリング式																																																																																																																																																																																																																																																																																							
材種	種類	質量区分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・間知石	・花こう岩	-																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	・凝灰岩	-																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・コンクリート間知ブロック	-	A B																																																																																																																																																																																																																																																																																						
材種	種類・記号	形状	呼び径	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・遠心力鉄筋コンクリート管	外径管(1種)	B形管		・図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・RF-VP G				・図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・RS-VU G				・図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・VP				・図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・VU				・図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																				
備考	一級建築士事務所 株式会社 工藤金正建築設計 弘前市大学城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559 工藤金正	承認 Kudou	担当 Sugimi	製図 Sugimi	年月日 R.7.3	工事名称 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事	縮尺 -	設計番号 A — 09																																																																																																																																																																																																																																																																																
						図面名称 建築特記仕様書 8		図面番号 A — 09																																																																																																																																																																																																																																																																																

工事区分表										(他工事との取合い等)										区分は 印を適用する										A 建築工事 E 電気設備工事 M 機械設備工事 EV エレベーター設備工事										複数箇所に 印があるものは、各工事を適用する									
	項目	A	E	M	EV		備考		項目	A	E	M	EV		備考		項目	A	E	M	EV		備考		項目	A	E	M	EV		備考																		
躯体関係									ユニットバス・シャワーユニット		○						自家発電設備								エレベーター設備																								
RC造(梁・壁・床) の貫通孔・開口部	貫通スリーブ	○	○	○	○				既製浴槽		○						自家発電装置		○						機械室・昇降路の躯体	○																							
	貫通スリーブの補強	○							コンクリート浴槽	○							発電装置 基礎	○							機械室の床開口	○																							
	開口部の型枠・補強	○							浴槽排水金物		○						トレーンチ	○							機械室の床配管ピット・蓋	○																							
	貫通スリーブ・開口部の墨出し	○	○	○	○				洗濯機パン		○						トレーンチ用 蓋	○							機械室の上げ床コンクリート打設・仕上	○																							
	貫通スリーブ・型枠部の穴埋め	○	○	○	○	防火・防煙区画			事務室通り	フリー・アクセスフロアパネル切込み加工	○						主燃料タンク(充填砂共)	○							巻上機周囲のチェックブレート敷																								
									フリー・アクセスフロア給排気グリル	○							主燃料タンク用 基礎・外郭工事	○							昇降路内ピット防水	○																							
									フリー・アクセスフロアコンセント	○							同上杭及び杭頭処理	○							ピット点検タラップ																								
S・SRC造(梁 壁・床)の貫通孔 開口部	鉄骨貫通鋼管スリーブ	○							壁・天井・床点検口	○							燃料小出タンク	○							各階出入り口穴あけ・同補強	○																							
	貫通スリーブ	○	○	○	○				感知器連動防火戸のレリーズ用切込み	○							燃料小出タンク基礎	○							三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補強																								
	貫通スリーブの補強	○							消火器ボックス	○							防油堤	○							昇降路がS造の場合の出入口扉・三方枠及び幕板の受け	○																							
	開口部の型枠・補強	○							表面仕上げが必要な全熱交換機等の表面仕上	○							通気管	○							昇降路の中間ビーム・プラケットレール・フレーム支持柱・他昇降路内の鋼製部材一式																								
	貫通スリーブ・開口部の墨出し	○	○	○	○				壁・天井・床点検口	○							給油ボックス	○							昇降路がS造の場合の中間ビーム及びプラケットの受けビース	○																							
	貫通スリーブ・型枠部の穴埋め	○	○	○	○	防火・防煙区画			駆動装置が電動の建具類の1次電源、1次・2次配管、及び手元電源スイッチ	○							給油ボックス 基礎	○							機械室天井・昇降路内フック取付	○																							
	予備スリーブの穴埋め	○	○	○	○	防火・防煙区画			同上本体・駆動装置検出装置(センサー)	○							屋外トレーンチ	○							ホール押釦・インジケータなどの壁開口	○																							
設備機器の基礎	機器取り付け用アンカー・架台	○	○	○					駆動装置が電動のブラインド・排煙オペレータ等の1次配線及び1次・2次配管	○							屋外トレーンチ用 蓋	○							機械室内換気設備																								
	基礎	○							同上本体・操作スイッチ及び2次配線	○							危険物表示板	○							エレベーター制御盤までの一次側動力用配管配線工事(AC3相 200V 50HZ)	○																							
	太陽光発電設備基礎	○							電動スクリーン用ボックス	○							エレベーター制御盤までの一次側制御盤用配管配線工事(AC単相 100V 50HZ)	○							エレベーター制御盤までの接地用配管配線工事(D種接地)	○																							
	太陽光発電設備架台	○							電気錠及び扉・棒通電金具及び2次配線	○							注油口内アース端子からのアース用配管配線	○	○						エレベーター制御盤から非常用インターホンまでの配線及びインターホン取付工事																								
その他	トラフ・ピット類(ふたを含む)	○							同上用1次配線及び1次・2次配管	○							ACP屋外機と屋内機の渡り電源信号・アース用配管配線	○							エレベーター制御盤までの館内放送用配管配線工事	○																							
	R C造各種ピット	○							避雷導体の接続	○							ACPマルチ形屋内機の電源・アース用配管配線	○							エレベーター保守遠隔監視用(電話回線)配管工事(MDFからエレベーター制御盤まで)	○																							
	同上用マンホール・タラップ	○							笠木を棟上げ導体とした場合の笠木～笠木の接続	○							機器・電極棒用の電源配管配線	○							エレベーター制御盤からエレベーター監視盤又は警報盤までの配管配線工事																								
	排水溝	○							ルーフドレン及びたてどい	○							屋内消火栓ポンプ制御盤から消火栓ポンプ始動装置への電源・信号線の配管配線	○							エレベーター制御盤からエレベーター内監視カメラまでの配管配線工事																								
	オイルサービスタンクの防油堤	○							煙突の水抜き管(排水管)	○																緊急地震速報受信用配管工事	○																						
	フリーアクセスフロア内の防水堤	○							地震感知器の配管配線		○															昇降路頂部煙感知器・熱感知器設備工事	○																						
	設備室内床排水管		○						防煙ダンパーと運動制御盤までの配管配線及び運動制御盤から煙感知器までの配管配線	○																ピット内点検用コンセント設備工事	○																						
既設埋設配管配線調査(X線探査含む)																																																	
仕上関係																																																	
軽鉄天井・壁下地	ボード類の切り込み	○							排水・ハンドホール廻り	雨水排水設備	○							オイルタンク本体(充填砂共)	○	○						エレベーターシャフト吊りフック(必要な場合、建築工事に支給)																							
	下地材の切り込み・補強	○							くつ洗いの排水金物・排水管	○							オイルタンクの外郭・基礎	○							レール・フレーム取り付けフッ素ナーベル(必要な場合、建築工事に支給)																								
	開口部の墨だし	○	○	○	○				駐車場・車庫廻りのガソリンリトラップ	○							同上杭及び杭頭処理	○							動力計測用電力計から自動制御盤までの配管・配線工事																								
可動間仕切	切込み・補強	○																																															

外部仕上表					断熱材仕様 (休憩室・給湯室)	
屋根	カラーカルバリウム鋼板t0.4 横葺、アスファルトルーフィング940、モルタル金ゴテt30下地 破風板・唐草・棟押え:カラーガルバリウム鋼板t0.4包み	ボーチ	天井:ケイ酸カルシウム板 t6.0 目透張、EP-G塗装、LGS25下地 (天井高H=2,700) 壁:外壁と同様 床:コンクリート金ゴテ仕上	屋根	硬質ウレタンフォーム t30 吹付(A種1H)	
軒天井	コンクリート打放し補修、高浸透性吸水防止材、アクリルシリコン樹脂クリア塗装	外部建具	サッシ:アルミ製サッシ、シャッター:軽量鋼板シャッター 引き戸:アルミ製ハンガー戸	外壁	硬質ウレタンフォーム t30 吹付(A種1H)	
外壁	コンクリート打放し補修、下地処理(コーン処理のみ)、高浸透性吸水防止材、アクリルシリコン樹脂クリア塗装 小口タイル貼(接着工法)目地	靴洗い	コンクリート打放し補修 ステンレス製グレーチング:600×450×20(歩)	床	押出法ポリスチレンフォーム保温板 t50(2種bA)	
根廻り	コンクリート打放し補修	その他	外部サッシ両脇:ステンレス製雪囲い金物設置			

内部仕上表								
室名	床	巾木	腰	壁	天井	天井高	室名サイン	備考
休憩室 (事務スペース)	ビニール床シートt2.5貼 コンクリート金ゴテ下地	ビニール巾木 H60	ビニールクロス貼、石膏ボードt12.5下地 LGS下地50型@300	同 左	化粧石膏ボード t9.5張(トラバーチン模様)910×910 LGS19下地	H=2,600	○	ピクチャーレール L2,200(フック6個)・1,500(フック4個) カウンター、収納カウンター(別途工事)
給湯室	ビニール床シートt2.5貼 コンクリート金ゴテ下地	ビニール巾木 H60	ビニールクロス貼、石膏ボードt12.5下地 LGS下地50型@300	同 左	化粧石膏ボード t9.5張(トラバーチン模様)910×910 LGS19下地	H=2,500		ミニキッチン1050(IHヒーター無し)
位置	コンクリート金ゴテ仕上(目地切)	-	コンクリート打放し、補修(表し)	同 左	コンクリート打放し(表し)	-	○	
男子トイレ	磁器質150角タイル貼 モルタル下地	磁器質150角タイル貼 H150	メラミン化粧板t3.0目透張 石膏ボードt12.5下張(GL工法)	同 左	ケイ酸カルシウム板 t6.0 目透張、EP-G塗装 LGS19下地	H=2,500	○	トイレブース、ハイドロテクト小便器用床材 t6 鏡、手摺り、擬音装置(機械設備工事)
女子トイレ	磁器質150角タイル貼 モルタル下地	磁器質150角タイル貼 H150	メラミン化粧板t3.0目透張 石膏ボードt12.5下張(GL工法)	同 左	ケイ酸カルシウム板 t6.0 目透張、EP-G塗装 LGS19下地	H=2,500	○	トイレブース 鏡、擬音装置(機械設備工事)
多目的トイレ	磁器質150角タイル貼 モルタル下地	磁器質150角タイル貼 H150	メラミン化粧板t3.0目透張 石膏ボードt12.5下張(GL工法)	同 左	ケイ酸カルシウム板 t6.0 目透張、EP-G塗装 LGS19下地	H=2,500	○	ペビーシート、ペビーチェア オストメイト、手摺り、鏡、擬音装置(機械設備工事)
プロパー庫	コンクリート金ゴテ仕上(目地切)	-	コンクリート打放し、補修(表し)	同 左	コンクリート打放し(表し)	H=2,400		プロパー基礎

防火材料認定番号	塗装記号凡例					特記・共通事項		
化粧スラグ石膏コウ板t=5.0 (不燃) NM - 8315	石コウボードt=9.5 (準不燃) QM - 9828	OP 油性調合ペイント塗	A E アクリル樹脂エナメル塗			使用する仕上材(小屋裏、壁、床下地材等含む)、集成材、塗装、家具等はすべてFとする。		
ケイ酸カルシウム板t=5.6 (不燃) NM - 8578	化粧石コウボードt=9.5 (準不燃) QM - 9824	SOP 合成樹脂調合ペイント塗	UC ポリウレタン樹脂ワニス塗			使用する建築材料は全てクロルビリホスを含まないものとする。		
ビニールクロス (準不燃) QM - 0144(参考)	不燃化粧石コウボードt=9.5 (不燃) NM - 8613	AEP アクリル樹脂エマルジョンペイント塗	OSCL オイルステンクリアラッカー塗			サッシ額縁、内部建具枠は集成材t=25(赤松)とする。塗装CJとする。		
不燃無機質クロス (不燃) NM - 3991(参考)	グラスワールボード (不燃) NM - 8605	VP 塩化ビニール樹脂エナメル塗	OSW オイルステンワックス塗			天井廻り縁は塗ビ製コ型とする。		
石コウボードt=12.5 (不燃) NM - 8619		FE フタル酸樹脂エナメル塗	PWP ポリウレタン樹脂系塗			地中梁貫通補強筋は大臣認定品による。(150 :5ヶ所、125 :4ヶ所)		
		EP 合成樹脂エマルジョンペイント塗	CL クリアラッカー塗			仮囲いは成形鋼板H=2,000で行い、クロスゲート1箇所設置する。		
		EP-G 合成樹脂エマルジョンペイント塗(つや有)	WP 木材保護塗装			「浄化槽設置届」提出作業、検査手数料は工事費に含む。		

備考	一級建築士事務所 株式会社 工藤金正建築設計 弘前市大学城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559 工藤金正	青森県A1第495号 1級建築士第153872号	承認	担当	製図	年月日	工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事	縮尺	設計番号
			Kudou	Sugimi	Sugimi	R 7.3				
			図面名称	仕上表						



付近見取図

概要

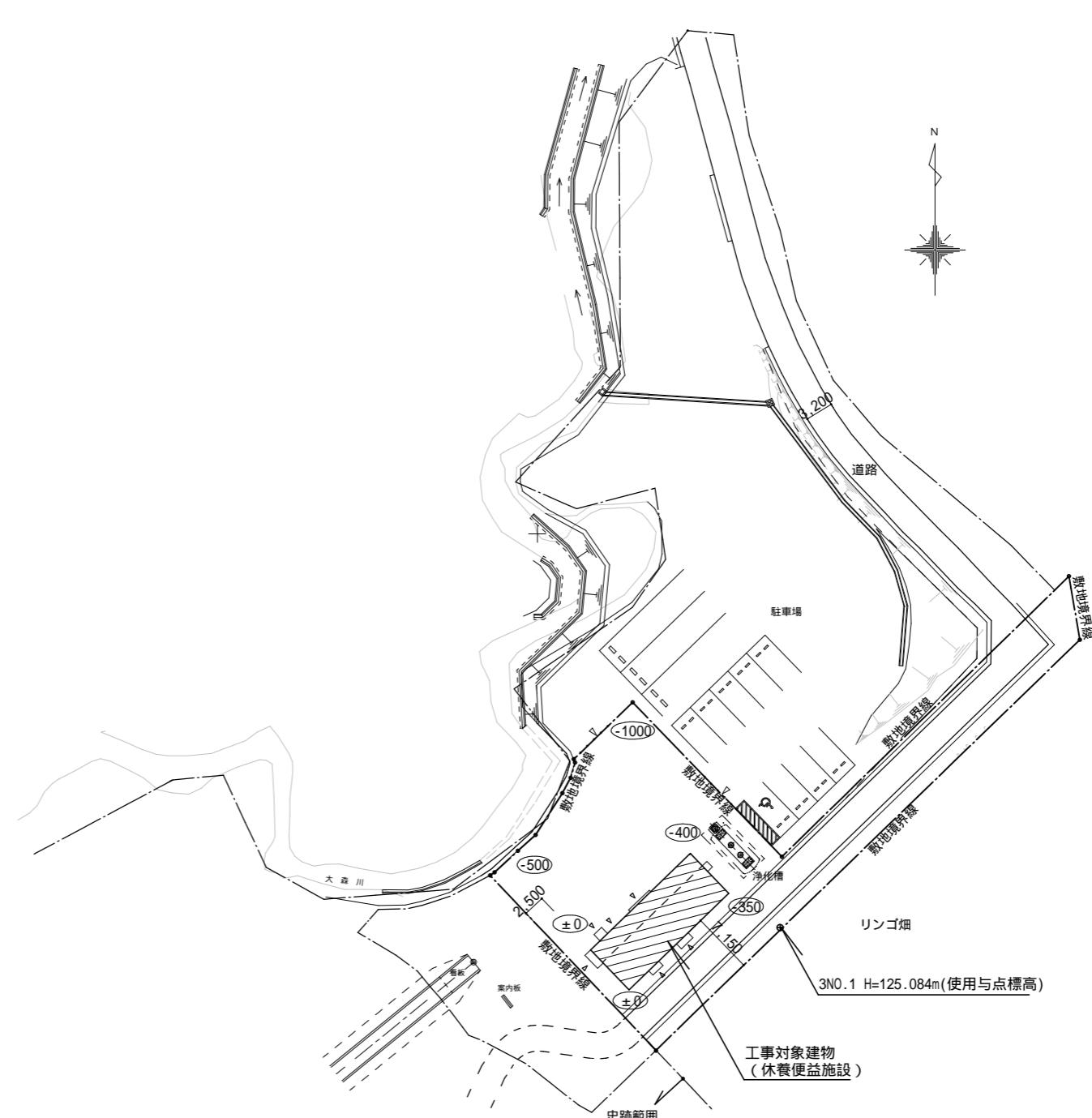
建設地：青森県弘前市大字大森字勝山961-3

都市計画区域：区域外 用途地域・防火地域：指定なし

敷地面積：889 m²

用途：休息便益施設

構造：壁式鉄筋コンクリート造 平屋建



配置図 S=1:500

設計 G.L. : 125.40

○ 設計 G.L. からの高低差

備考	



一級建築士事務所
株式会社 工藤金正建築設計

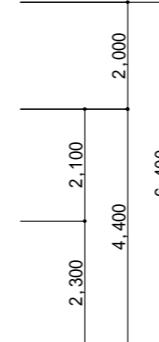
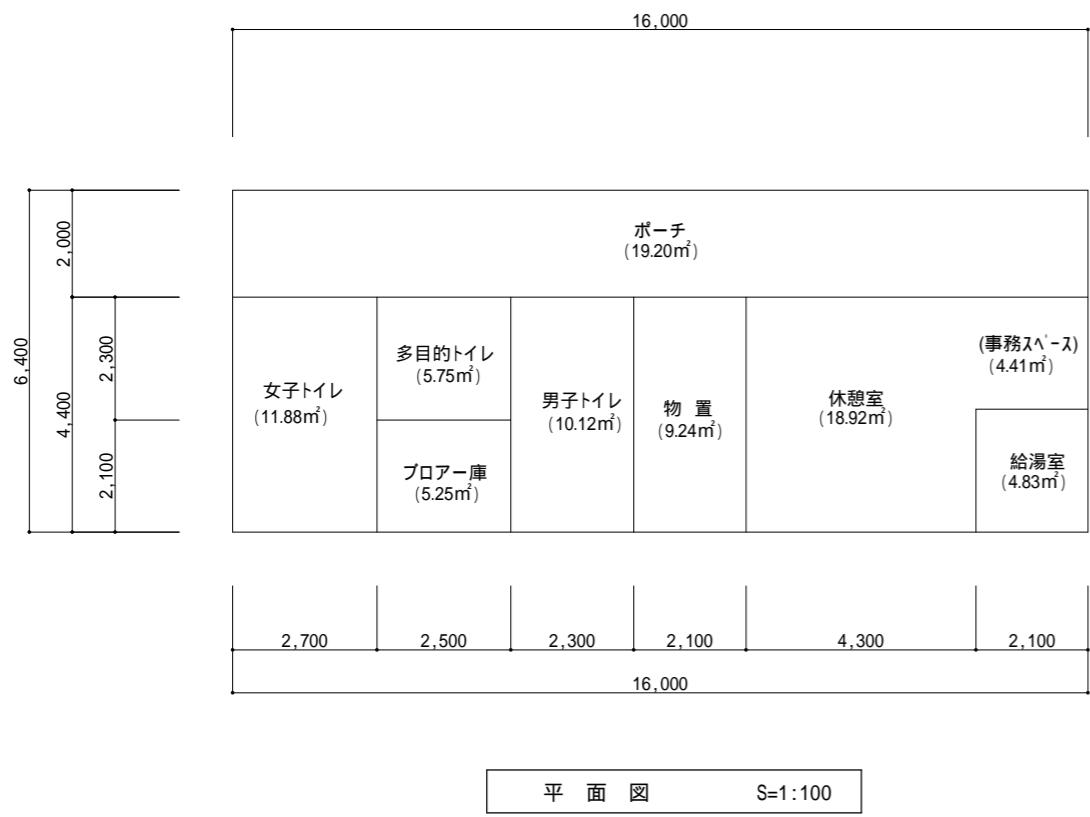
青森県A1第495号 1級建築士第153872号
弘前市大学城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559 工藤金正

承認 担当 製図 年月日

Kudou Sugimi Sugimi R.7.3

工事名称
令和7年度史跡大森勝山遺跡休憩便益施設整備工事
図面名称
付近見取図・配置図

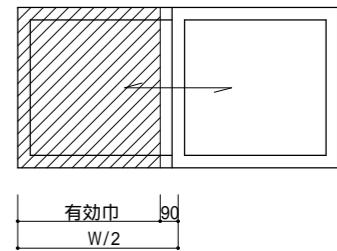
縮尺
1:500
設計番号
A-12



休憩室（事務コーナー含む）		
	23.33m ²	
排煙計算 必要	$23.33 \times 1/50$	0.4666
有効	$0.760 \times 0.500 \times 1$ (AW-1)	
	$0.510 \times 0.400 \times 1$ (AW-2)	0.5840
判定	$0.47 < 0.58$	OK
換気計算 必要	$23.33 \times 1/20$	1.1665
有効	$0.760 \times 1.300 \times 1$ (AW-1)	
	$0.510 \times 1.200 \times 1$ (AW-2)	1.6000
判定	$1.17 < 1.60$	OK
採光計算 必要	$23.33 \times 1/20$	1.1665
有効	$1.700 \times 1.300 \times 1 \times 3$ (AW-1)	
	$1.200 \times 1.200 \times 1 \times 3$ (AW-2)	10.9500
判定	$1.17 < 10.95$	OK

採光補正係数:3
D=6.300 H=2.600
 $6.300/2.600 \times 10-1=23$ 3

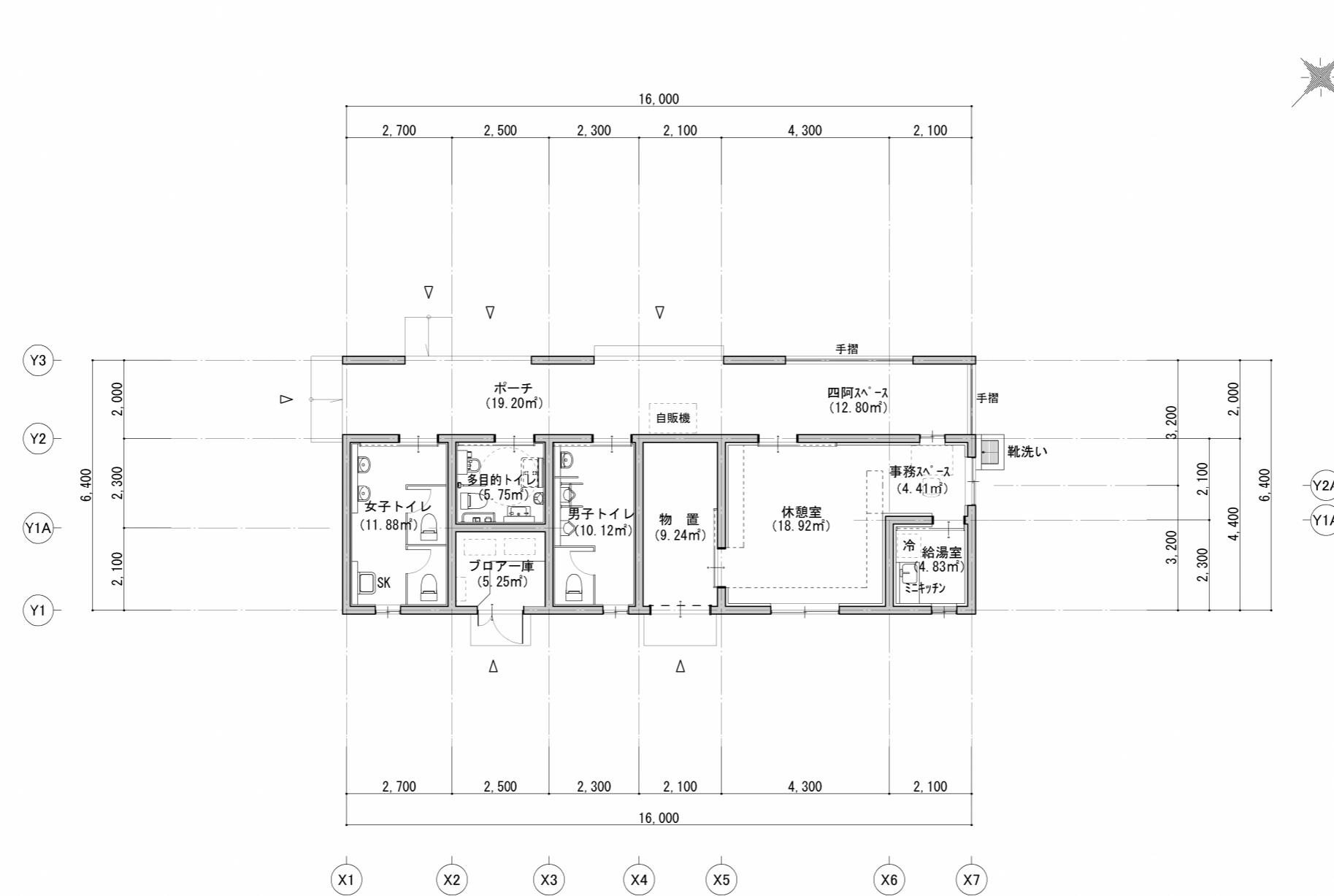
排煙窓の有効開口部範囲
引違窓



建物求積表			
建築面積	16.000 × 6.400		102.4000 m ²
床面積	16.000 × 4.400		70.4000 m ²
各室求積表			
休憩室	4.300 × 4.400 + 2.100 × 2.100	23.3300 m ²	70.40 m ²
給湯室	2.100 × 2.300	4.8300 m ²	
物置	2.100 × 4.400	9.2400 m ²	
男子トイレ	2.300 × 4.400	10.1200 m ²	
多目的トイレ	2.500 × 2.300	5.7500 m ²	
女子トイレ	2.700 × 4.400	11.8800 m ²	
プロアーカー	2.500 × 2.100	5.2500 m ²	

無窓階検討表(1階)

床面積	70.40 m ²	必要開口部 面積(A/30)	2.35 m ²	有効開口部 面積合計	3.65 m ²	算定結果	(普) ・無	消防機関
建具記号	開口部位置 又は方角	床からの 高さ(m)	幅(m) × 高さ(m) × 所在ヶ所	開口部面積 小計(m ²)	開口部種別	備考		
AD-3	休憩室	0.00	0.870 × 2.100 × 1	1.827	片引き戸			
AW-1	休憩室	1.00	1.700 × 1.300 × 1 × 1/2	1.105	引違窓			
AW-2	休憩室	1.00	1.200 × 1.200 × 1 × 1/2	0.720	引違窓			



平面図 S=1:100

備考



一級建築士事務所 青森県A1第495号
株式会社 工藤金正建築設計 1級建築士第153872号
弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正

承認 担当 製図 年月日

Kudou

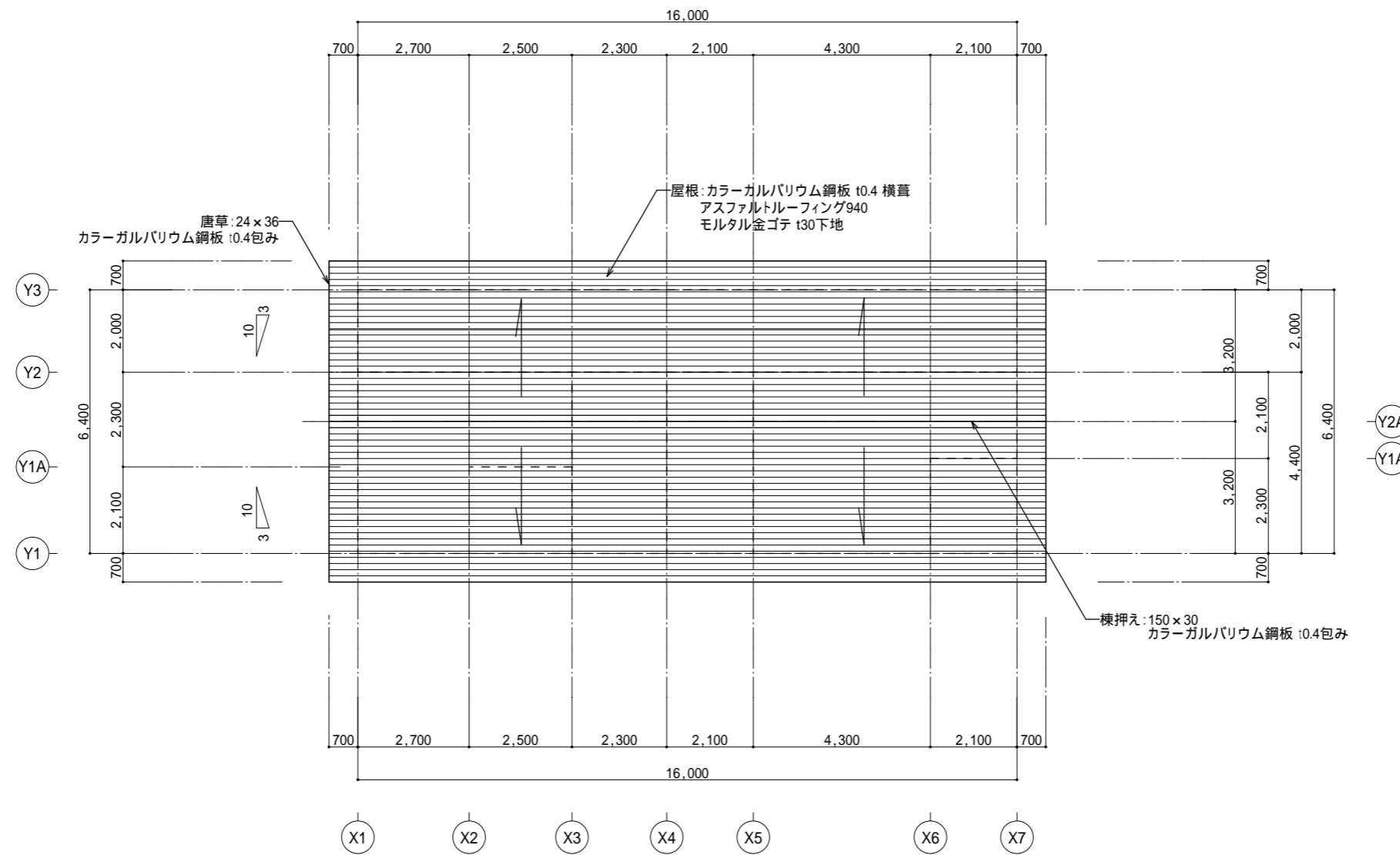
Sugimi

Sugimi

R.7.3

工事名称 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事
図面名称 平面図

縮尺 1:100 設計番号
国面番号 A — 14



備考



一級建築士事務所 青森県A1第495号
株式会社 工藤金正建築設計 1級建築士第153872号
弘前市大学城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559 工藤金正

承認 担当 製図 年月日

Kudou

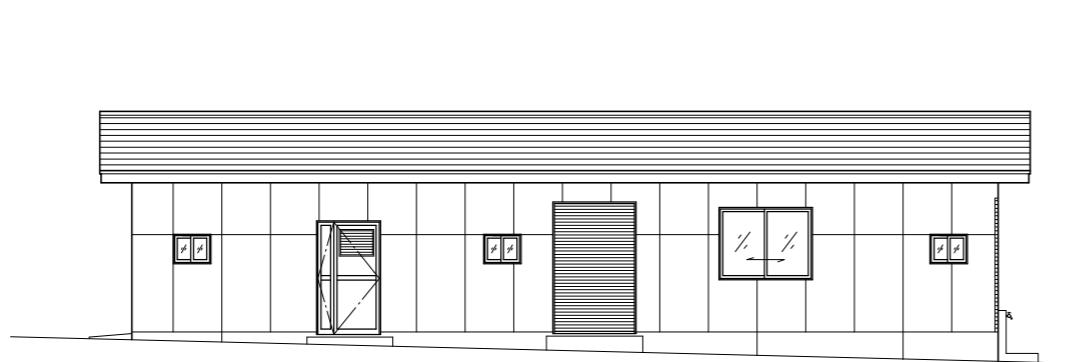
Sugimi

Sugimi

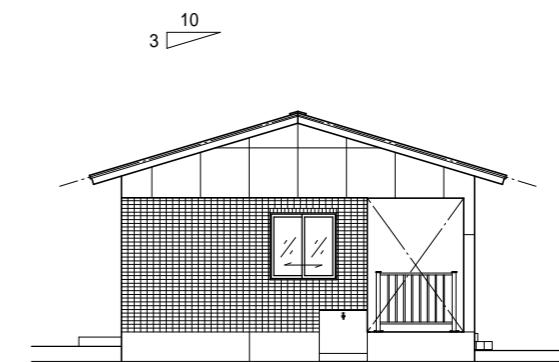
R.7.3

工事名称 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事
図面名称 屋根伏図

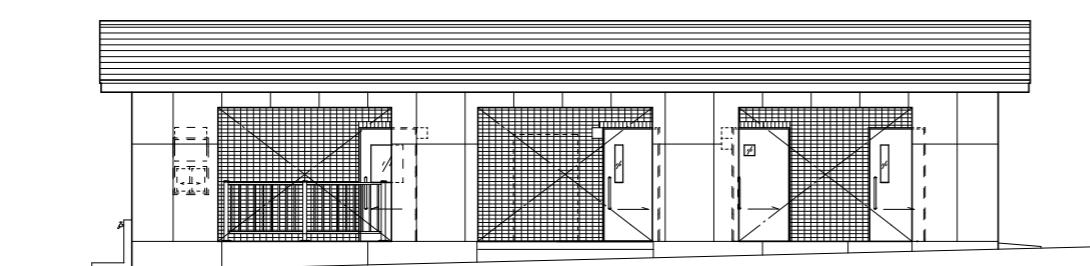
縮尺 1:100
設計番号 —
図面番号 A — 15



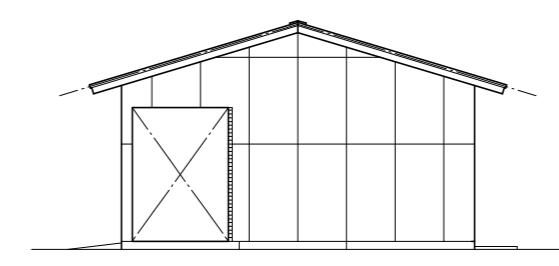
南東立面図 S=1:100



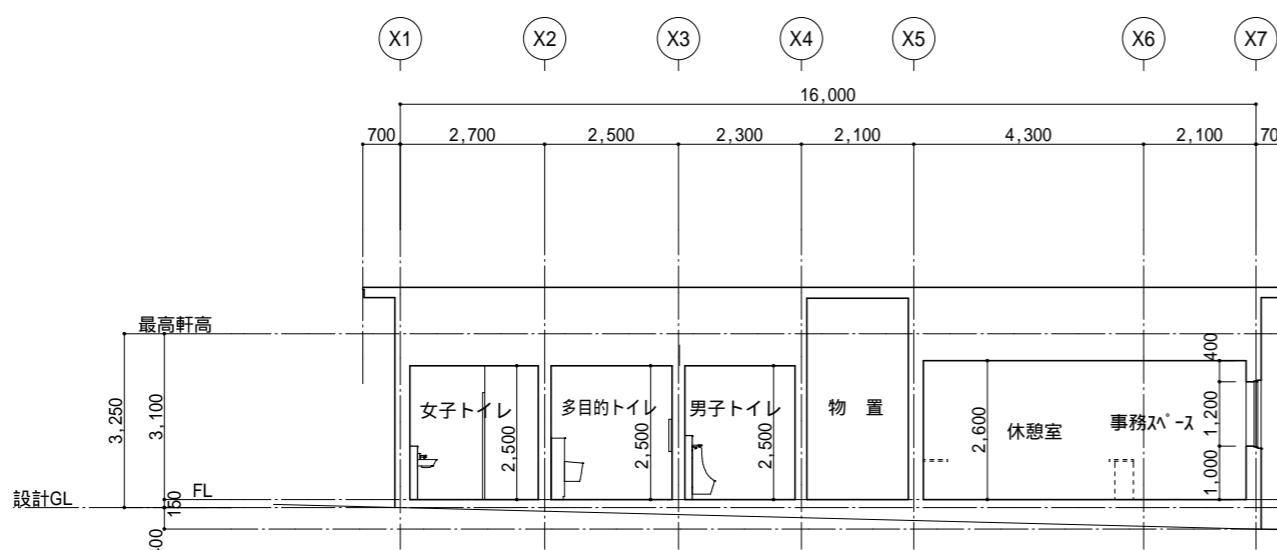
北東立面図 S=1:100



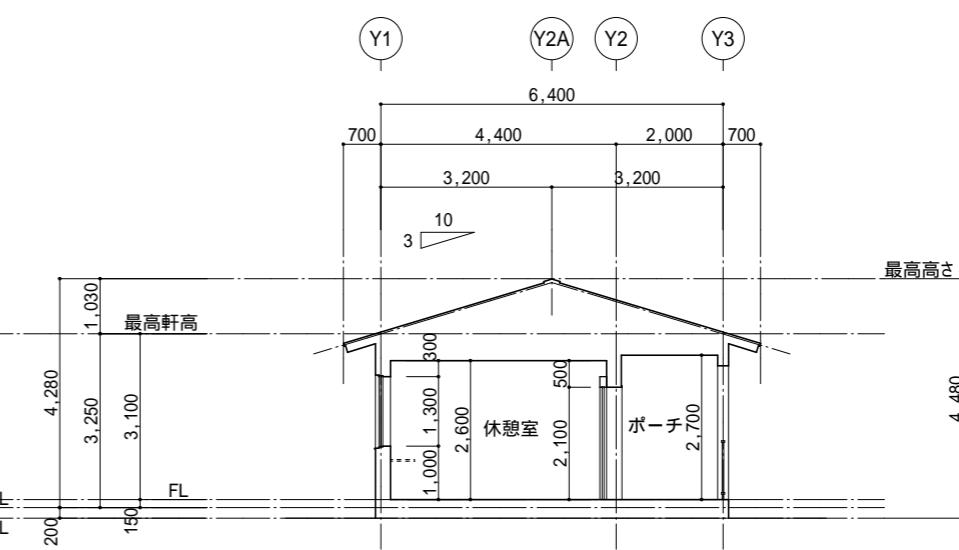
北西立面図 S=1:100



南西立面図 S=1:100



断面図 S=1:100



断面図 S=1:100

備考

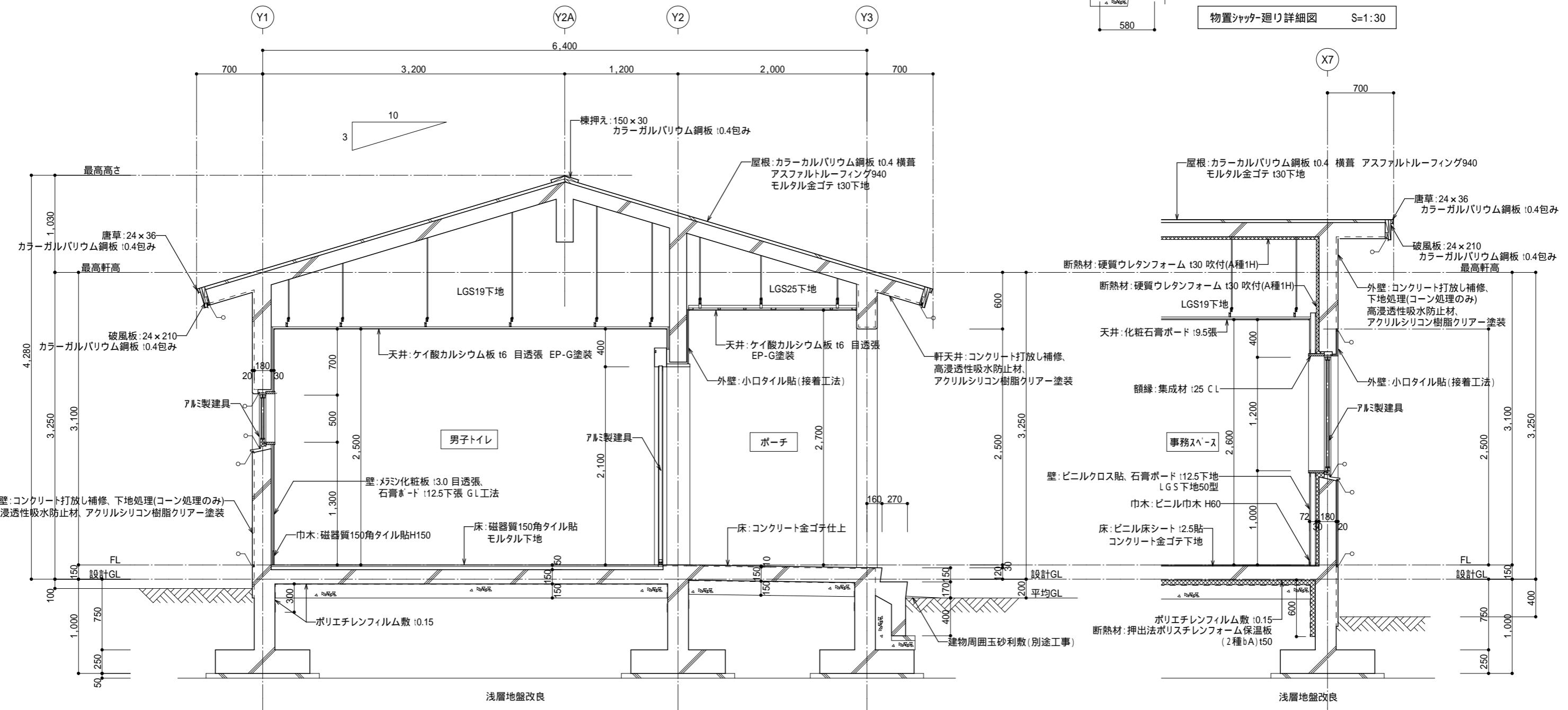
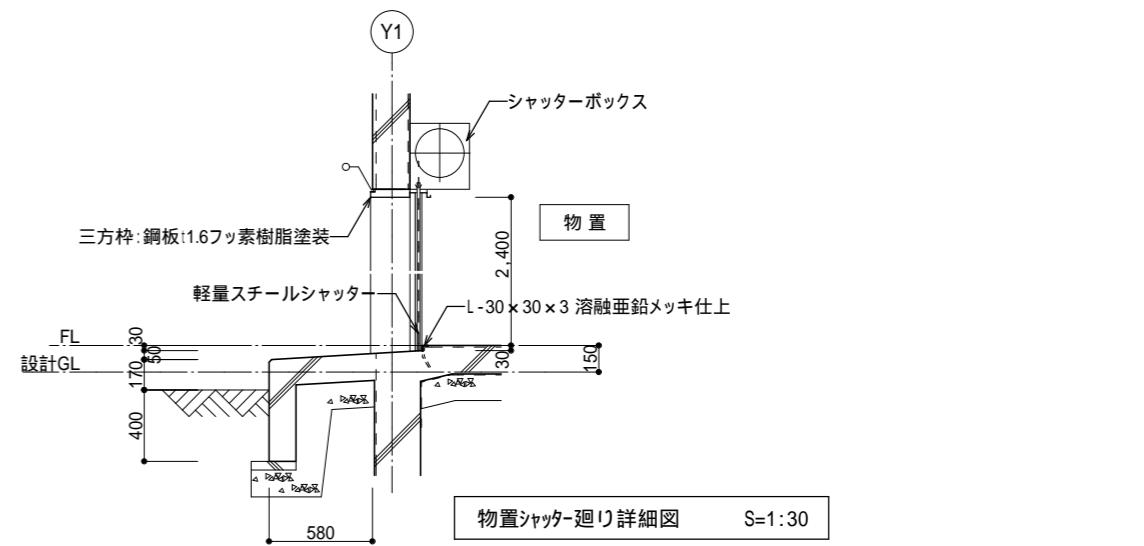
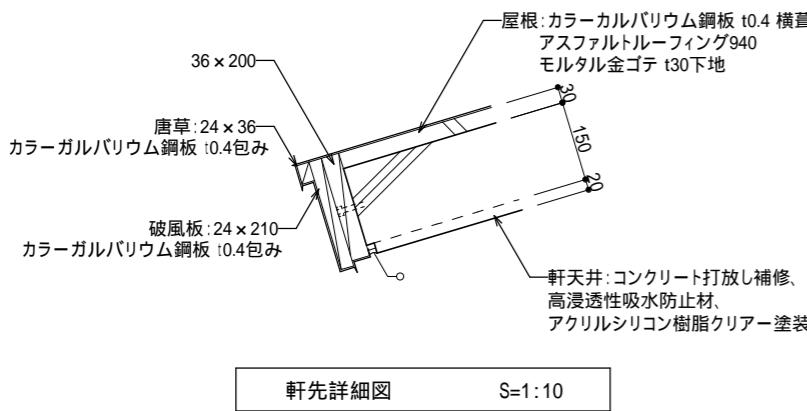


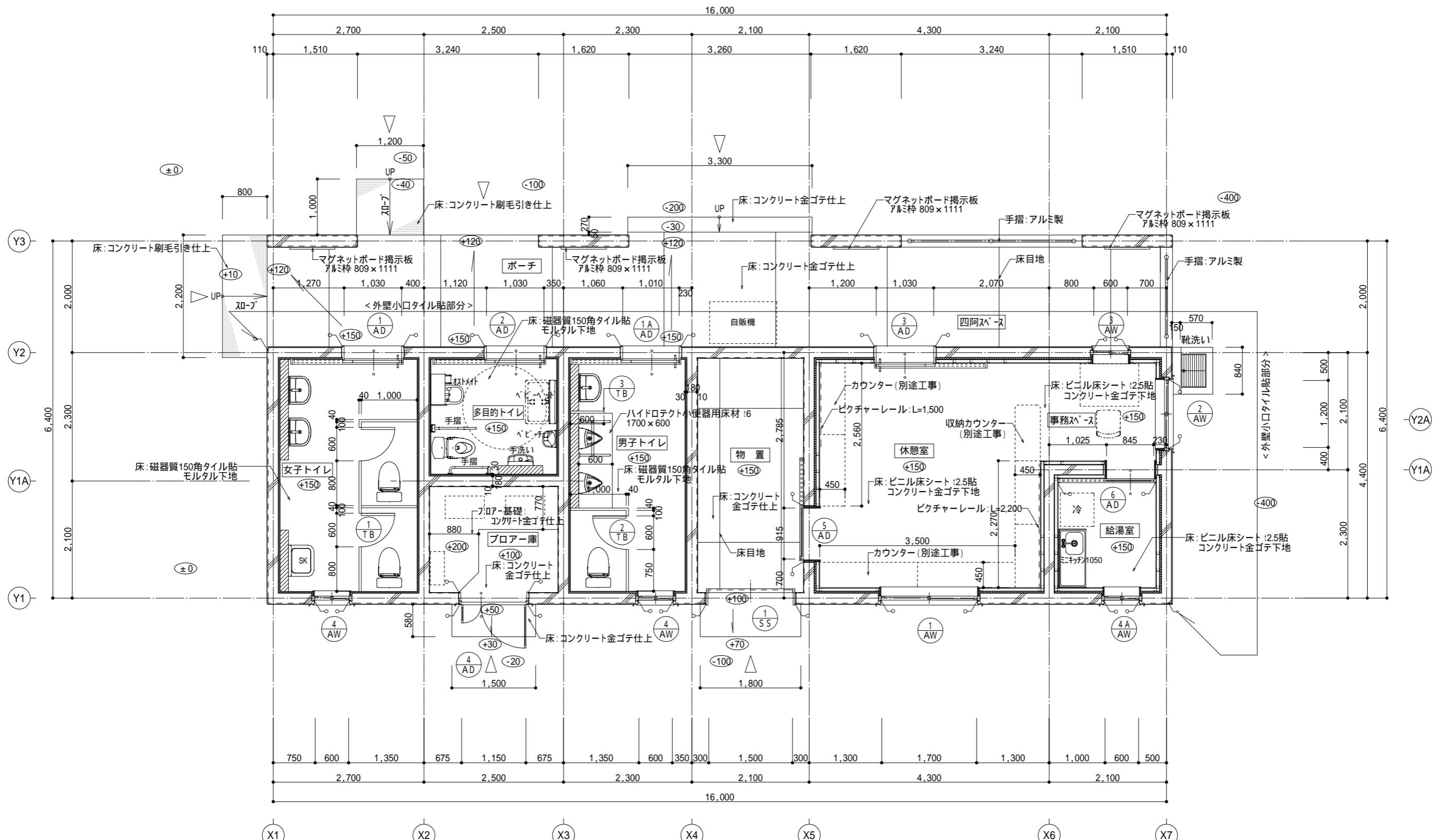
一級建築士事務所 青森県A1第495号
株式会社 工藤金正建築設計 1級建築士第153872号
弘前市大学城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559 工藤金正

承認 担当 製図 年月日
Kudou Sugimi Sugimi R.7.3

工事名称 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事
図面名称 断面図・立面図

縮尺 1:100 設計番号
図面番号 A-16



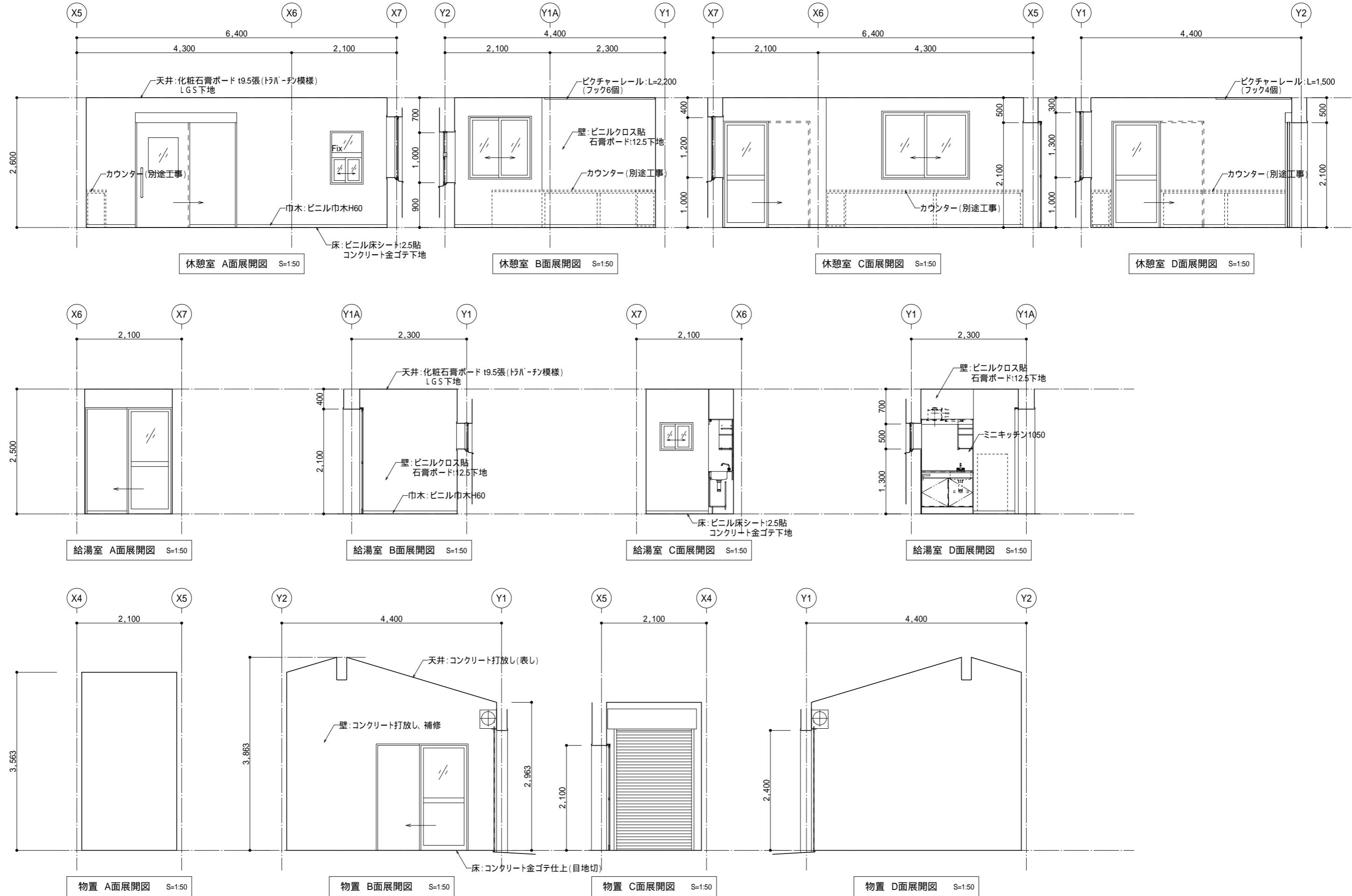


平面詳細図 S=1:50

建具記号を表す

設計GLからの床高を表す

備考	



備考

一級建築士事務所
株式会社 工藤金正建築設計
青森県A1第495号
弘前市大学城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559 工藤金正

承認

担当

製図

年月日

R 7.3

工事名称

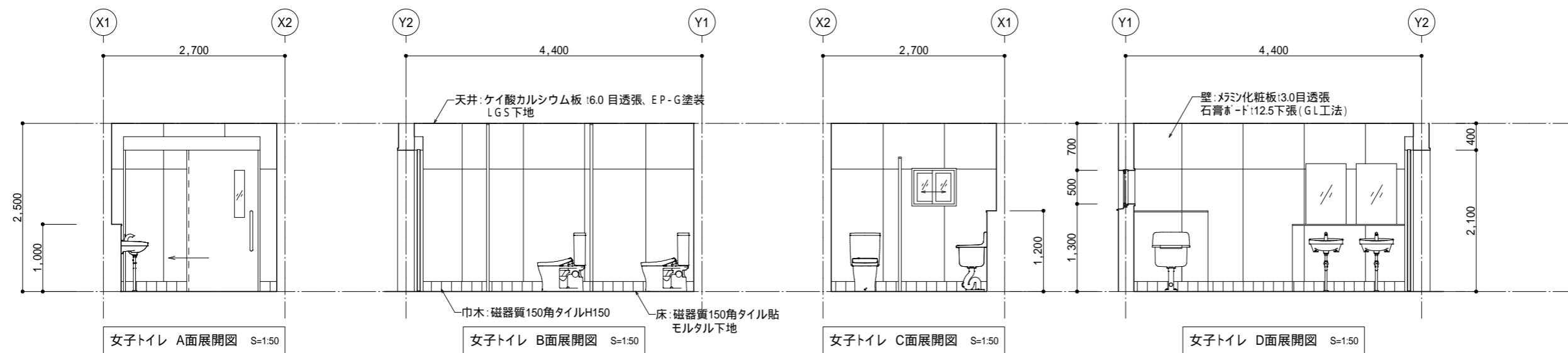
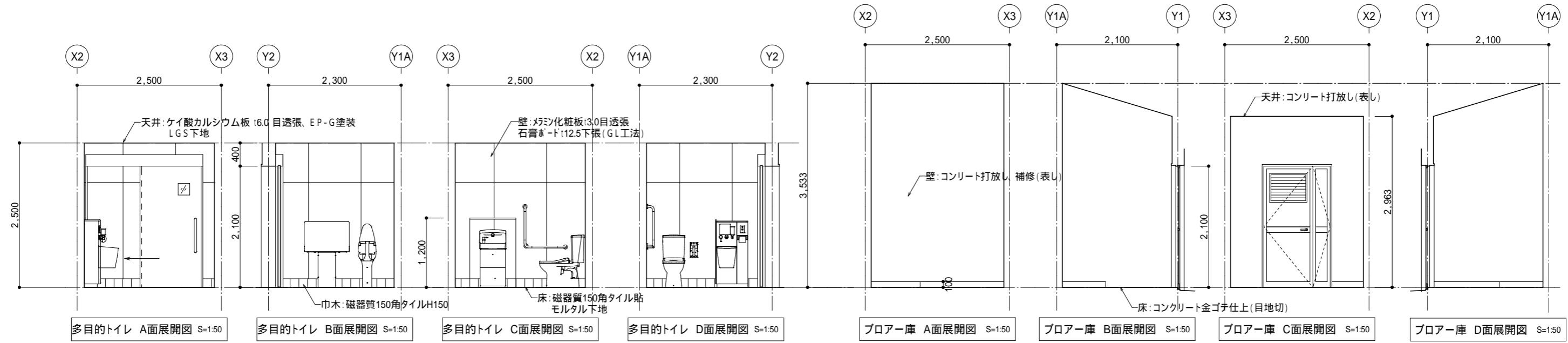
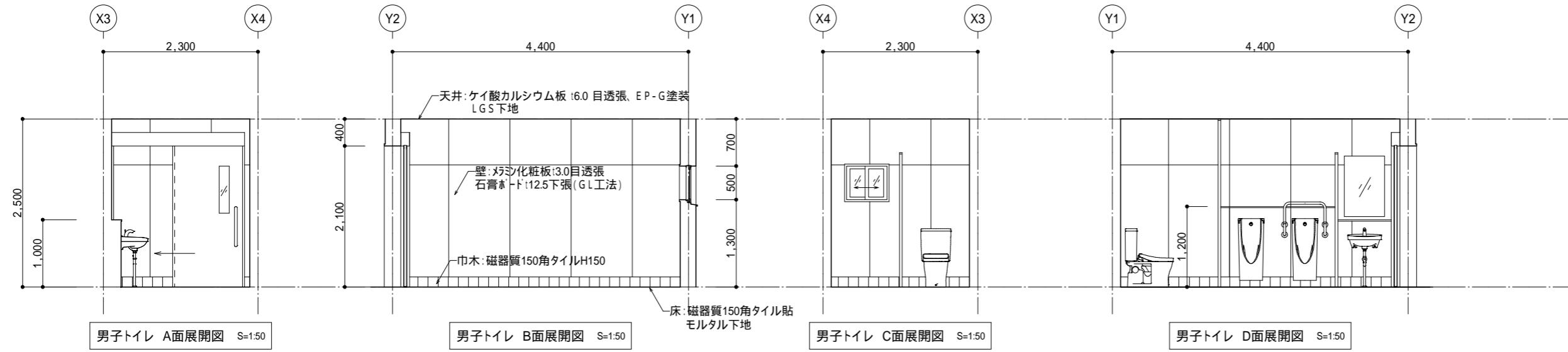
令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事

縮尺

設計番号

1:50 図面番号

A — 19



備考

一級建築士事務所
株式会社 工藤金正建築設計
青森県A1第495号
弘前市大学城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559 工藤金正

承認

担当

製図

年月日

工事名称

令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事

縮尺

設計番号

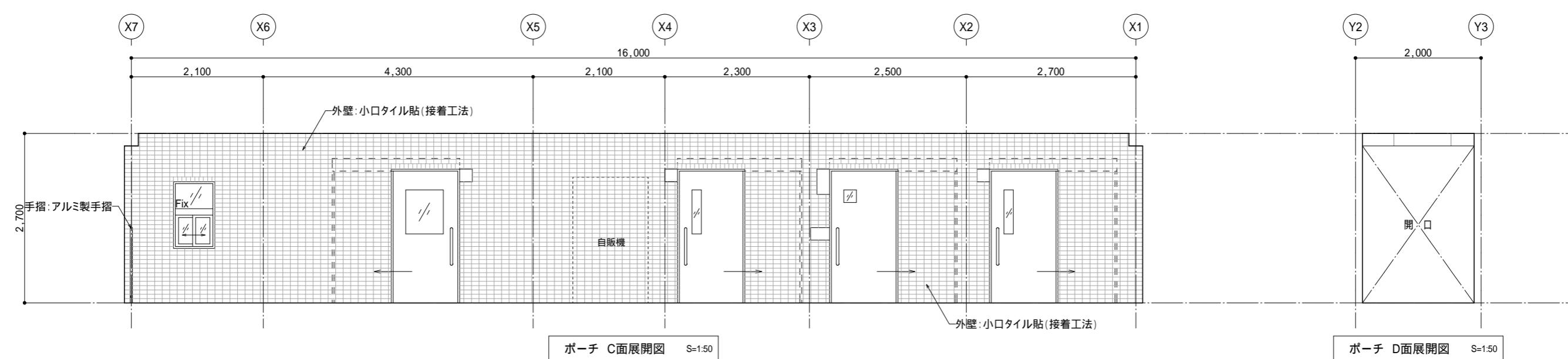
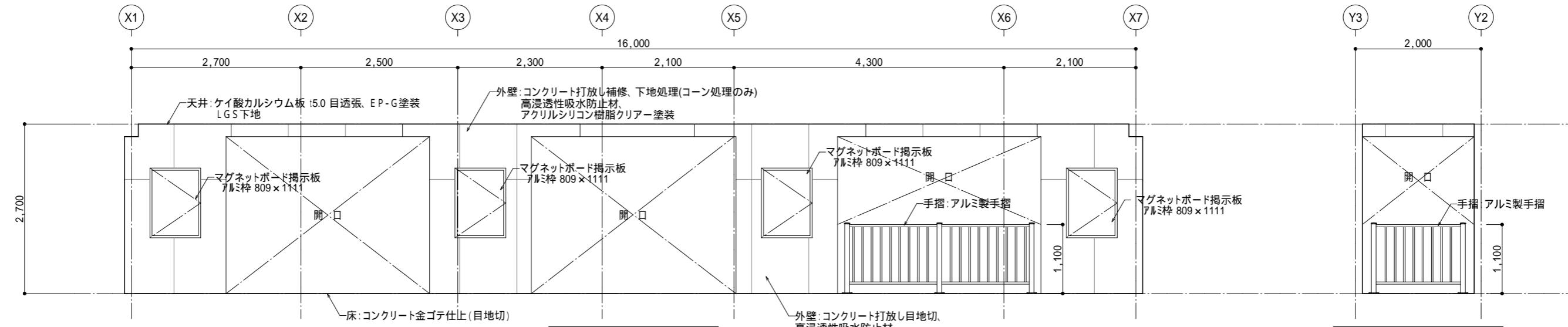
1:50

図面番号

A — 20

図面名称

展開図 2

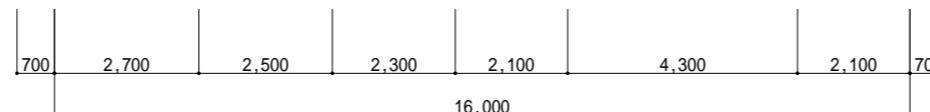
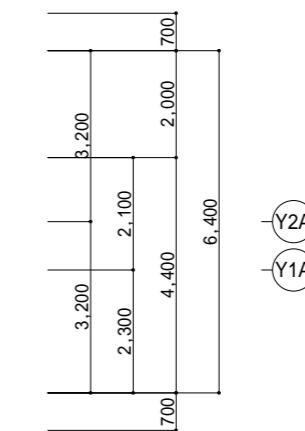
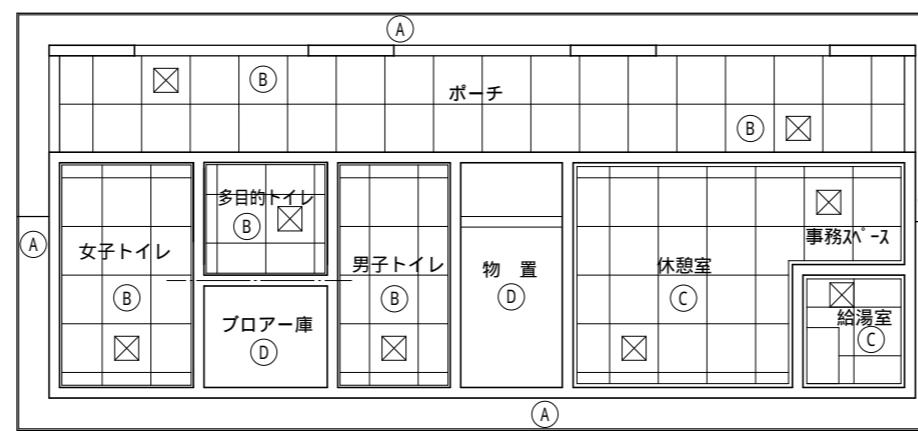
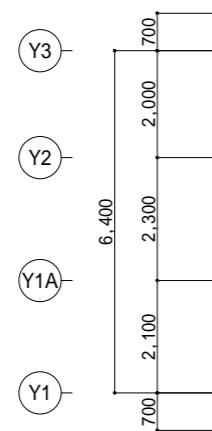
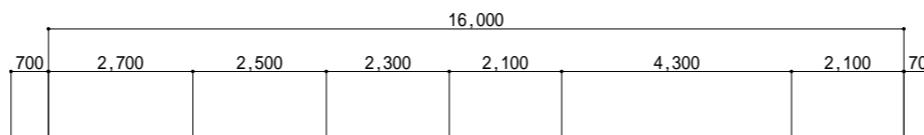


備考



一級建築士事務所 青森県A1第495号
株式会社 工藤金正建築設計 1級建築士第153872号
弘前市大学城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559 工藤金正

承認	担当	製図	年月日	工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事	縮尺	設計番号
							図面番号
						1:50	A — 2 1



(X1) (X2) (X3) (X4) (X5) (X6) (X7)

天井伏図 S=1:100

凡例	
符号	仕上
(A)	コンクリート打放し補修、高浸透性吸水防止材、アクリルシリコン樹脂クリア塗装
(B)	ケイ酸カルシウム板 6.0 目透張、E P - G 塗装
(C)	化粧石膏ボード 19.5 張(トラバーチン模様) 910 × 910
(D)	コンクリート打放し(表し)
■	
☒	天井点検口: アルミ製450角(額縁タイプ)

備考



一級建築士事務所
青森県A1第495号
株式会社工藤金正建築設計
1級建築士第153872号
弘前市大学城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559 工藤金正

承認 担当 製図 年月日
Kudou Sugimi Sugimi R.7.3

工事名称
令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事
図面名称
天井伏図

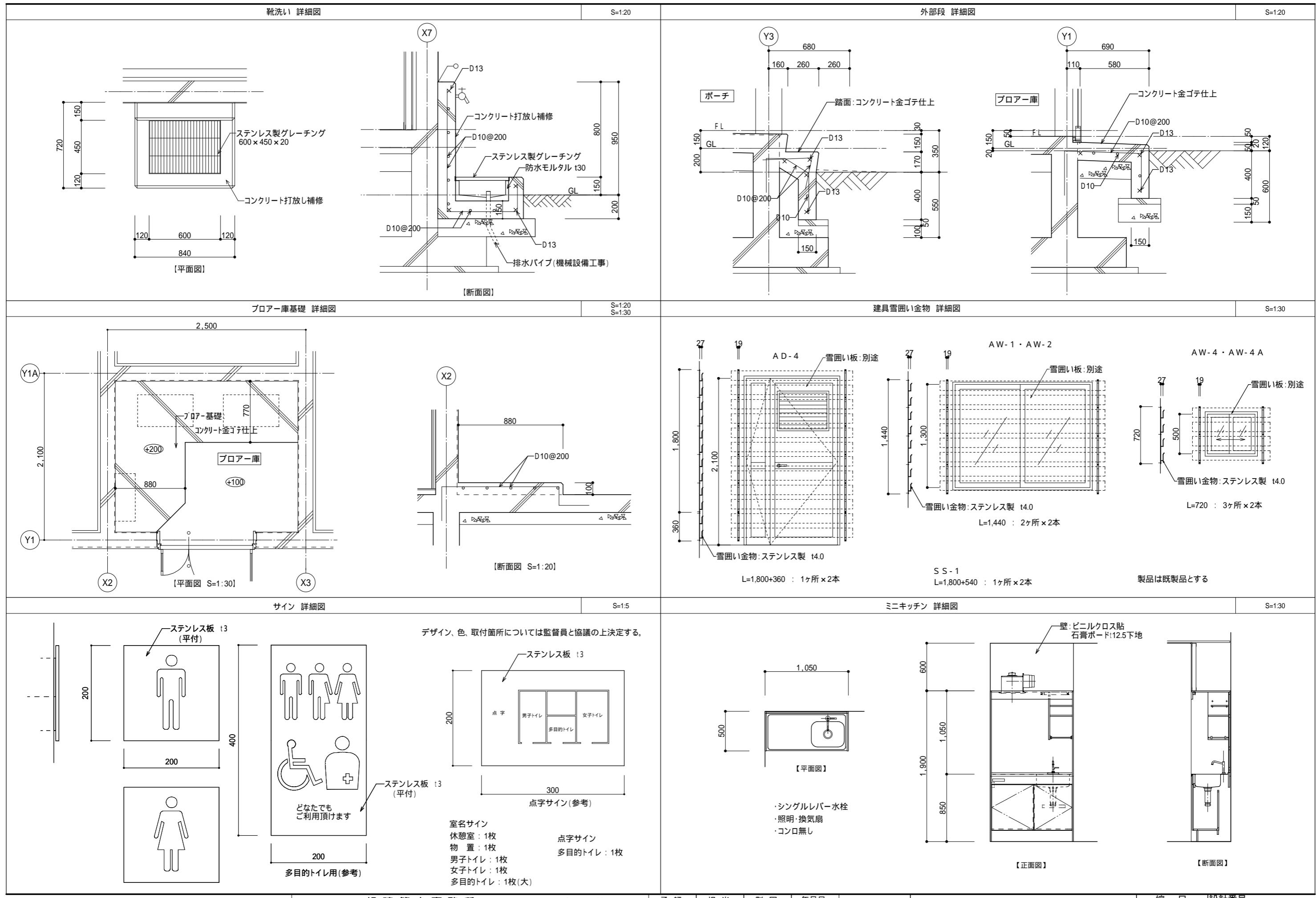
縮尺
1:100
設計番号
—
図面番号
A — 22

符号・カ所数	A D - 1 ・ A D - 1 A	1ヶ所+1ヶ所	A D - 2	1ヶ所	A D - 3	1ヶ所	A D - 4	1ヶ所	A D - 5	1ヶ所
姿 図		AD-1A寸法 1,030 有効: 870 1,010 有効: 850		1,030 有効: 870		1,030 有効: 870		1,150		915
名称・位置	片引きハンガー戸	男子・女子トイレ	片引きハンガー戸	多目的トイレ	片引きハンガー戸	休憩室	親子戸	プロアーカー	片引き戸	物置
仕上材	アルミ製フラッシュ	見込: 100	アルミ製フラッシュ	見込: 100	アルミ製フラッシュ	見込: 100	アルミ製 框戸(アルミ パネル t 3.0)	見込: 70	アルミ製 框戸(腰アルミ パネル t 2.0)	見込: 70
ガラス	TF4		TF4		TFL4+A12+FL3		-		F4	
金 物	ハンガーレール、把手、シリカーナー錠、ステンレス合板、額縁、付属金物一式		ハンガーレール、把手、シリカーナー錠(表示)、ステンレス合板、額縁、付属金物一式		ハンガーレール、把手、シリカーナー錠、ステンレス合板、額縁、付属金物一式		丁番、ハンドル、シリカーナー錠、ドアクローザー、額縁、ガーリ、付属金物一式		ステンレスレール、引手、錠、付属金物一式	
備考	傾斜レール制御装置		傾斜レール制御装置		傾斜レール制御装置				額縁:木製集成材 t 25 CL	
符号・カ所数	A D - 6	1ヶ所	A W - 1	1ヶ所	A W - 2	1ヶ所	A W - 3	1ヶ所	A W - 4 ・ A W - 4 A	2ヶ所+1ヶ所
姿 図		FL		FL		FL		FL		
名称・位置	片引き戸	給湯室	引違い窓	休憩室	引違い窓	休憩室(事務室)	引違い窓 + Fix窓(段窓)	休憩室(事務室)	引違い窓	男女トイレ・給湯室
仕上材	アルミ製 框戸(腰アルミ パネル t 2.0)	見込: 70	アルミ樹脂複合	見込: 102	アルミ樹脂複合	見込: 102	アルミ樹脂複合	見込: 102	アルミ製・(A W - 4 A はアルミ樹脂複合)	見込: 70・102
ガラス	F4		TFL5+A12+Low-E5		TFL5+A12+Low-E5		TFL4+A12+FL3		F4・(A W - 4 A はF4+A12+FL3)	
金 物	ステンレスレール、引手、錠、付属金物一式		クレセント、網戸、付属金物一式		クレセント、網戸、付属金物一式		クレセント、付属金物一式		クレセント、網戸、付属金物一式	
備考	額縁:木製集成材 t 25 CL		額縁:木製集成材 t 25 CL		額縁:木製集成材 t 25 CL		額縁:木製集成材 t 25 CL		額縁:木製集成材 t 25 CL	
符号・カ所数	S S - 1	1ヶ所	T B - 1	1ヶ所	T B - 2	1ヶ所	T B - 3	1ヶ所		
姿 図		FL		FL		FL				
名称・位置	軽量スチールシャッター	物置	トイレブース	女子トイレ	トイレブース	男子トイレ	トイレブース	男子トイレ		
仕上材	カラー鋼板	スラット: 0.4	メラミン化粧板貼	見込: 40	メラミン化粧板貼	見込: 40	メラミン化粧板貼	見込: 40		
ガラス	-		-		-		-			
金 物	座板、ガイドレール、ボックス、三方枠、付属金物一式		ステンレス巾木、表示錠、戸当り、ラバトリ金物一式		ステンレス巾木、表示錠、戸当り、ラバトリ金物一式		ステンレス巾木、アルミ製柱、付属金物一式			
備考	三方枠:鋼板t1.6フッ素樹脂塗装									

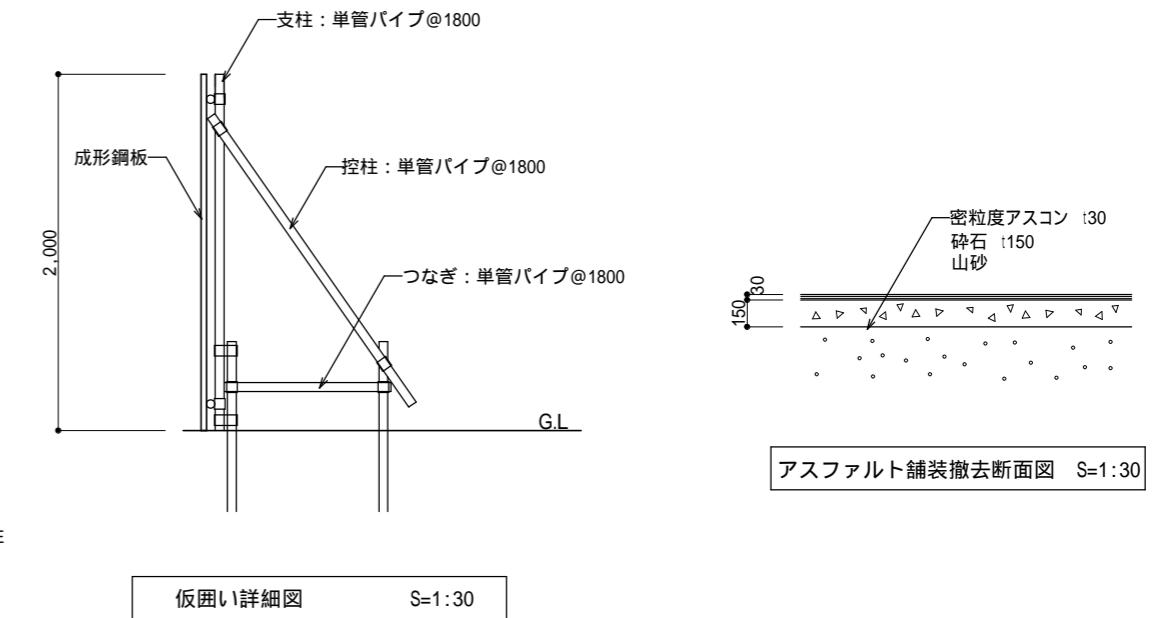
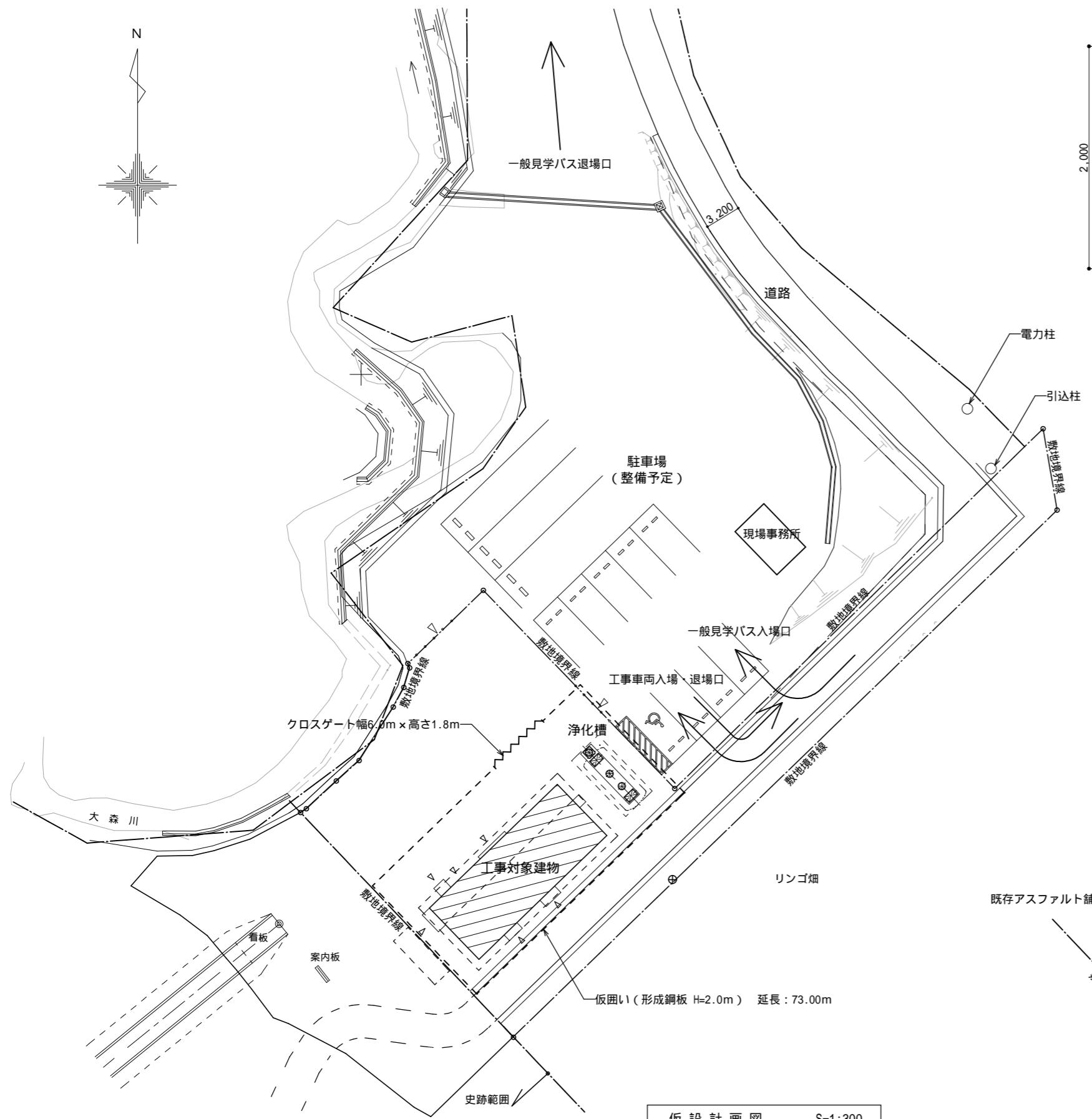
備考
 FL 透明ガラス PW 網入ガラス T 強化ガラス
 F 型板ガラス FW 型板網入ガラス FT 型板強化ガラス

一級建築士事務所
 株式会社 工藤金正建築設計
 青森県A1第495号
 1級建築士第153872号
 弘前市大学城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559 工藤金正

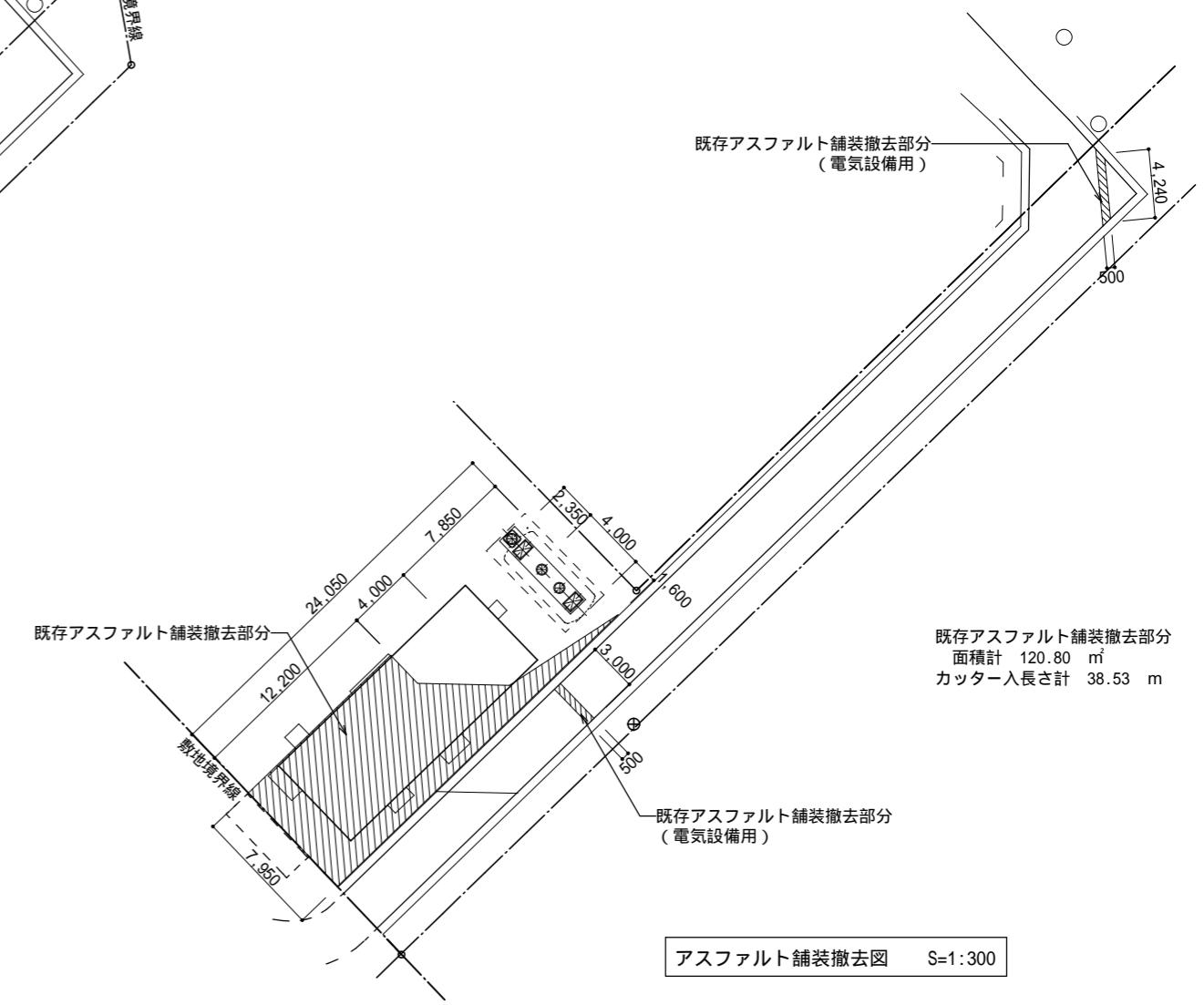
承認	担当	製図	年月日	工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事	縮尺	設計番号
Kudou	Sugimi	Sugimi	R 7.3			1:50	
				図面名称	建具表		図面番号
							A — 23



<p>ピクチャーレール 詳細図</p> <p>S=1:3</p>	<p>マグネットボード掲示板 詳細図</p> <p>S=1:20</p>
<p>ポーチ手摺 詳細図</p> <p>S=1:30</p>	<p>ライニング甲板 LGS下地</p> <p>S=1:20</p>
<p>備考</p>	<p>一級建築士事務所 青森県A1第495号 承認 担当 製図 年月日 工事名称 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事 縮尺 設計番号</p> <p>株式会社 工藤金正建築設計 1級建築士第153872号 Kudou Sugimi Sugimi R.7.3 1:3</p> <p>弘前市大学城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559 工藤金正 図面名称 部分詳細図2 1:20</p> <p>1:30 図面番号 A — 25</p>



仮囲い詳細図 S=1:30



備考

一級建築士事務所
株式会社 工藤金正建築設計
青森県A1第495号
1級建築士第153872号
弘前市大学城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559 工藤金正

承認	担当	製図	年月日	工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休憩便益施設整備工事	縮尺	設計番号
				図面名称	仮設計画図		
Kudou	Sugimi	Sugimi	R 7. 3			1:30 1:300	A — 26

壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

修正箇所は下線を引くこと

1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- (2) 記号

d…異形棒鋼の呼び名に用いた数値	D…部材の成形	R…直徑
@…間隔	r…半径	C…中心線
l…部材間の内法距離	h0…部材間の内法高さ	
S T…あら筋	HOOP…帯筋	S.HOOP…補強帯筋
		…直徑
- (3) 特記なき構造詳細は、日本建築学会「壁構造配筋指針」による。

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折曲げ角度90°はスラブ筋・壁筋の末端またはスラブと同時に打ち込むT形およびU形梁のキャップタイに用いられる。
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(4d以上)	8d以上(4d以上)	

片持スラブ上端筋の先端
鉄筋は、SD295A、SD295B、SD345を使用する。
折曲げ内法寸法Rは、D16以下は、3d以上、D19以上は4d以上

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法寸法(R)
	帶筋 あら筋 スパイアル筋	SD295A SD295B, SD345	D16以下	3d以上
	上記以外の鉄筋	SD295A SD295B, SD345	D16以下	4d以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

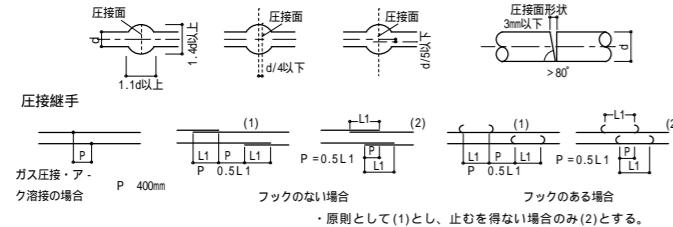
鉄筋の種類	定着の長さ		特別の定着及び重ね継手の長さ(L1)
	一般(L2)	下端筋(L3)	
SD295A	21	24	35dまたは25d フックつき
SD295B			40dまたは30d フックつき
SD345	18		45dまたは35d フックつき

コンクリートは普通Fc=18N/mm²以上24N/mm²以下、軽量Fc=18N/mm²以上21N/mm²以下

継手

1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設ける事を原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする

ガス圧接形状



(4) 鉄筋のかぶり厚さ (単位:mm)

構造部分	最小かぶり厚さ(mm)
屋根スラブ・床スラブ・片持ちスラブ*・非耐力壁	20*
耐力壁・壁梁・小梁・片持ち梁	30*
土に接する耐力壁・床スラブ・布基礎の立上り部分・基礎つなぎ梁	40
基礎(捨コンクリート部分を除く)	60

(注) * 耐久性上有効な仕上げがない場合は、屋内・屋外にかかわらず10mm増しとする。又、軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。

** 片持ちスラブ先端は、最小かぶり30mmとする。(8-(1)の②参照)

(5) 鉄筋のあき

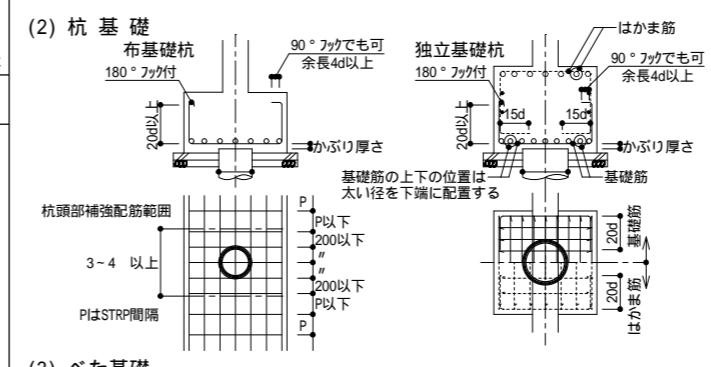
- a. 異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上
- b. 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25mm以上

(6) 鉄筋のフック(a-fに示す鉄筋の末端にはフックをつける。)

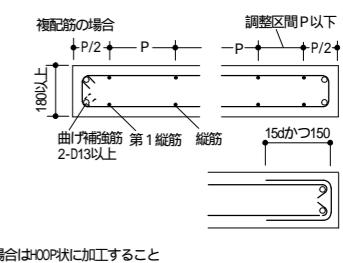
- a. 壁長が1m以下の横筋の末端
- b. あら筋、帯筋
- c. 煙突の鉄筋
- d. 柱、梁(基礎梁は除く)の出しうみ部分の鉄筋(右図参照)
- e. 単純梁の下端筋
- f. その他、本配筋標準に記載する箇所

3. 杣(地震力等の水平力を考慮して、別途検討すること。)

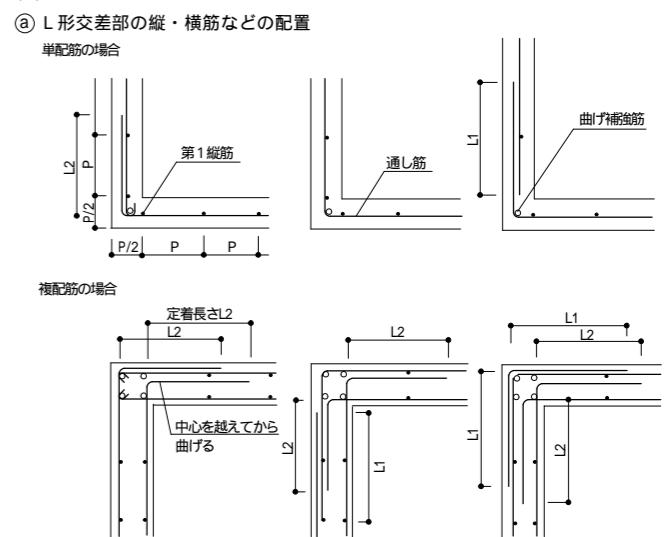
修正箇所は下線を引くこと



(3) 耐力壁の縦・横筋の配置

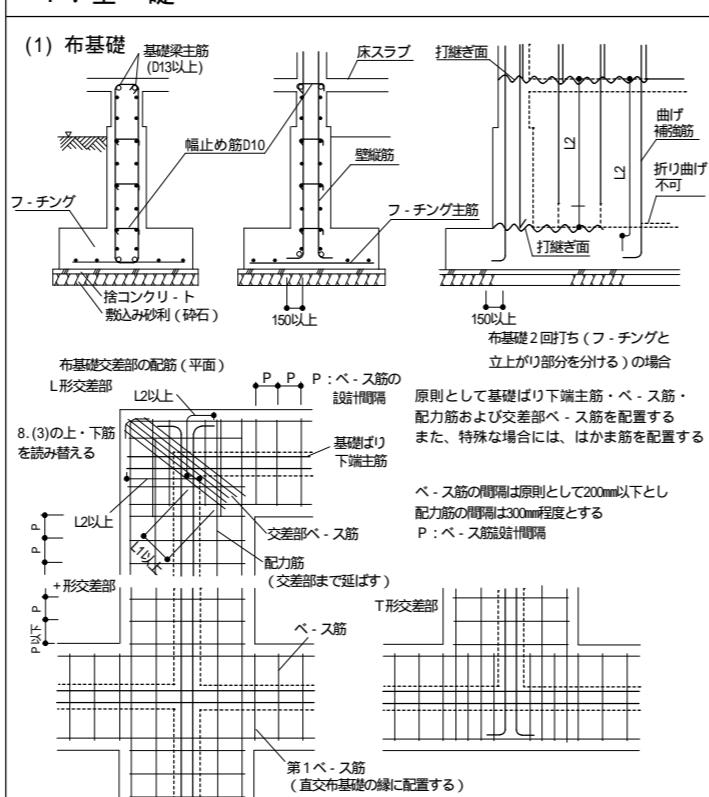


(4) 耐力壁が交差する場合(平面)



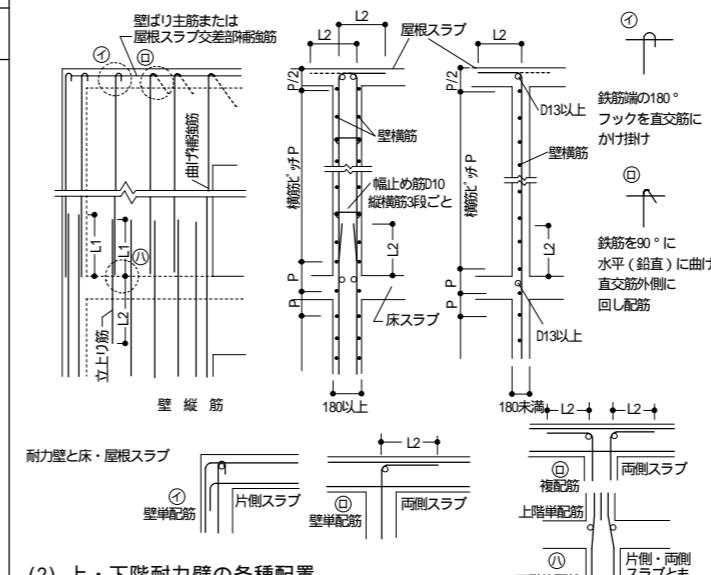
4. 基礎

(1) 布基礎

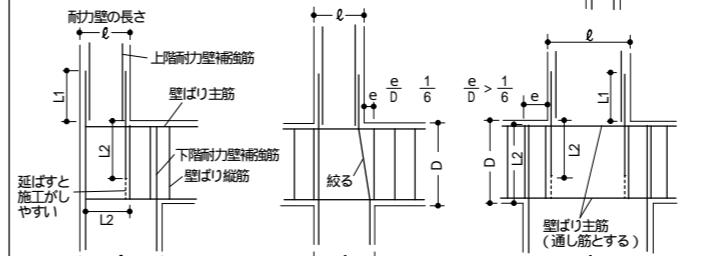


5. 耐力壁

(1) 縦筋・曲げ補強筋・縦補強筋の定着



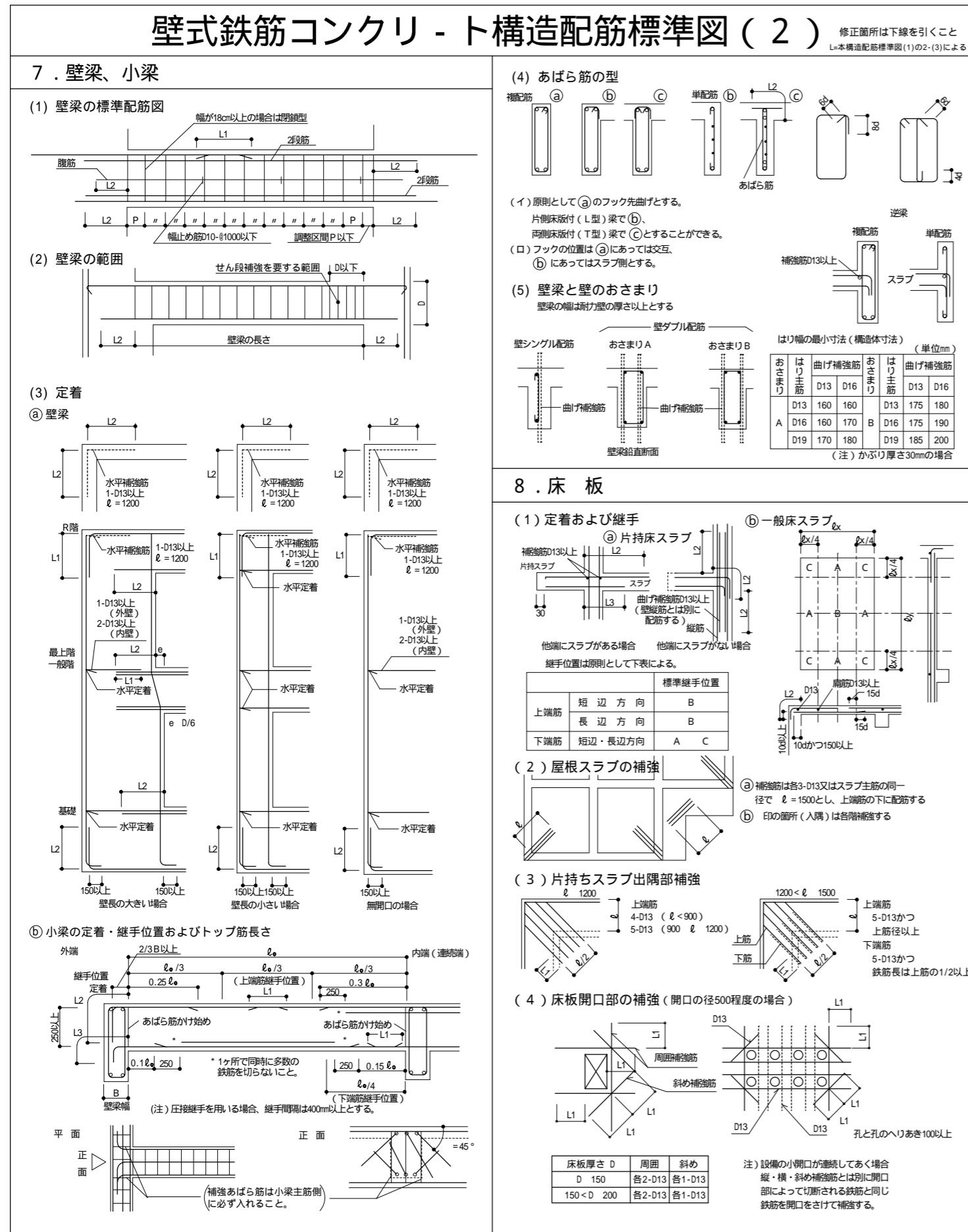
(2) 上・下階耐力壁の各種配置



6. 使用可能な鉄筋の最大径(標準)

部位	耐力壁	壁がりよう	梁	布基礎	基礎梁	スラブ	非耐力壁	塔
壁式鉄筋コンクリート造	D22	D22	D25	D16	D16	D16	D16	D16

壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)



11. 梁貫通孔補強

大臣認定品を使用する事

(1) 既製品 (使用するときは、設計者又は工事監理者と打合せのこと)
リング型 パイプ型 金網型 プレート型

(2) 鉄筋標準配筋 但し D/3 とする
設置可能範囲 原則として梁端部(スパン l/10以内かつD以内)は避ける
ただし、基礎梁、壁付帯梁は除く

80 < 100	100 < 150	150 < 250
折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST 2-D13 8100	折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST 2-D13 850	斜筋 4-(2-D13) 縦筋 ST 2-D13 850
横筋 2-(2-D13)	横筋 2-(2-D13)	横筋 2-(2-D13)
上縦筋 ST 2-D13 850	下縦筋 ST 2-D13 850	上縦筋 ST 2-D13 850

孔補強の有効範囲と定着長さのとり方
部分について計算で確認された場合は右記の位置、寸法によらなくても良い。
(1+2)×3/2以上
(スターラップ補強範囲)

貫通孔は連続して間隔等が取れない場合は設計者又は工事監理者と打合せのこと。

構造設計者 一級建築士 第241724号 小野芳美

備考



一級建築士事務所
株式会社工藤金正建築設計
青森県A1第495号
1級建築士第153872号
弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559 工藤金正

承認

担当

製図

年月日

工事名称

令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事

縮尺

設計番号

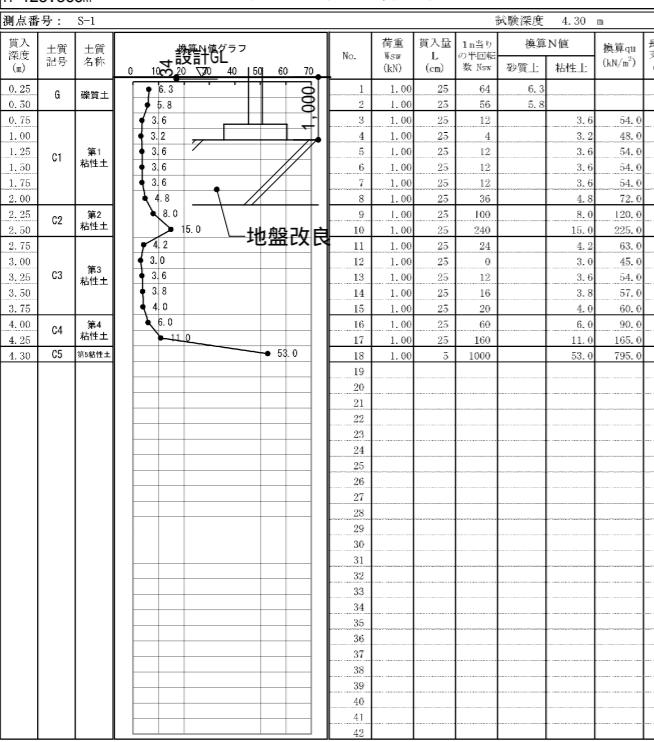
図面番号

Kudou Sugimi Ono R.7.3

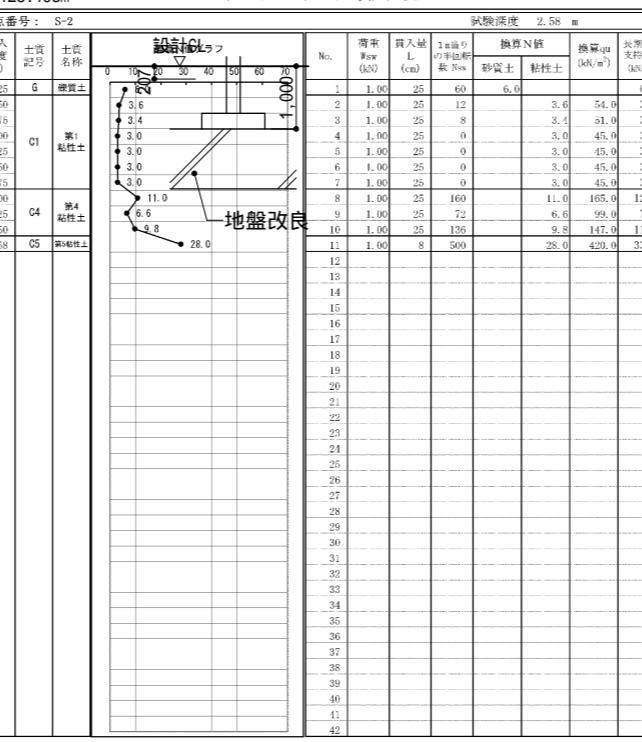
図面名称 壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

S - 03

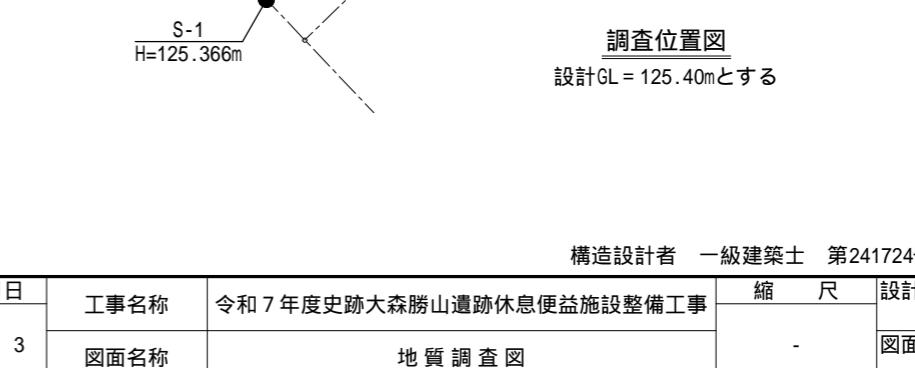
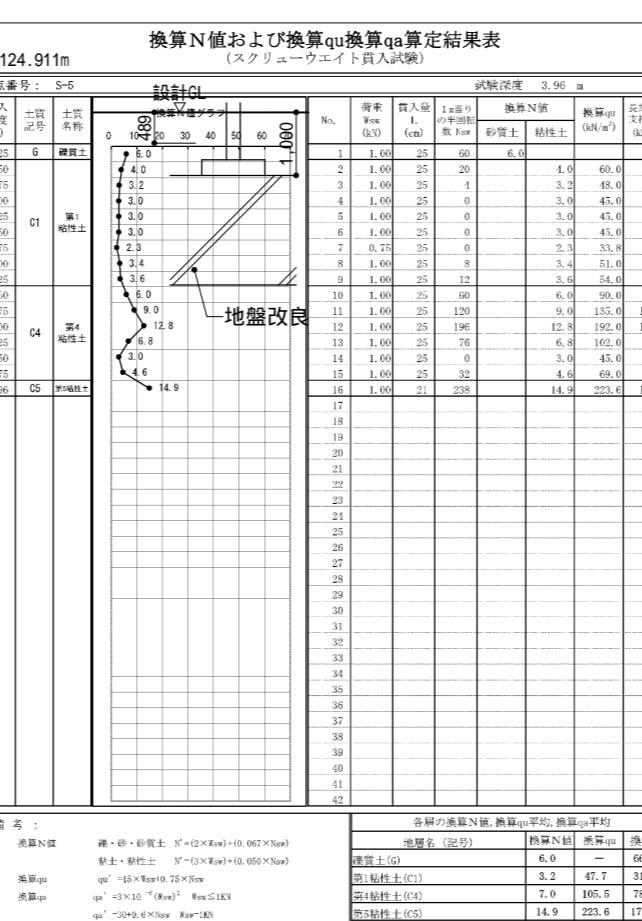
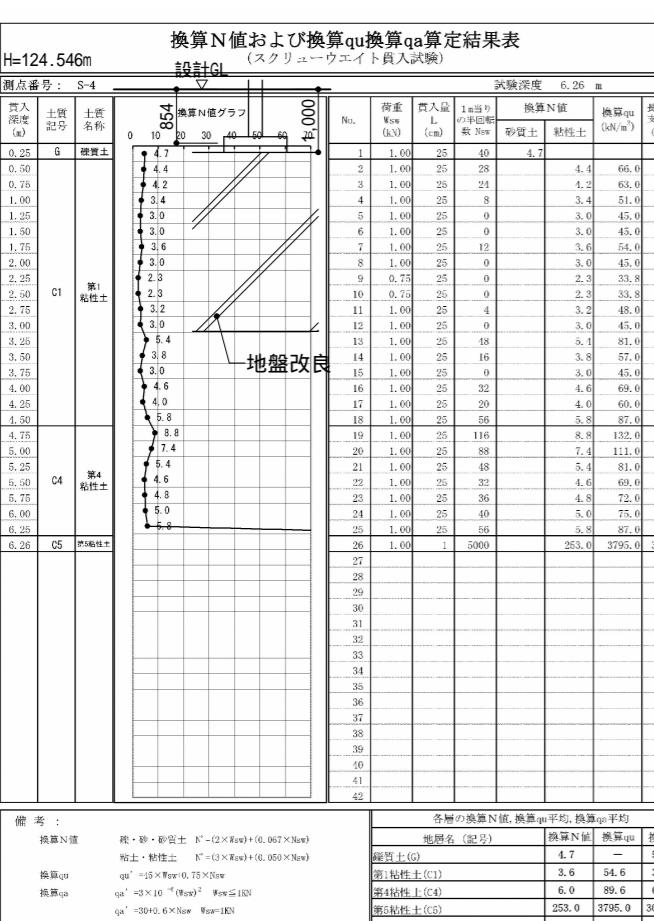
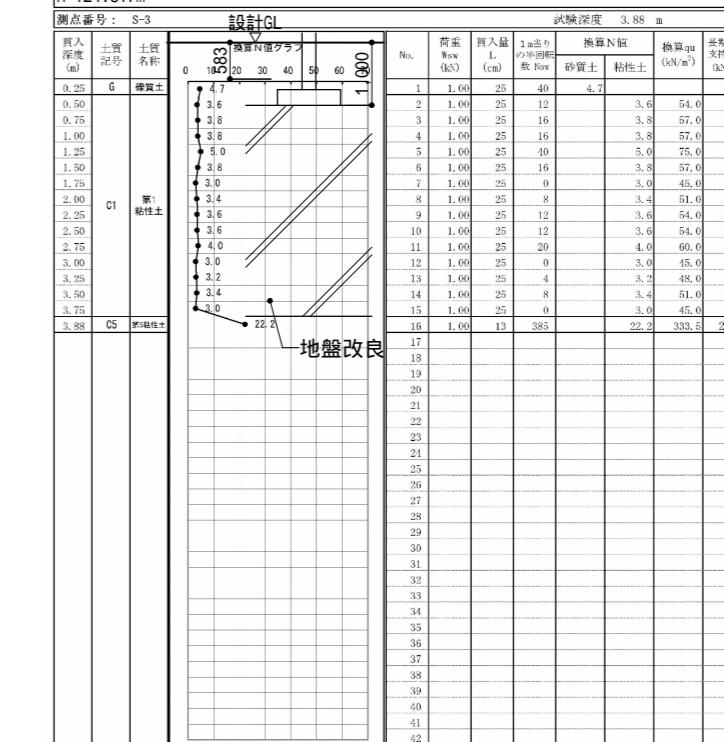
換算N値および換算qu換算qa算定結果表
(スクリューウエイト貫入試験)



換算N値および換算qu換算qa算定結果表
(スクリューウエイト貫入試験)



換算N値および換算qu換算qa算定結果表
(スクリューウエイト貫入試験)



構造設計者 一級建築士 第241724号 小野芳美

備考

一級建築士事務所
株式会社工藤金正建築設計

青森県A1第495号
1級建築士第153872号
弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559 工藤金正

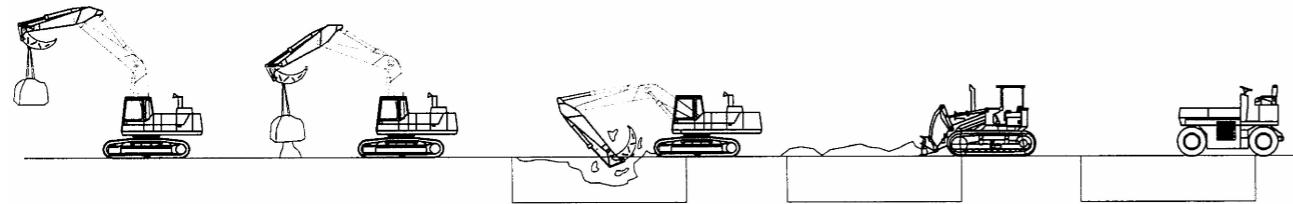
承認 担当 製図 年月日
Kudou Sugimi Ono R.7.3

工事名称 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事
縮尺 設計番号
- S-04
図面名称 地質調査図

浅層地盤改良工法特記仕様書

1 工法概要

本工法は現地盤土とセメント系固化材をバックホウで混合し、所要の強度を有する改良体を造成する工法である。



区割り固化材配置

材料散布

混合攪拌

整地・敷き均し

転圧

2 一般事項

本工事は、本特記仕様書によるほか、「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」(財)日本建築センターによる。

改良厚さ、土量、位置および固化材の配合等は、土質や地盤状況により変更することがある。

本工事に先立ち、施工計画書を提出し監督員の承認を得るものとする。施工計画書には次の事項を明記する。

- (1) 工事内容(改良厚さ、土量、位置、設計基準強度等)
- (2) 工程表
- (3) 施工方法(仕様固化材、配合量等)
- (4) 施工機械
- (5) 施工管理方法
- (6) 品質管理方法
- (7) 安全管理方法
- (8) 請負業者の本工事責任者名
- (9) 本工事施工業者名および施工責任者名

3 特記事項

- (1) 改良厚さ、位置等は設計図による。
- (2) 改良体の設計基準強度: $F_c = 195 \text{ kN/m}^2$
- (3) 必ず事前に配合試験を行い配合量の妥当性を確認する。

4 配合管理

- (1) 地盤改良に使用する固化材は、六価クロム抑制タイプのセメント系固化材とする。

$$(2) F_c = (1 \text{ m} \cdot V) \cdot q_{uf}$$
$$q_{uf} = F_c / (1 \text{ m} \cdot v)$$
$$q_{ul} = q_{uf} / d_1$$
$$d_1: \text{現場/室内強度比 (0.5~0.8)}$$
$$0.7 \text{ を採用}$$

$$(3) q_{ul} = \{ 195 / (1 \cdot 1.3 \times 0.45) \} / 0.7$$
$$= 671 \text{ kN/m}^2$$

- (4) 推定配合量 80 kg/m³ (最終的には配合試験により決定する)

5 施工

(1) 施工

改良対象地盤にマーキングしきあがった升目に改良体を散布する。

混合した改良土は、状況を見てできるだけ早期に転圧を行う。

改良土は、転圧完了後所定の強度を得るまで養生する。

施工に対して疑義が生じた場合は、直ちに監督員と協議し、その指示を受ける。

施工精度を満足しない場合は、監督員と協議しその指示を受け適切な処置をする。

6 施工管理

施工過程における管理方法は次の通りとする。

(1) 固化材散布量

マーキングに基づき1tフレコンを所定面積内に均一に散布する。

(2) 改良厚さ

混合中に機械を止めて、改良厚さをスタッフ等により測定する。

(3) 混合程度

固化材と改良対象土の色むらがなくなるまで混合する。

7 報告

工事完了後、次の事項について報告書をまとめて、監督員に提出する。

(1) 施工日報(改良厚さ、位置、土量、配合量、固化材使用量等)

(2) 固化材散布量、改良厚さの状況写真

(3) 管理試験結果

8 管理試験

(1) 一軸圧縮試験

1) 現場採取供試体

2ヶ所から改良土を採取し、寸法 5cm × 10cmの供試体を 3個/箇所作成し、一軸圧縮試験を行う。

2) 材令28日で各箇所の圧縮強度の平均値が設計基準強度を上回ること。

(2) 六価クロム溶出試験

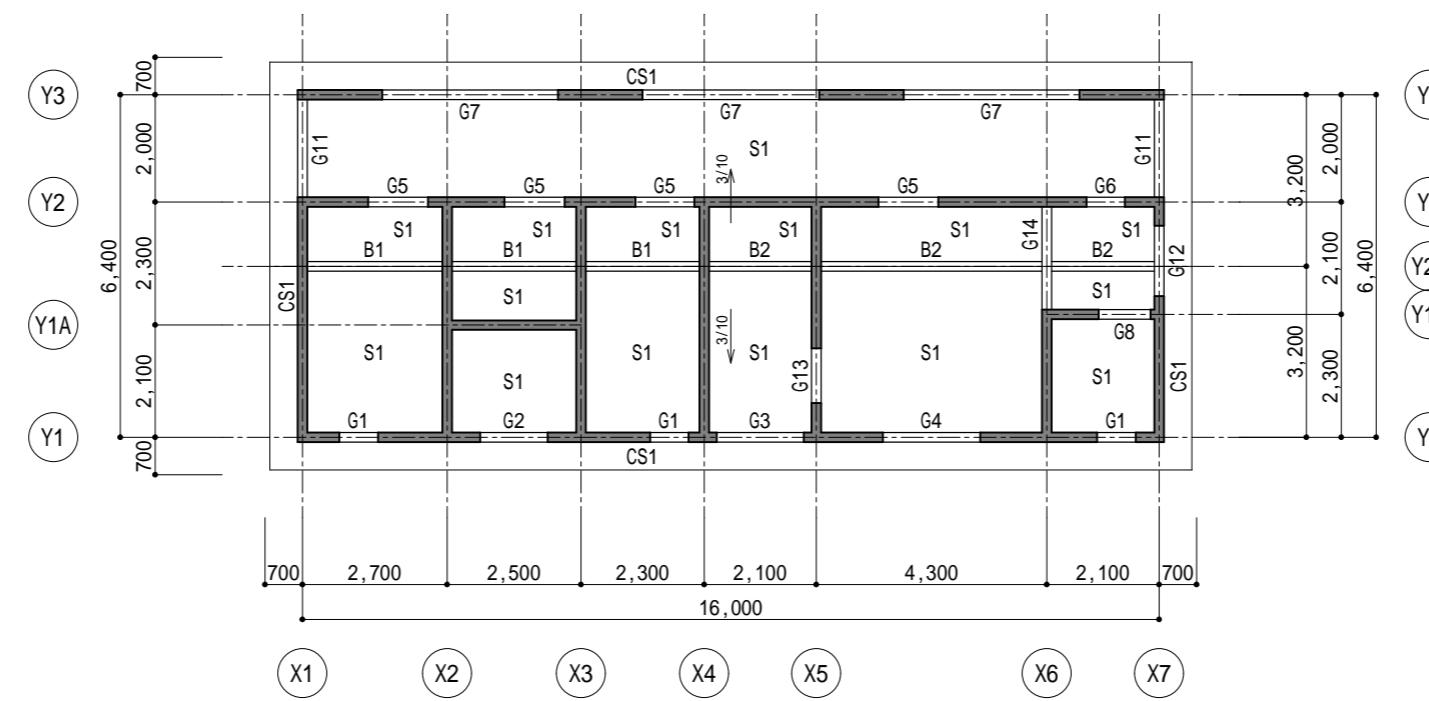
国土交通省 国官技第16号、国営建第1号(平成13年4月20日)「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領(案)」による六価クロム溶出試験を実施し、試験結果を提出するものとする。

事前配合試験段階 1 構体

備考

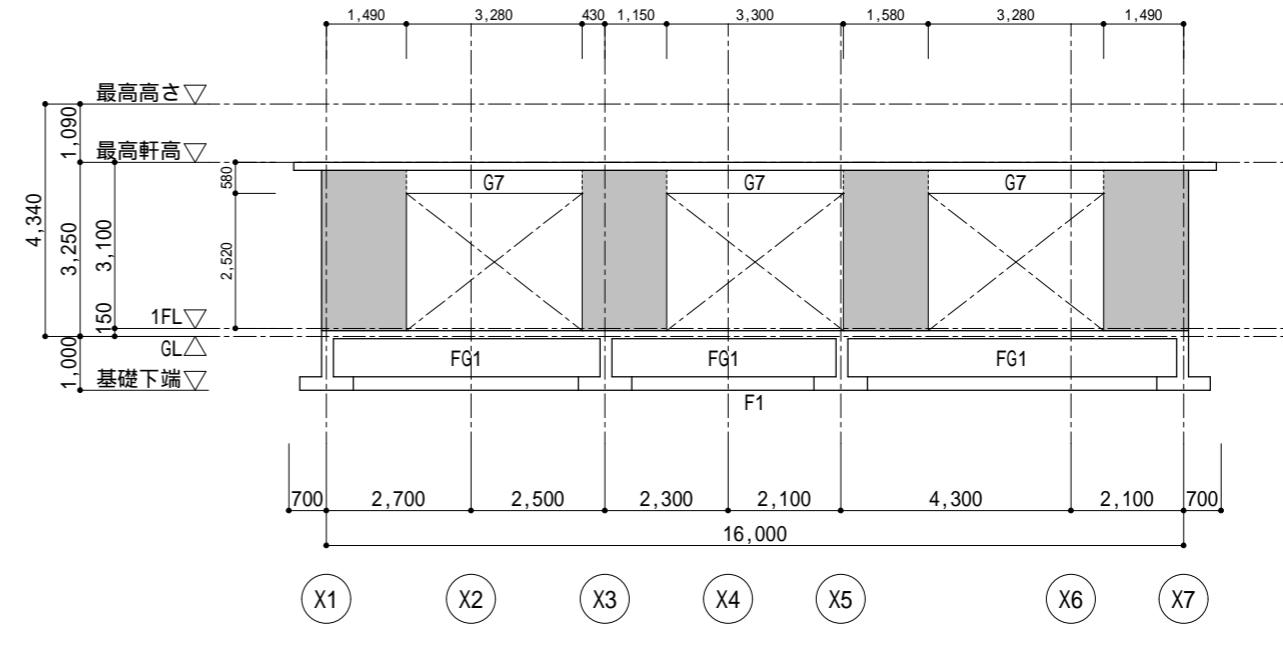
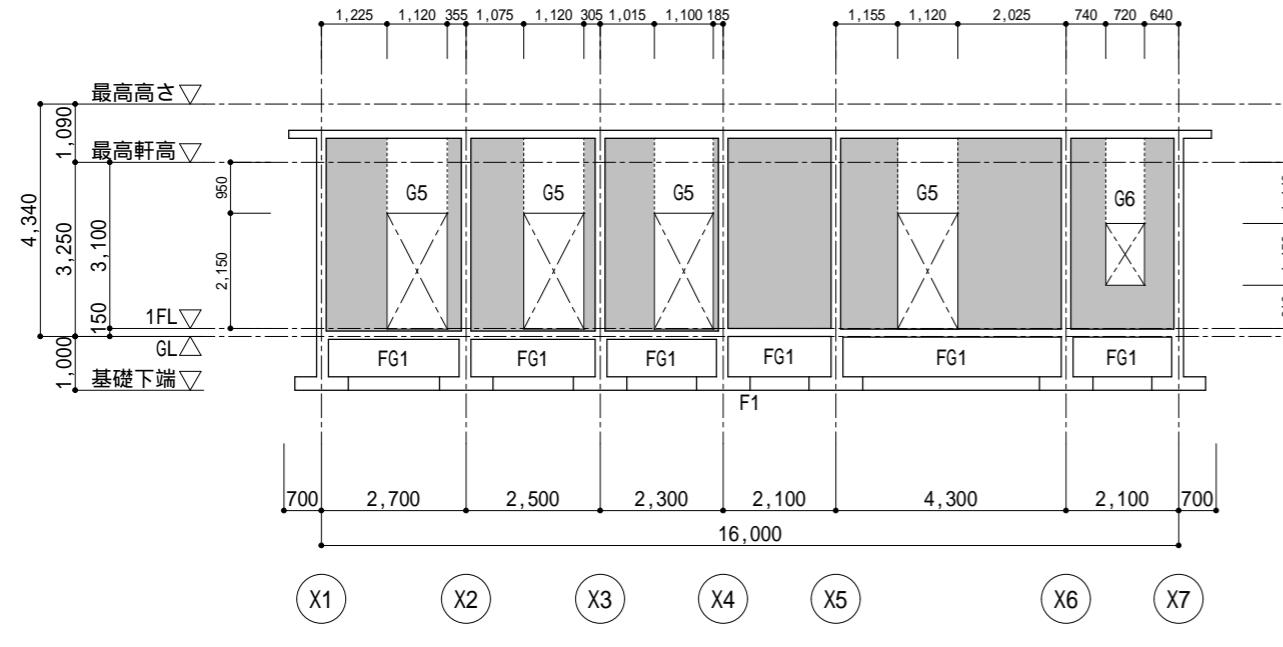
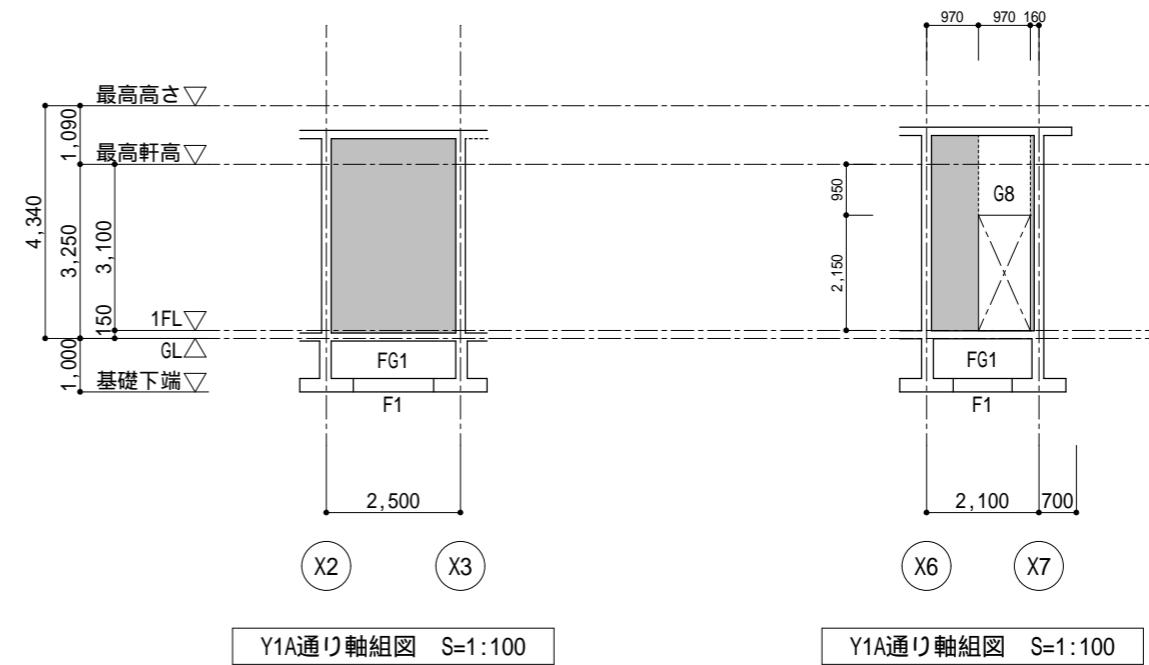
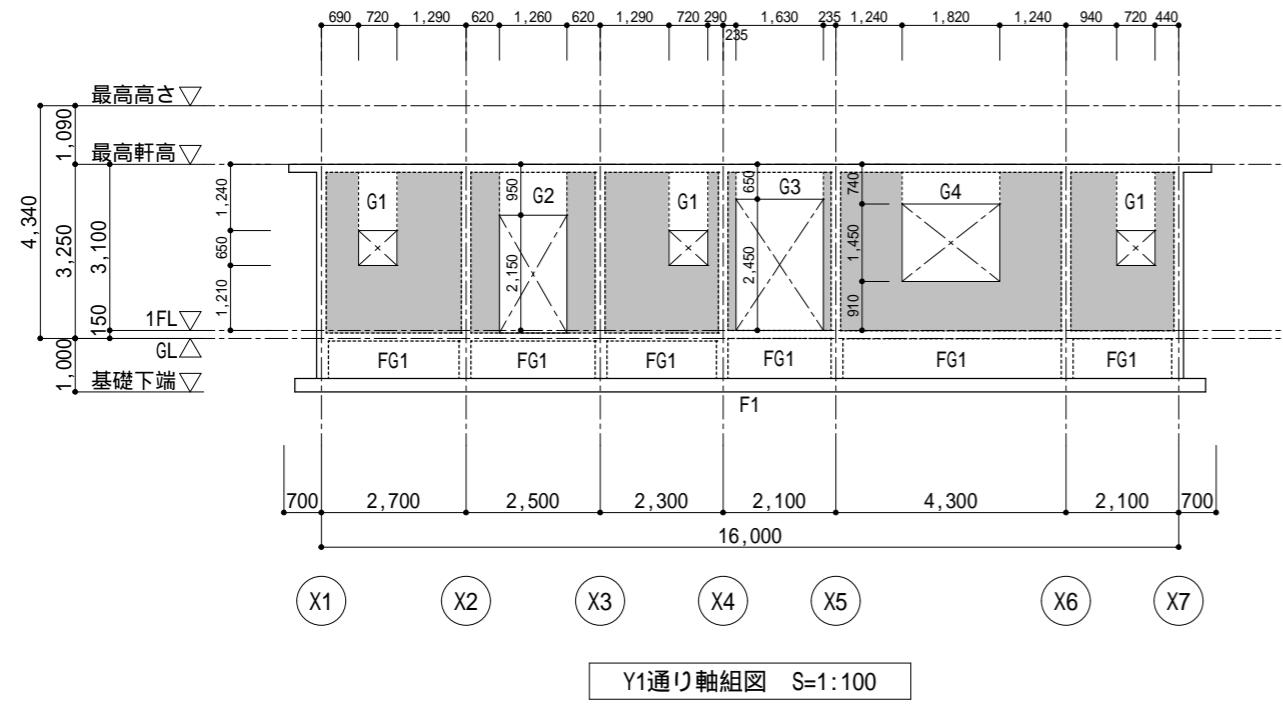
一級建築士事務所 株式会社工藤金正建築設計 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559 工藤金正	青森県A1第495号 1級建築士第153872号
--	-----------------------------

構造設計者	一級建築士 第241724号	小野芳美	縮尺	設計番号
承認	担当	製図	年月日	図面番号
Kudou	Sugimi	Ono	R 7. 3	-
工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事	図面名称	浅層地盤改良工法特記仕様書	図面番号 S-05



特記なき限り以下とする。
 1. コンクリート壁は、W18とする。
 2. W18の壁は、壁芯 = 通り芯とする。
 3. 梁天端レベルは、水勾配なりとする。
 4. スラブ天端レベルは、水勾配なりとする。





特記なき限り以下とする。
1. □は、W18とする。

備考



一級建築士事務所
株式会社工藤金正建築設計
青森県A1第495号
1級建築士第153872号
弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559 工藤金正

承認

担当

製図

年月日

工事名称

令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事

縮尺

設計番号
S-08

構造設計者 一級建築士 第241724号 小野芳美

Kudou

Sugimi

Ono

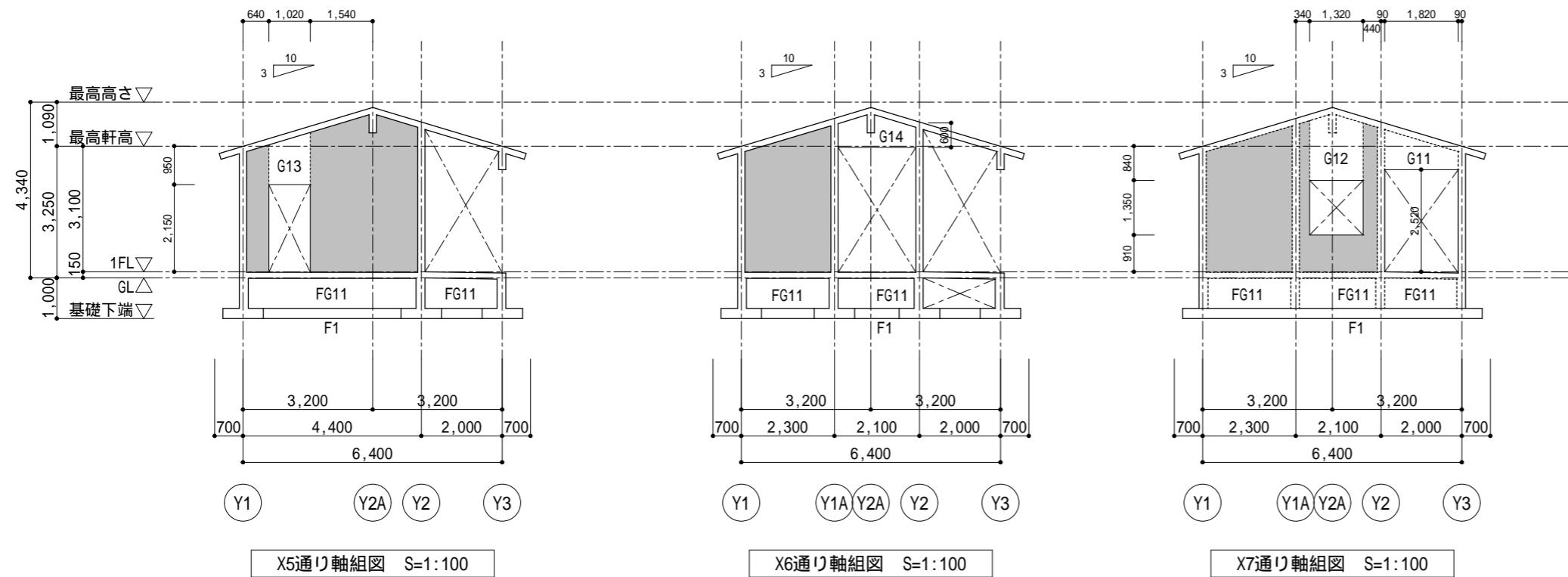
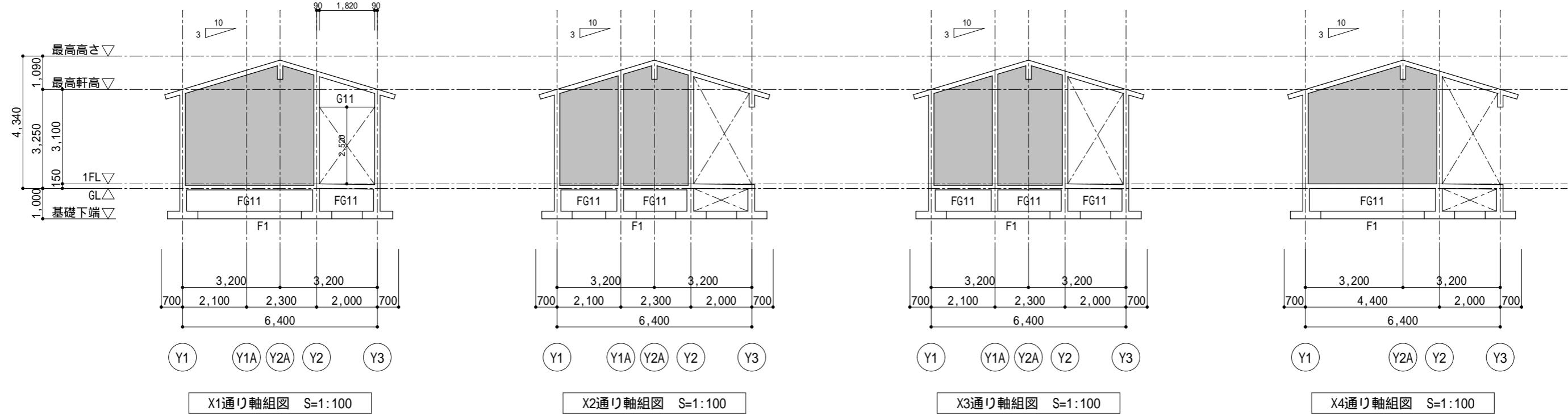
R 7. 3

図面名称

軸組図 (1)

1 : 100

図面番号
S-08



特記なき限り以下とする。
1. □は、W18とする。

備考



一級建築士事務所
株式会社工藤金正建築設計
青森県A1第495号
1級建築士第153872号
弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559 工藤金正

青森県A1第495号
1級建築士第153872号

承認 担当 製図 年月日

Kudou Sugimi Ono R.7.3

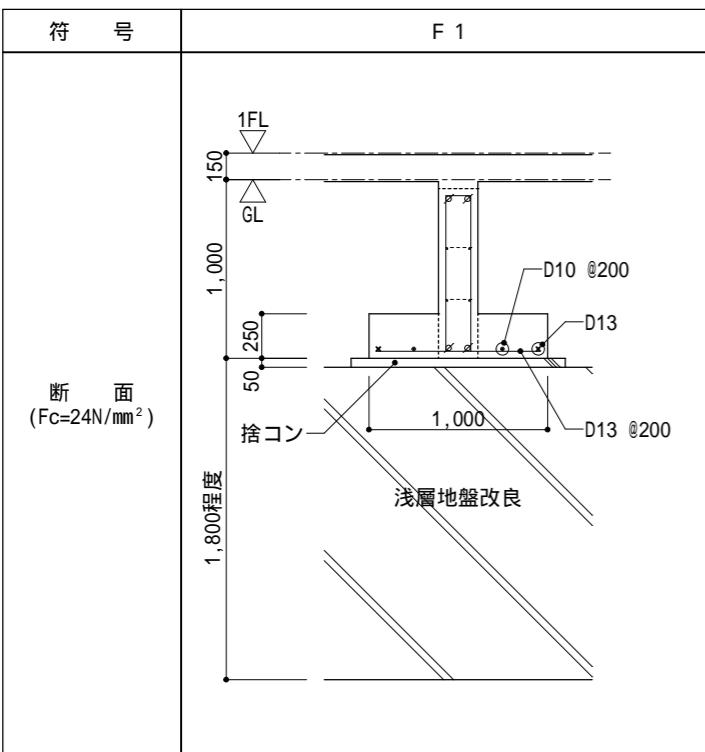
工事名称
令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事

図面名称
軸組図(2)

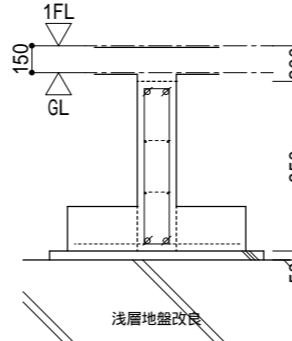
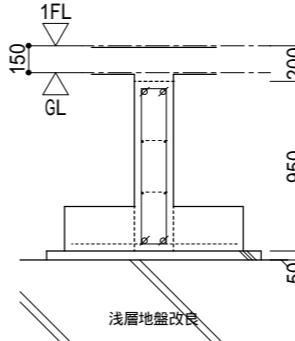
構造設計者 一級建築士 第241724号 小野芳美

縮尺
1:100
設計番号
S-09
図面番号

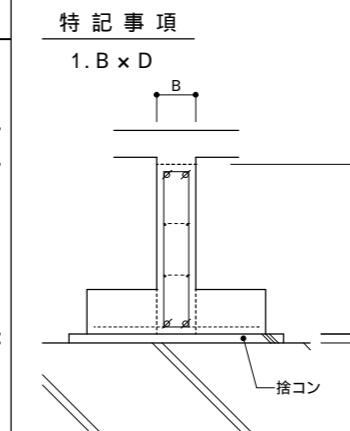
基礎リスト S=1:30



地中梁リスト S=1:30

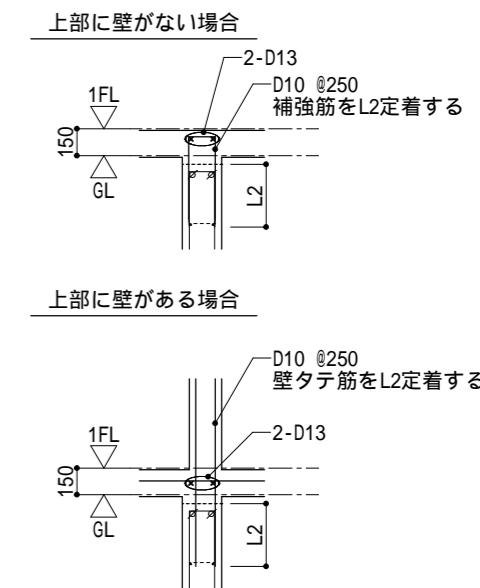
符 号	F G 1	F G 1 1
位 置	全 断 面	全 断 面
断面 ($F_c=24N/mm^2$)		
B × D	220 × 950	220 × 950
上 端 筋	2 - D16	2 - D16
下 端 筋	2 - D16	2 - D16
スターラッフ°	□ - D10 @200	□ - D10 @200
腹 筋	4 - D10	4 - D10

置きスラブ配筋要領 S=1:30



2.幅止め筋は、D10 @1,000とする。

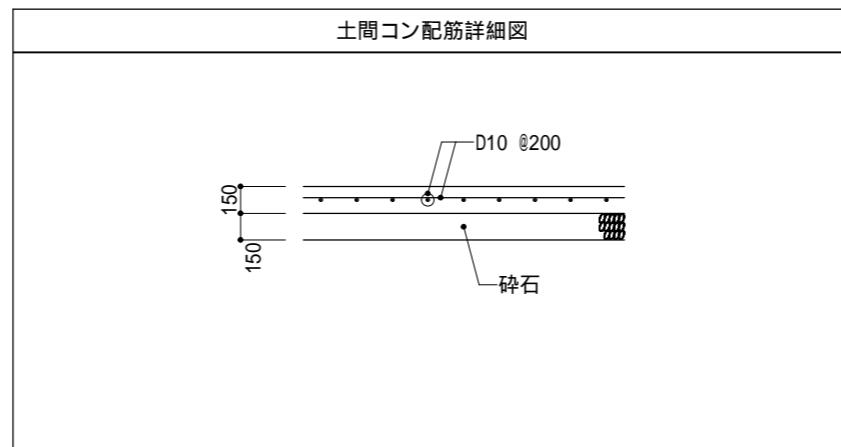
鉄筋記号



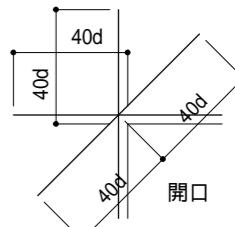
スラブリスト

スラブ配筋リスト (モチアミ)					備考
記号	スラブ厚	位置	短辺方向(主筋)	長辺方向(配力筋)	
			全 域	全 域	
S 1	t = 150	上端筋	D10・D13 @200	D10・D13 @200	
		下端筋	D10・D13 @200	D10・D13 @200	
C S 1	t = 150	上端筋	D10・D13 @200	D10 @200	
		下端筋	D10・D13 @200	D10 @200	

雑配筋図 S=1:30



壁リスト S=1:30

符 号	W 1 8	開口補強筋
断 面 ($F_c=24N/mm^2$)		
タ テ 筋	D10 @250 タブル配筋	
ヨ コ 筋	D10 @250 タブル配筋	
補 強 筋	タ テ 筋	2 - D 1 3
	ヨ コ 筋	2 - D 1 3
	斜 メ 筋	1 - D 1 3

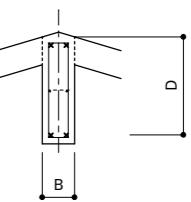
大梁リスト S=1:30

階	符 号	G 1	G 2	G 3	G 4	G 5	G 6	G 7	G 8
	位 置	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面
R 階	断面 (Fc=24N/mm ²)								
B × D	180 × 1,240	180 × 950	180 × 650	180 × 740	180 × 1,550	180 × 1,740	180 × 580	180 × 1,640	
上 端 筋	2 - D13	2 - D13	2 - D13	2 - D13	2 - D13	2 - D13	3 - D13	2 - D13	
下 端 筋	2 - D13	2 - D13	2 - D13	2 - D13	2 - D13	2 - D13	3 - D13	2 - D13	
スターラップ°	□ - D10 @250	□ - D10 @250	□ - D10 @250	□ - D10 @250	□ - D10 @250	□ - D10 @250	□ - D10 @250	□ - D10 @250	
腹 筋	D10 @250	D10 @250	D10 @250	D10 @250	D10 @250	D10 @250	D10 @250	D10 @250	

小梁リスト S=1:30

符 号	B 1	B 2
位 置	全 断 面	全 断 面
断面 (Fc=24N/mm ²)		
B × D	180 × 600	180 × 600
上 端 筋	2 - D13	3 - D13
下 端 筋	2 - D13	3 - D13
スターラップ°	□ - D10 @250	□ - D10 @250
腹 筋	D10 @250	D10 @250

特記事項
1. B × D

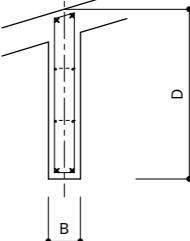


2. 幅止め筋は、D10 @1,000とする。

鉄筋記号
× D13

2.

特記事項
1. B × D



幅止め筋は、D10 @1,000とする。

鉄筋記号
× D13

階	符 号	G 1 1		G 1 2		G 1 3		G 1 4	
	位 置	Y3通り側端部	Y2通り側端部	水 下 側	水 上 側	水 下 側	水 上 側	水 下 側	水 上 側
R 階	断面 (Fc=24N/mm ²)								
B × D	180 × 580	180 × 1,180	180 × 1,560	180 × 1,800	180 × 950	180 × 1,440	180 × 600	180 × 980	
上 端 筋	2 - D13		2 - D13		2 - D13		2 - D13		
下 端 筋	2 - D13		2 - D13		2 - D13		2 - D13		
スターラップ°	□ - D10 @250		□ - D10 @250		□ - D10 @250		□ - D10 @250		
腹 筋	D10 @250		D10 @250		D10 @250		D10 @250		

備考



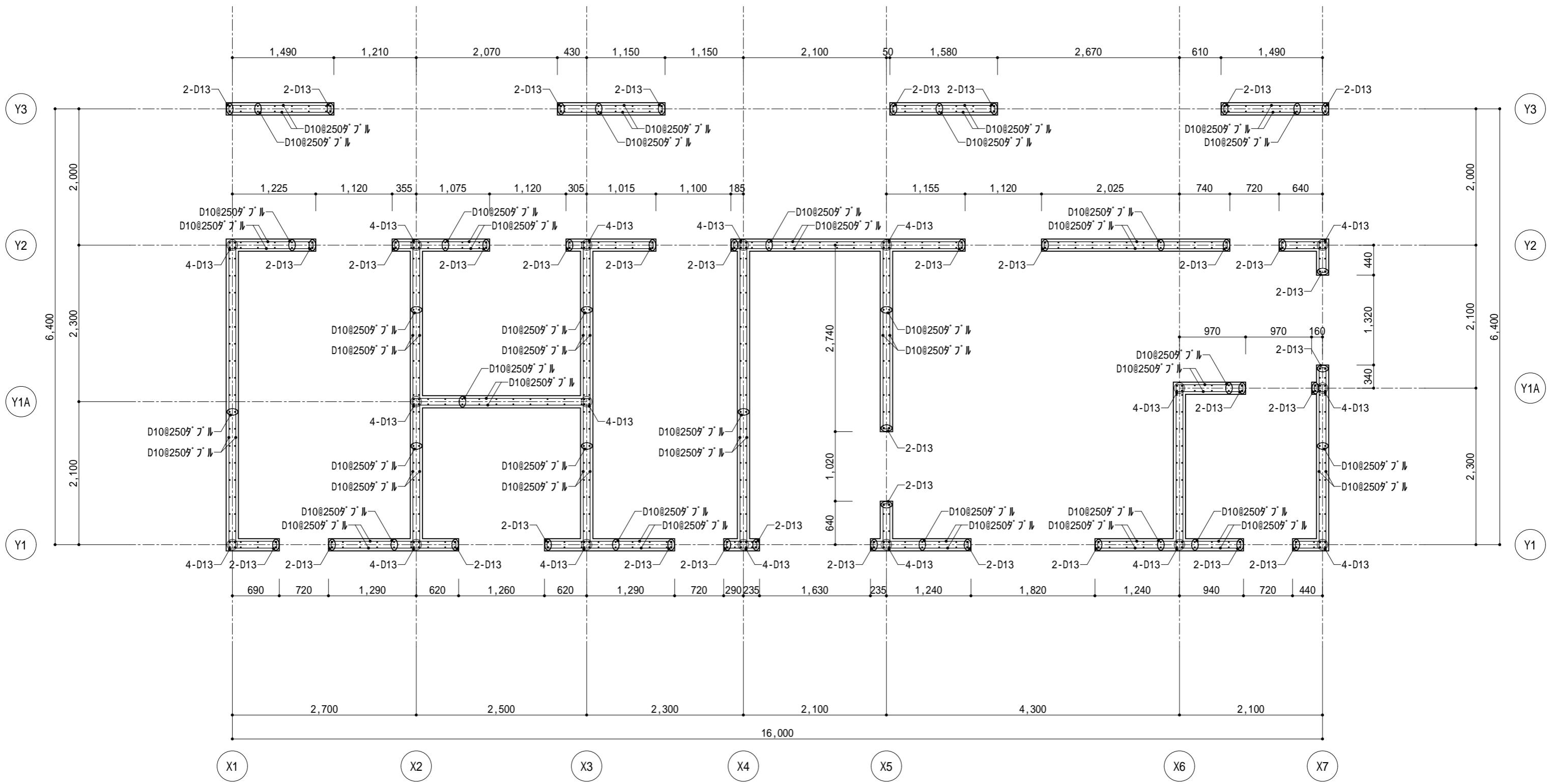
一級建築士事務所
株式会社工藤金正建築設計
青森県A1第495号
1級建築士第153872号
弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559 工藤金正

承認 担当 製図 年月日
Kudou Sugimi Ono R.7.3

工事名称 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事
図面名称 大梁リスト、小梁リスト

縮 尺 設計番号
1:30 圖面番号 S-111

構造設計者 一級建築士 第241724号 小野芳美

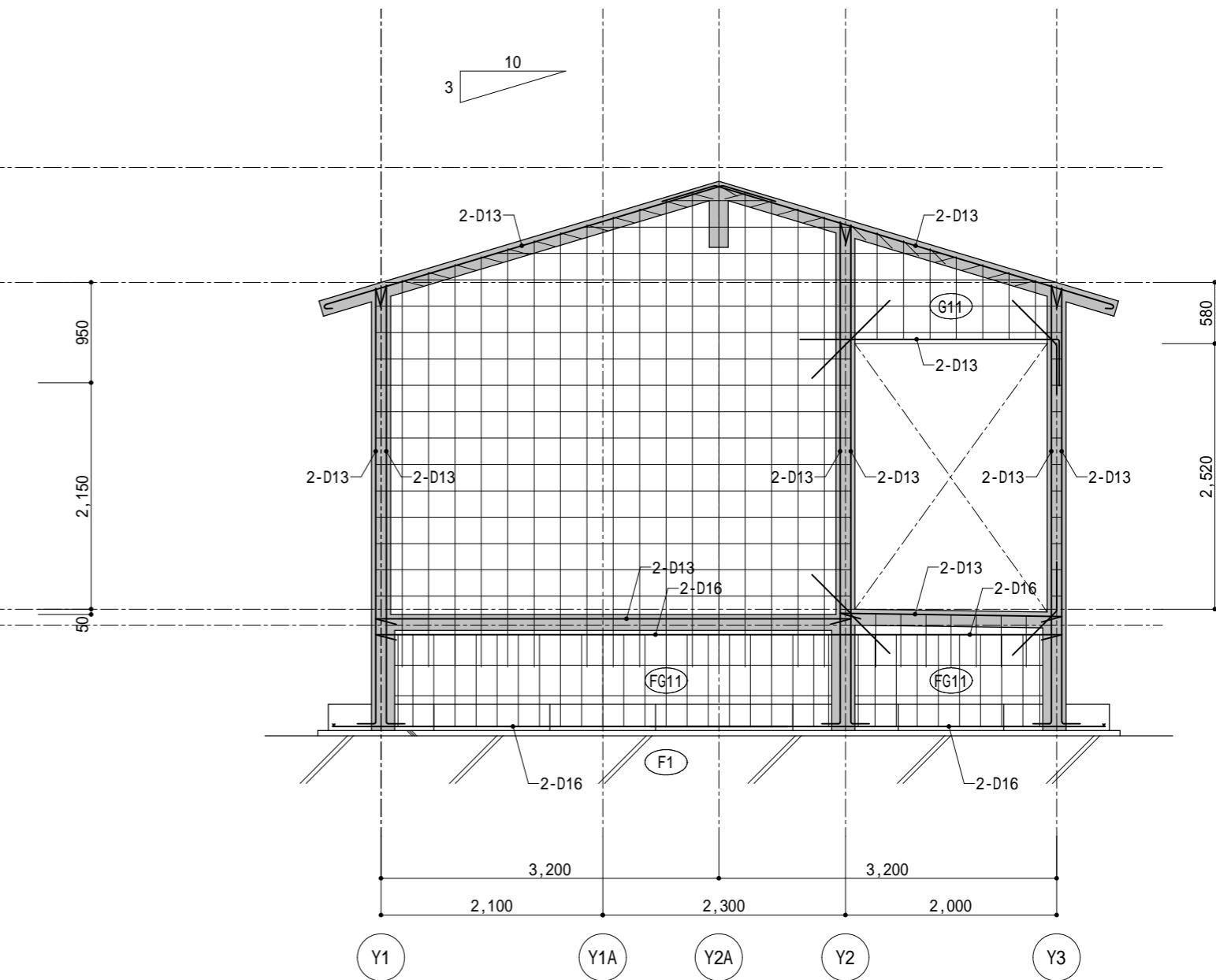
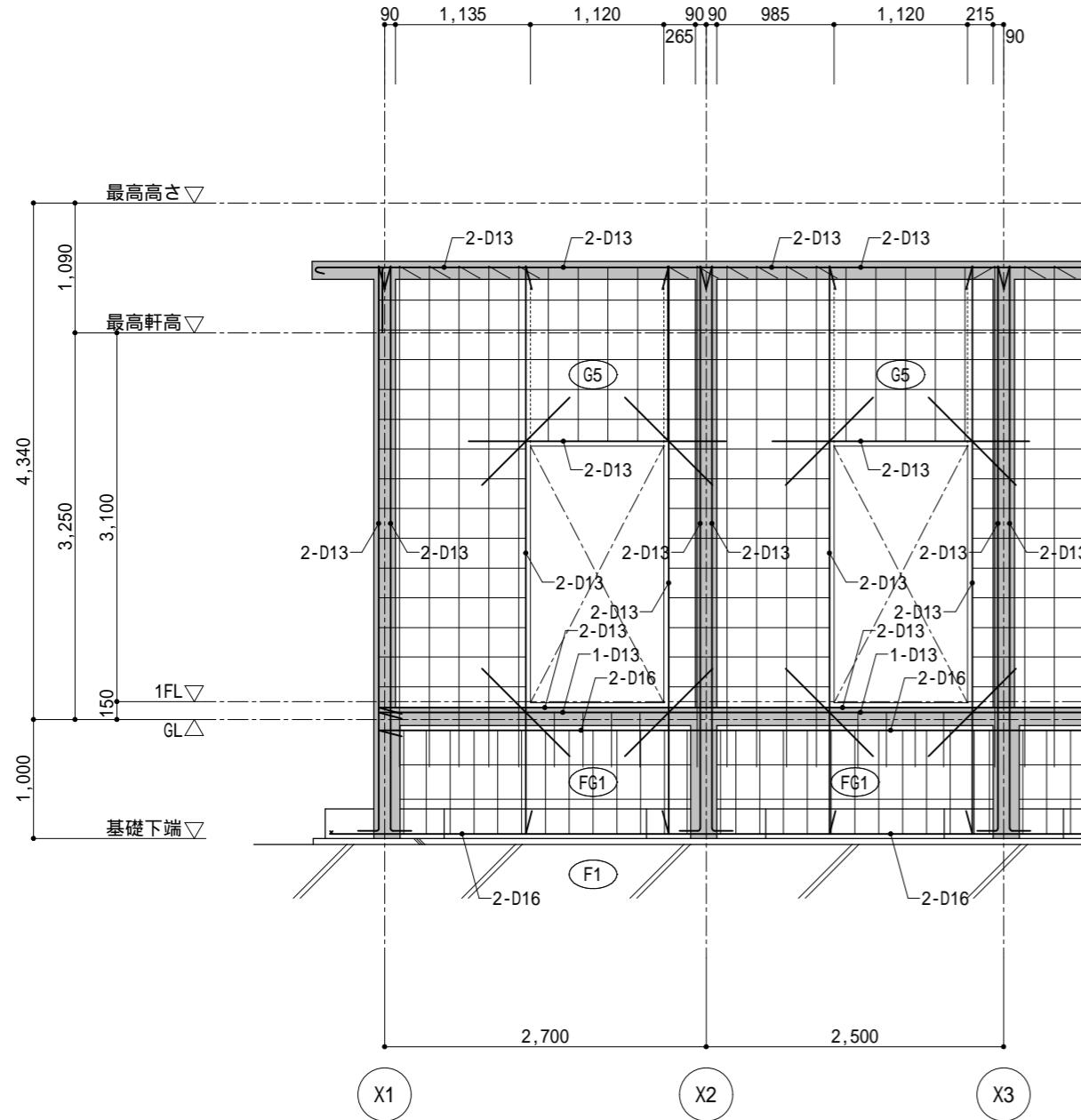


1階平面配筋詳細図 S=1:40

コンクリート壁は、1階壁を示す。
特記なき壁は、W18(t=180)とする。
W18の壁は、壁芯=通り芯とする。

構造設計者 一級建築士 第241724号 小野芳美

備考	



備考

一級建築士事務所
株式会社工藤金正建築設計
青森県A1第495号
1級建築士第153872号
弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559 工藤金正

承認 担当 製図 年月日
Kudou Sugimi Ono R 7. 3

工事名称 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事
図面名称 架構配筋図

縮尺 1:40
設計番号 S-13
図面番号 S-13

令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事 電気設備工事特記仕様書																																																																																																					
I. 工事概要																																																																																																					
1. 工事場所 弘前市大字大森字勝山961-3																																																																																																					
2. 建物概要																																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>建物名称</th><th>構造</th><th>階数</th><th>建築基準法上の延床積(m)</th><th>消防法施行令別表第1の区分</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>地上</td><td>地下</td><td>塔屋</td><td></td><td></td><td></td></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>休息便益施設</td><td>RC造</td><td>1</td><td>70.4</td><td>(七) 項</td><td>新築1棟</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		建物名称	構造	階数	建築基準法上の延床積(m)	消防法施行令別表第1の区分	備考	地上	地下	塔屋				休息便益施設	RC造	1	70.4	(七) 項	新築1棟																																																																																		
建物名称	構造	階数	建築基準法上の延床積(m)	消防法施行令別表第1の区分	備考																																																																																																
地上	地下	塔屋																																																																																																			
休息便益施設	RC造	1	70.4	(七) 項	新築1棟																																																																																																
3. 工事種目 (●印の付いたものを適用する。)																																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種目</th><th>戸舎</th><th>屋外</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●電灯設備</td><td>新設一式</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○動力設備</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○電気自動車用充電設備</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○電熱設備</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○雷保護設備</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○受変電設備</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○電力貯蔵設備</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○発電設備</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○構内情報通信網設備</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○構内交換設備</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○情報表示設備</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○映像・音響設備</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○拡声設備</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>●誘導支援設備</td><td>新設一式</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○テレビ共同受信設備</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○監視カメラ設備</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○駐車場監視設備</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○防犯・入退室管理設備</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○火災報知設備</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○中央監視制御設備</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○構内配電線路</td><td></td><td></td><td>外灯設備を含む</td></tr> <tr> <td>○構内通信線路</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		工事種目	戸舎	屋外	備考	●電灯設備	新設一式			○動力設備				○電気自動車用充電設備				○電熱設備				○雷保護設備				○受変電設備				○電力貯蔵設備				○発電設備				○構内情報通信網設備				○構内交換設備				○情報表示設備				○映像・音響設備				○拡声設備				●誘導支援設備	新設一式			○テレビ共同受信設備				○監視カメラ設備				○駐車場監視設備				○防犯・入退室管理設備				○火災報知設備				○中央監視制御設備				○構内配電線路			外灯設備を含む	○構内通信線路				○				○			
工事種目	戸舎	屋外	備考																																																																																																		
●電灯設備	新設一式																																																																																																				
○動力設備																																																																																																					
○電気自動車用充電設備																																																																																																					
○電熱設備																																																																																																					
○雷保護設備																																																																																																					
○受変電設備																																																																																																					
○電力貯蔵設備																																																																																																					
○発電設備																																																																																																					
○構内情報通信網設備																																																																																																					
○構内交換設備																																																																																																					
○情報表示設備																																																																																																					
○映像・音響設備																																																																																																					
○拡声設備																																																																																																					
●誘導支援設備	新設一式																																																																																																				
○テレビ共同受信設備																																																																																																					
○監視カメラ設備																																																																																																					
○駐車場監視設備																																																																																																					
○防犯・入退室管理設備																																																																																																					
○火災報知設備																																																																																																					
○中央監視制御設備																																																																																																					
○構内配電線路			外灯設備を含む																																																																																																		
○構内通信線路																																																																																																					
○																																																																																																					
○																																																																																																					
4. 指定部分 ●なし																																																																																																					
○あり 範囲: 工期: 令和 年 月 日																																																																																																					
II. 工事仕様																																																																																																					
1. 共通仕様																																																																																																					
(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官房営繕部制定の下記仕様書等のうち、●印が付いたものを適用する。																																																																																																					
● 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版) (以下「標準仕様書」という。)																																																																																																					
● 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版) (以下「改修標準仕様書」という。)																																																																																																					
● 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和4年版) (以下「標準図」という。)																																																																																																					
(2) 機械設備工事を本工事に含む場合は、機械設備工事は機械設備の部の特記仕様書を適用する。なお、機械設備の部の特記仕様書は(/)図による。																																																																																																					
2. 特記仕様																																																																																																					
項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用する。																																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>章</th><th>項目</th><th>特記事項</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共通</td><td>●適用区分</td><td>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。</td></tr> <tr> <td>●風圧力</td><td>風速(V₀) = 34 m/s</td><td></td></tr> <tr> <td>●積雪荷重</td><td>建設省告示第1455号における区域別表()</td><td></td></tr> <tr> <td>●電気工作物保安規程</td><td>東北地方整備局制定の営繕工事業用電気工作物保安規程を適用する。</td><td></td></tr> <tr> <td>●電気工事士</td><td>最大電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。</td><td></td></tr> <tr> <td>●機材の品質等</td><td>(1) 本工事に使用する機材等は、設計図面に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 下表に機材名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。 ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事項を示す外部機関が発行する書類を提出し監督職員の承諾を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。</td><td></td></tr> </tbody> </table>		章	項目	特記事項	共通	●適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。	●風圧力	風速(V ₀) = 34 m/s		●積雪荷重	建設省告示第1455号における区域別表()		●電気工作物保安規程	東北地方整備局制定の営繕工事業用電気工作物保安規程を適用する。		●電気工事士	最大電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。		●機材の品質等	(1) 本工事に使用する機材等は、設計図面に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 下表に機材名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。 ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事項を示す外部機関が発行する書類を提出し監督職員の承諾を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。																																																																																
章	項目	特記事項																																																																																																			
共通	●適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。																																																																																																			
●風圧力	風速(V ₀) = 34 m/s																																																																																																				
●積雪荷重	建設省告示第1455号における区域別表()																																																																																																				
●電気工作物保安規程	東北地方整備局制定の営繕工事業用電気工作物保安規程を適用する。																																																																																																				
●電気工事士	最大電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。																																																																																																				
●機材の品質等	(1) 本工事に使用する機材等は、設計図面に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 下表に機材名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。 ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事項を示す外部機関が発行する書類を提出し監督職員の承諾を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。																																																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>各</th><th>設</th><th>●他工事との取扱い</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●耐震施工</td><td>(1) 施設の耐震安全性の分類 ○ 特定の施設 ● 一般の施設</td></tr> <tr> <td>(2) 機器の固定は、施設の分類並びに機器の種別、重要度及び設置階に応じて、次の設計用水平地盤力及び設計用鉛直地震力に対し、移動、転倒、破損等が生じないようにする。</td></tr> <tr> <td>① 設計用水平地震力 機器の重量[N]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合は設計用標準水平震度は次による。</td></tr> <tr> <td>② 設計用標準水平震度</td></tr> <tr> <td>●タンプラスイッチ ○ AOAフロア用配線器具の蓋</td></tr> <tr> <td>○ハーストヨウ用OAカッタ</td></tr> <tr> <td>●人感センサー用ブレート</td></tr> <tr> <td>○ターミナルユニット付リモコン</td></tr> <tr> <td>●LED照明器具</td></tr> <tr> <td>○照度測定</td></tr> <tr> <td>○照度測定(非常用の照明装置)</td></tr> </tbody> </table>		各	設	●他工事との取扱い	●耐震施工	(1) 施設の耐震安全性の分類 ○ 特定の施設 ● 一般の施設	(2) 機器の固定は、施設の分類並びに機器の種別、重要度及び設置階に応じて、次の設計用水平地盤力及び設計用鉛直地震力に対し、移動、転倒、破損等が生じないようにする。	① 設計用水平地震力 機器の重量[N]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合は設計用標準水平震度は次による。	② 設計用標準水平震度	●タンプラスイッチ ○ AOAフロア用配線器具の蓋	○ハーストヨウ用OAカッタ	●人感センサー用ブレート	○ターミナルユニット付リモコン	●LED照明器具	○照度測定	○照度測定(非常用の照明装置)																																																																																					
各	設	●他工事との取扱い																																																																																																			
●耐震施工	(1) 施設の耐震安全性の分類 ○ 特定の施設 ● 一般の施設																																																																																																				
(2) 機器の固定は、施設の分類並びに機器の種別、重要度及び設置階に応じて、次の設計用水平地盤力及び設計用鉛直地震力に対し、移動、転倒、破損等が生じないようにする。																																																																																																					
① 設計用水平地震力 機器の重量[N]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合は設計用標準水平震度は次による。																																																																																																					
② 設計用標準水平震度																																																																																																					
●タンプラスイッチ ○ AOAフロア用配線器具の蓋																																																																																																					
○ハーストヨウ用OAカッタ																																																																																																					
●人感センサー用ブレート																																																																																																					
○ターミナルユニット付リモコン																																																																																																					
●LED照明器具																																																																																																					
○照度測定																																																																																																					
○照度測定(非常用の照明装置)																																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>各</th><th>設</th><th>●仮設工事</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●電源周波数</td><td>O (0000の部) 特記仕様による。</td></tr> <tr> <td>●支持金物</td><td>●足場その他 ●別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。 ○本工事で設置する。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。</td></tr> <tr> <td>●電線・ケーブル</td><td>O 内部足場 種別 O 脚立、足場板等 O O 外部足場 種別 O A種 O B種 O C種 O D種 O E種 防護シート O 設置する。 O 設置しない。</td></tr> <tr> <td>●ケーブルの種類</td><td>50HZ</td></tr> <tr> <td>●電線本数、管路など</td><td>イ) 屋外機器及び屋内の配管に使用する支持金物(ボルト類)はステンレス製(SUS304)とし、屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ(樹脂製)を取り付ける。 ロ) 振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。</td></tr> <tr> <td>●インサート</td><td>新設する電線類は、図面に「EM-O」の記載がなくとも、EM電線、EMケーブルを使用する。</td></tr> <tr> <td>●フラッシュプレート</td><td>E M - 高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V 架橋ポリエチレンケーブル(3層押出型)」によるものとし、次による。</td></tr> <tr> <td>●フロアプレート</td><td>呼称(国示記号) 種類 6KV EM-CE(EE) 6600V 葉橋ポリエチレン絶縁耐燃性 6KV EM-CET(EE) 6600V トリプレックス形架橋ポリエチレン絶縁耐燃性</td></tr> <tr> <td>●接地極の種別及び位置表示</td><td>屋外、及び地下ピットで使用する厚鋼電線管のうち特記のないものは「内外面溶融亜鉛めっき(めっき付着量300g/m²以上)」仕上げとする。 合成樹脂製可とう管はPF管(一重管)とし、温度による分類はタイプ-25とする。</td></tr> <tr> <td>●塗装</td><td>分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受けて、変更してもさしつかえない。 床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。</td></tr> <tr> <td>●機器取付高さ</td><td>● 全金属(ステンレス、新金属も含む) ○ 樹脂製</td></tr> <tr> <td>●タンプラスイッチ</td><td>ネーム付きとする。</td></tr> <tr> <td>●OAフロア用配線器具の蓋</td><td>○ アルミ製 ○ 銅合金製</td></tr> <tr> <td>●ハーストヨウ用OAカッタ</td><td>特記の無いハーストヨウ用OAカッタは次の仕様とする。 2P15A(接地極付抜形)×4コ×3m(マガ付)通電表示灯付</td></tr> <tr> <td>●人感センサー用ブレート</td><td>照明の人の感センサー制御を行なう部屋には、下記の注意ブレートを設置する。 材質: アクリル 文字: 刷印文字 寸法: W=180mm程度, H=50mm程度 参考文例: 「人の動きを検知して点灯します。一定時間動きがなければ消灯しますので、その際は再度身体を動かしてください。」 注意ブレート設置室: ● 便所(計3枚) ○ (計一枚)</td></tr> <tr> <td>●LED照明器具</td><td>天井内に取付けるターミナルユニット付リモコンリレーの設置場所は、原則として点滅系統内の第1照明器具近傍とする。 ただし、これによりたい場合は監督職員と協議する。</td></tr> <tr> <td>●照度測定</td><td>L ED照明器具の制御装置記号が特記されていないものは「一般形(LN)」とする。</td></tr> <tr> <td>●照度測定(非常用の照明装置)</td><td>一般照明の照度測定箇所は、下記によるものとし監督職員に報告する。 ○明るさセンサが設置される部屋は、センサ1個につき1箇所以上 ○明るさセンサが設置されない部屋は、工事全体で計1箇所以上</td></tr> </tbody> </table>		各	設	●仮設工事	●電源周波数	O (0000の部) 特記仕様による。	●支持金物	●足場その他 ●別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。 ○本工事で設置する。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。	●電線・ケーブル	O 内部足場 種別 O 脚立、足場板等 O O 外部足場 種別 O A種 O B種 O C種 O D種 O E種 防護シート O 設置する。 O 設置しない。	●ケーブルの種類	50HZ	●電線本数、管路など	イ) 屋外機器及び屋内の配管に使用する支持金物(ボルト類)はステンレス製(SUS304)とし、屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ(樹脂製)を取り付ける。 ロ) 振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。	●インサート	新設する電線類は、図面に「EM-O」の記載がなくとも、EM電線、EMケーブルを使用する。	●フラッシュプレート	E M - 高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V 架橋ポリエチレンケーブル(3層押出型)」によるものとし、次による。	●フロアプレート	呼称(国示記号) 種類 6KV EM-CE(EE) 6600V 葉橋ポリエチレン絶縁耐燃性 6KV EM-CET(EE) 6600V トリプレックス形架橋ポリエチレン絶縁耐燃性	●接地極の種別及び位置表示	屋外、及び地下ピットで使用する厚鋼電線管のうち特記のないものは「内外面溶融亜鉛めっき(めっき付着量300g/m ² 以上)」仕上げとする。 合成樹脂製可とう管はPF管(一重管)とし、温度による分類はタイプ-25とする。	●塗装	分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受けて、変更してもさしつかえない。 床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。	●機器取付高さ	● 全金属(ステンレス、新金属も含む) ○ 樹脂製	●タンプラスイッチ	ネーム付きとする。	●OAフロア用配線器具の蓋	○ アルミ製 ○ 銅合金製	●ハーストヨウ用OAカッタ	特記の無いハーストヨウ用OAカッタは次の仕様とする。 2P15A(接地極付抜形)×4コ×3m(マガ付)通電表示灯付	●人感センサー用ブレート	照明の人の感センサー制御を行なう部屋には、下記の注意ブレートを設置する。 材質: アクリル 文字: 刷印文字 寸法: W=180mm程度, H=50mm程度 参考文例: 「人の動きを検知して点灯します。一定時間動きがなければ消灯しますので、その際は再度身体を動かしてください。」 注意ブレート設置室: ● 便所(計3枚) ○ (計一枚)	●LED照明器具	天井内に取付けるターミナルユニット付リモコンリレーの設置場所は、原則として点滅系統内の第1照明器具近傍とする。 ただし、これによりたい場合は監督職員と協議する。	●照度測定	L ED照明器具の制御装置記号が特記されていないものは「一般形(LN)」とする。	●照度測定(非常用の照明装置)	一般照明の照度測定箇所は、下記によるものとし監督職員に報告する。 ○明るさセンサが設置される部屋は、センサ1個につき1箇所以上 ○明るさセンサが設置されない部屋は、工事全体で計1箇所以上																																																													
各	設	●仮設工事																																																																																																			
●電源周波数	O (0000の部) 特記仕様による。																																																																																																				
●支持金物	●足場その他 ●別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。 ○本工事で設置する。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。																																																																																																				
●電線・ケーブル	O 内部足場 種別 O 脚立、足場板等 O O 外部足場 種別 O A種 O B種 O C種 O D種 O E種 防護シート O 設置する。 O 設置しない。																																																																																																				
●ケーブルの種類	50HZ																																																																																																				
●電線本数、管路など	イ) 屋外機器及び屋内の配管に使用する支持金物(ボルト類)はステンレス製(SUS304)とし、屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ(樹脂製)を取り付ける。 ロ) 振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。																																																																																																				
●インサート	新設する電線類は、図面に「EM-O」の記載がなくとも、EM電線、EMケーブルを使用する。																																																																																																				
●フラッシュプレート	E M - 高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V 架橋ポリエチレンケーブル(3層押出型)」によるものとし、次による。																																																																																																				
●フロアプレート	呼称(国示記号) 種類 6KV EM-CE(EE) 6600V 葉橋ポリエチレン絶縁耐燃性 6KV EM-CET(EE) 6600V トリプレックス形架橋ポリエチレン絶縁耐燃性																																																																																																				
●接地極の種別及び位置表示	屋外、及び地下ピットで使用する厚鋼電線管のうち特記のないものは「内外面溶融亜鉛めっき(めっき付着量300g/m ² 以上)」仕上げとする。 合成樹脂製可とう管はPF管(一重管)とし、温度による分類はタイプ-25とする。																																																																																																				
●塗装	分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受けて、変更してもさしつかえない。 床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。																																																																																																				
●機器取付高さ	● 全金属(ステンレス、新金属も含む) ○ 樹脂製																																																																																																				
●タンプラスイッチ	ネーム付きとする。																																																																																																				
●OAフロア用配線器具の蓋	○ アルミ製 ○ 銅合金製																																																																																																				
●ハーストヨウ用OAカッタ	特記の無いハーストヨウ用OAカッタは次の仕様とする。 2P15A(接地極付抜形)×4コ×3m(マガ付)通電表示灯付																																																																																																				
●人感センサー用ブレート	照明の人の感センサー制御を行なう部屋には、下記の注意ブレートを設置する。 材質: アクリル 文字: 刷印文字 寸法: W=180mm程度, H=50mm程度 参考文例: 「人の動きを検知して点灯します。一定時間動きがなければ消灯しますので、その際は再度身体を動かしてください。」 注意ブレート設置室: ● 便所(計3枚) ○ (計一枚)																																																																																																				
●LED照明器具	天井内に取付けるターミナルユニット付リモコンリレーの設置場所は、原則として点滅系統内の第1照明器具近傍とする。 ただし、これによりたい場合は監督職員と協議する。																																																																																																				
●照度測定	L ED照明器具の制御装置記号が特記されていないものは「一般形(LN)」とする。																																																																																																				
●照度測定(非常用の照明装置)	一般照明の照度測定箇所は、下記によるものとし監督職員に報告する。 ○明るさセンサが設置される部屋は、センサ1個につき1箇所以上 ○明るさセンサが設置されない部屋は、工事全体で計1箇所以上																																																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>各</th><th>設</th><th>●分電盤</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●電線周波数</td><td>● 分電盤の分歧回路に使用する配線用遮断器及び漏電遮断器は、JIS協約形の1Pサイズ(100V2P1E, 200V2P2E)とする。</td></tr> <tr> <td>●支持金物</td><td>○ 埋込分電盤からの上り下り配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合(PF22)を1本、5個以上の場合(PF22)を2本、天井まで立上げる。</td></tr> <tr> <td>●電線・ケーブル</td><td>配管ボンドとなる負荷には接地端子を設けなくともよい。</td></tr> <tr> <td>●ケーブルの種類</td><td></td></tr> <tr> <td>●電線本数、管路など</td><td></td></tr> <tr> <td>●インサート</td><td></td></tr> <tr> <td>●フラッシュプレート</td><td></td></tr> <tr> <td>●フロアプレート</td><td></td></tr> <tr> <td>●接地極の種別及び位置表示</td><td></td></tr> <tr> <td>●塗装</td><td></td></tr> <tr> <td>●機器取付高さ</td><td></td></tr> <tr> <td>●タンプラスイッチ</td><td></td></tr> <tr> <td>●OAフロア用配線器具の蓋</td><td></td></tr> <tr> <td>●ハーストヨウ用OAカッタ</td><td></td></tr> <tr> <td>●人感センサー用ブレート</td><td></td></tr> <tr> <td>●LED照明器具</td><td></td></tr> <tr> <td>●照度測定</td><td></td></tr> <tr> <td>●照度測定(非常用の照明装置)</td><td></td></tr> </tbody> </table>		各	設	●分電盤	●電線周波数	● 分電盤の分歧回路に使用する配線用遮断器及び漏電遮断器は、JIS協約形の1Pサイズ(100V2P1E, 200V2P2E)とする。	●支持金物	○ 埋込分電盤からの上り下り配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合(PF22)を1本、5個以上の場合(PF22)を2本、天井まで立上げる。	●電線・ケーブル	配管ボンドとなる負荷には接地端子を設けなくともよい。	●ケーブルの種類		●電線本数、管路など		●インサート		●フラッシュプレート		●フロアプレート		●接地極の種別及び位置表示		●塗装		●機器取付高さ		●タンプラスイッチ		●OAフロア用配線器具の蓋		●ハーストヨウ用OAカッタ		●人感センサー用ブレート		●LED照明器具		●照度測定		●照度測定(非常用の照明装置)																																																														
各	設	●分電盤																																																																																																			
●電線周波数	● 分電盤の分歧回路に使用する配線用遮断器及び漏電遮断器は、JIS協約形の1Pサイズ(100V2P1E, 200V2P2E)とする。																																																																																																				
●支持金物	○ 埋込分電盤からの上り下り配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合(PF22)を1本、5個以上の場合(PF22)を2本、天井まで立上げる。																																																																																																				
●電線・ケーブル	配管ボンドとなる負荷には接地端子を設けなくともよい。																																																																																																				
●ケーブルの種類																																																																																																					
●電線本数、管路など																																																																																																					
●インサート																																																																																																					
●フラッシュプレート																																																																																																					
●フロアプレート																																																																																																					
●接地極の種別及び位置表示																																																																																																					
●塗装																																																																																																					
●機器取付高さ																																																																																																					
●タンプラスイッチ																																																																																																					
●OAフロア用配線器具の蓋																																																																																																					
●ハーストヨウ用OAカッタ																																																																																																					
●人感センサー用ブレート																																																																																																					
●LED照明器具																																																																																																					
●照度測定																																																																																																					
●照度測定(非常用の照明装置)																																																																																																					

表1 「接地極一覧表」

接地極の種別は下記と標準としEBの長さは1,500mmとする。ただし、D=10は1,000mm、W=30は1,200mmとする。又、装柱機器及び屋外灯用接地極の埋設は不要とする。

接地極の種別	記号	接地抵抗値	接地極の規格、数量
雷保護用接地	E LA	Ω以下	EP×2
雷保護用接地	E LA	Ω以下	EB (D=1.4又はW=4.0) ×3連-2組
共同接地	E A E D E L H	1.0Ω以下	EB (D=1.4又はW=4.0) ×3連-2組
共同接地	E A E C E D	1.0Ω以下	EB (D=1.4又はW=4.0) ×3連-2組
A種接地	E A	1.0Ω以下	EB (D=1.4又はW=4.0) ×3連-2組
B種接地	E B	Ω以下	EB (D=1.4又はW=4.0) ×2
C種接地	E C	1.0Ω以下	EB (D=1.4又はW=4.0) ×3連-2組
D種接地	E D	1.0Ω以下	EB (D=1.4又はW=4.0) ×1
漏電遮断器回路	E E L	5.0Ω以下	EB (D=1.4又はW=4.0) ×3連-2組
構内交換設備	E I	1.0Ω以下	EB (D=1.4又はW=4.0) ×3連-2組
本配線盤の接続端子	E A t	1.0Ω以下	EB (D=1.4又はW=4.0) ×1
電話引込口の保安器	E I L	1.0Ω以下	EB (D=1.4又はW=4.0) ×1
アンテナ保安器	E L t	1.0Ω以下	EB (D=1.4又はW=4.0) ×1
拡声増幅器	E D t	1.0Ω以下	EB (D=1.4又はW=4.0) ×1
防犯装置用	E S	Ω以下	EB (D=1.4又はW=4.0) ×3連-1組
測定用補助接地	E O	—	EB (D=1.0又はW=3.0) ×1
滋電器用	E L L	1.0Ω以下	EB (D=1.4又はW=4.0) ×3連-2組
滋電器用(高音用)	E L H	1.0Ω以下	EB (D=1.4又はW=4.0) ×3連-2組
滋電器用(モード用)	E M D	1.0Ω以下	EB (D=1.4又はW=4.0) ×1

表2 「機器取付高さ」

機器	測点	取付高(mm)
集合保安器箱	地上～窓中心	1,800～2,000
壁付電話機	床上～中心	1,800～2,200
分電盤	床上～中心	1,500
スイッチ(一般)	床上～中心	1,300
スイッチ(自動ドア)	床上～中心	1,300
スイッチ(和室)	床上～中心	1,200
コンセント(一般)	床上～中心	1,200
コンセント(和室)	床上～中心	1,200
コンセント(台下)	台下～中心	150～200
コンセント(厨房)	床上～中心	800～1,000
コンセント(車庫)	床上～中心	1,300
コンセント(機械室)	床上～中心	300
コンセント(屋外)	地上～中心	1,000～1,300
フロアト(一般)	床上～中心	2,100～2,300
フロアト(露場)	床上～中心	2,000～2,500
フロアト(鏡上)	鏡上～鏡中心	150
壁掛け時計	床上～中心	1,500
壁付時計	床上～中心	天井高×0.9
壁付時計(一) 壁付時計(二)	床上～中心	天井高×0.9
壁付時計(三)	床上～中心	1,300
壁付時計(四)	床上～中心	500～1,000
壁付時計(五)	床上～中心	1,000～1,300
壁付時計(六)	床上～中心	1,300～1,600
壁付時計(七)	床上～中心	1,600～2,0

工事区分表 (他工事との取合い等) 区分は○印を適用する A 建築工事 E 電気設備工事 M 機械設備工事 E V エレベーター設備工事 ※複数箇所に○印があるものは、各工事を適用する

区分は○印を適用す

A 建築工事 E 電気設備工事 M 機械設備工事 E.V エレベーター設備工事

※複数箇所に○印があるものは、各工事を適用する

この工事区分表は、建築工事（A）、電気設備工事（E）、機械設備工事（M）、エレベーター工事（EV）といった施工上密接に関連する各工事において、材料や作業がどの工事に含まれているかを明確にするために共通事項として添付しているものである。よって、本工事の設計図書に記載されていない、工事範囲外の項目も含んでおり、本工事の具体的な工事内容を示すものではないことに留意すること。

0000 (00) 電氣設備工事

工事区分表

青森県 令和 年 月

備考	_____



青森県A
一級建築士事務所
株式会社 工藤金正建築設計 1級建築士
弘前市中央通り2丁目2-2 TEL 0172(87)1550 FAX

A1第495号
上第153872号
卷一

承 認	担
Kudou	Sugi

当	製 図	
mi	Ose	

年月日	工事
R 7. 3	図面

事名称	令和二年三月三十日
面名称	

7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事

工事区分表

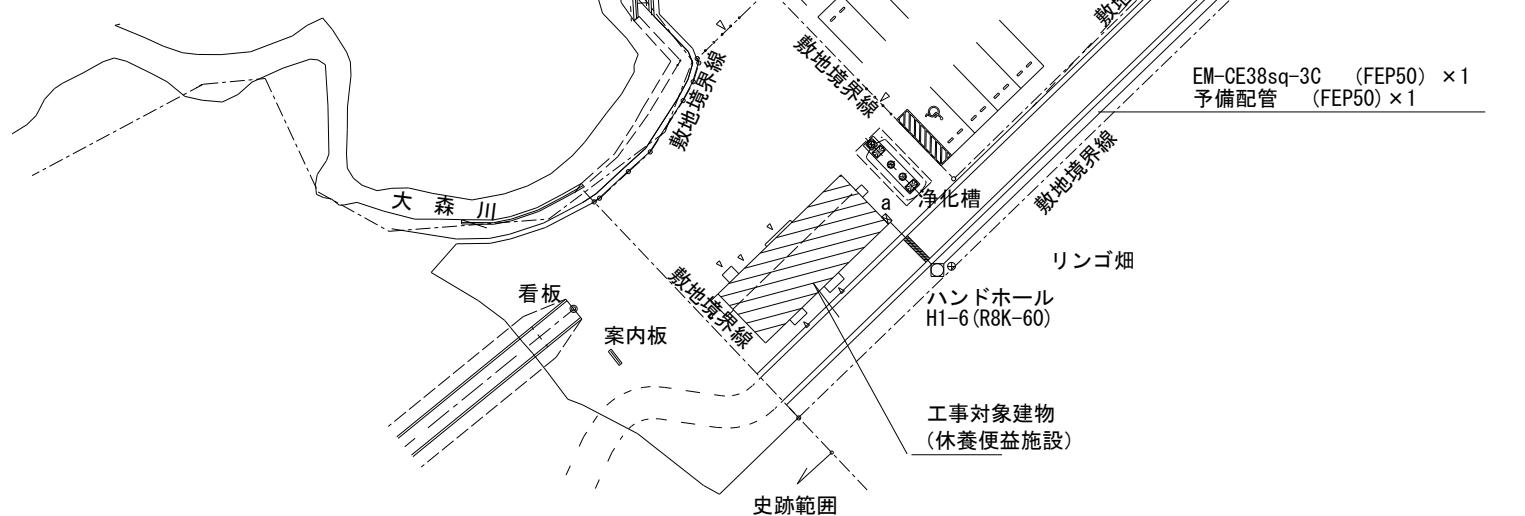
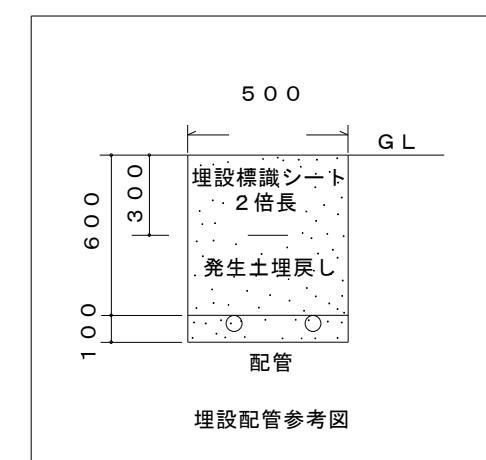
縮 尺 設計番号 —
— 図面番号 E — 0 2



付近見取図

凡例	
W H M	引込閉鎖器盤（屋外用・鋼板製）
□	ハンドホール H1-6 (R8K-60)
☒ a	フルボックスSS形防水 (SUS) 250×250×250 GL+2,700に取付
配線は下記による	
EM-CE38sq-3C (FEP50) 予備配管 (FEP50) GL-600 (埋設シート共) 引込柱及びフルボックスへの立上りは G54・SUSを使用する	

注記 配管経路の斜線部はアスファルト舗装でなので、アスファルトの撤去及び修復のみ建築工事で行い、その他は土なので電気工事で掘削・埋戻しを行う



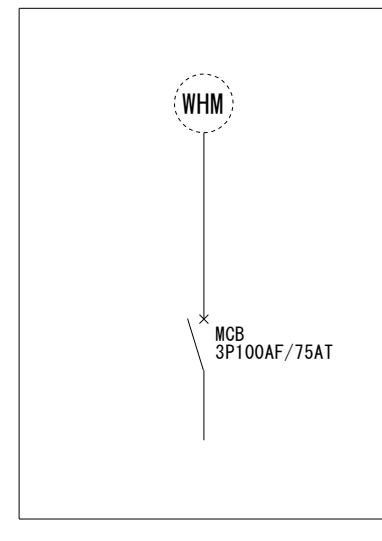
配置図 S=1:500

備考



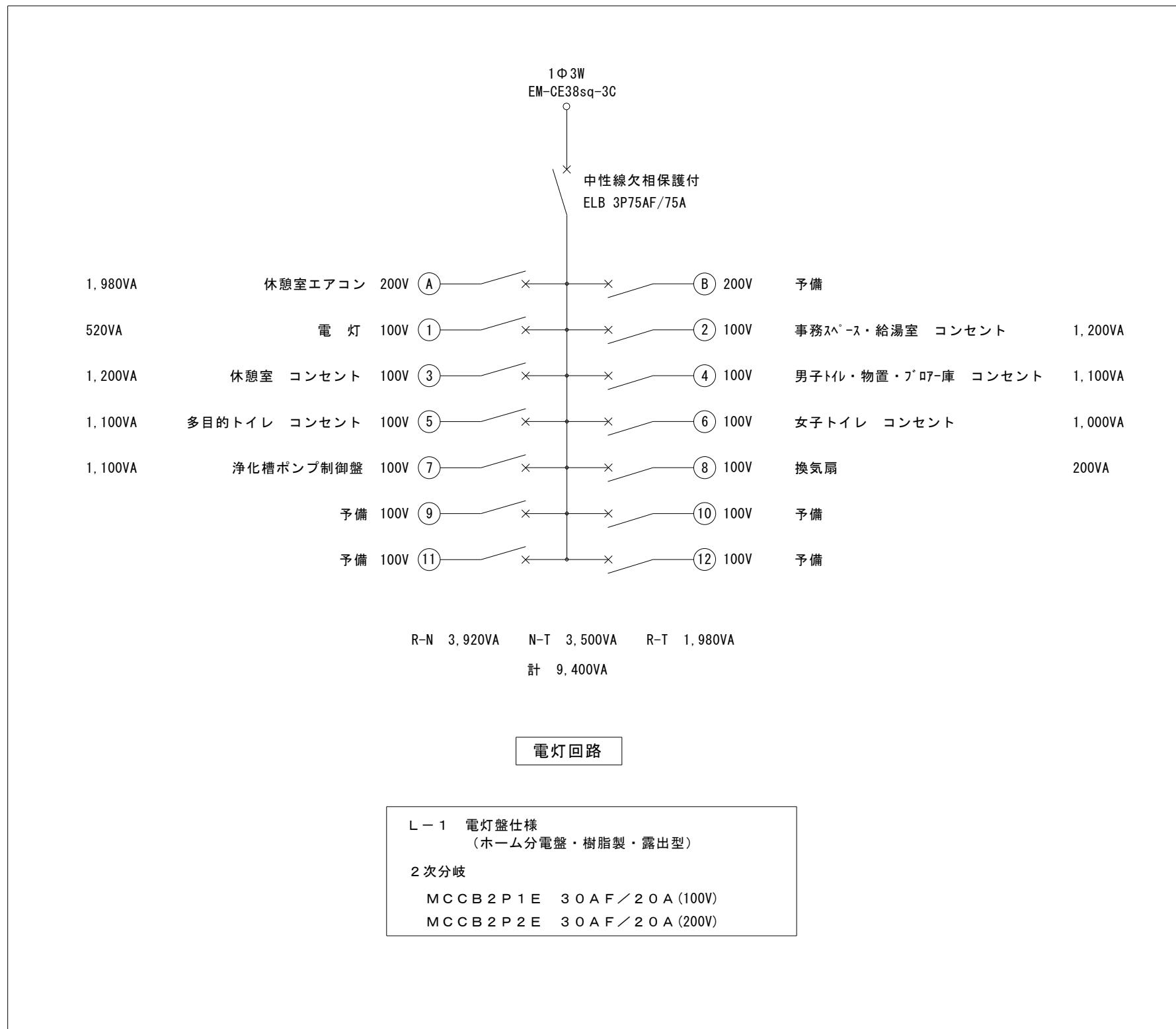
一級建築士事務所 青森県A1第495号
株式会社 工藤金正建築設計 1級建築士第153872号
弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559 工藤金正

承認	担当	製図	年月日	工事名称	縮尺	設計番号
Kudou	Sugimi	Ose	R 7.3	令和7年度史跡大森勝山遺跡休憩便益施設整備工事	1:500	
				図面名称	付近見取図・配置図・屋外配線図	図面番号 E — 03

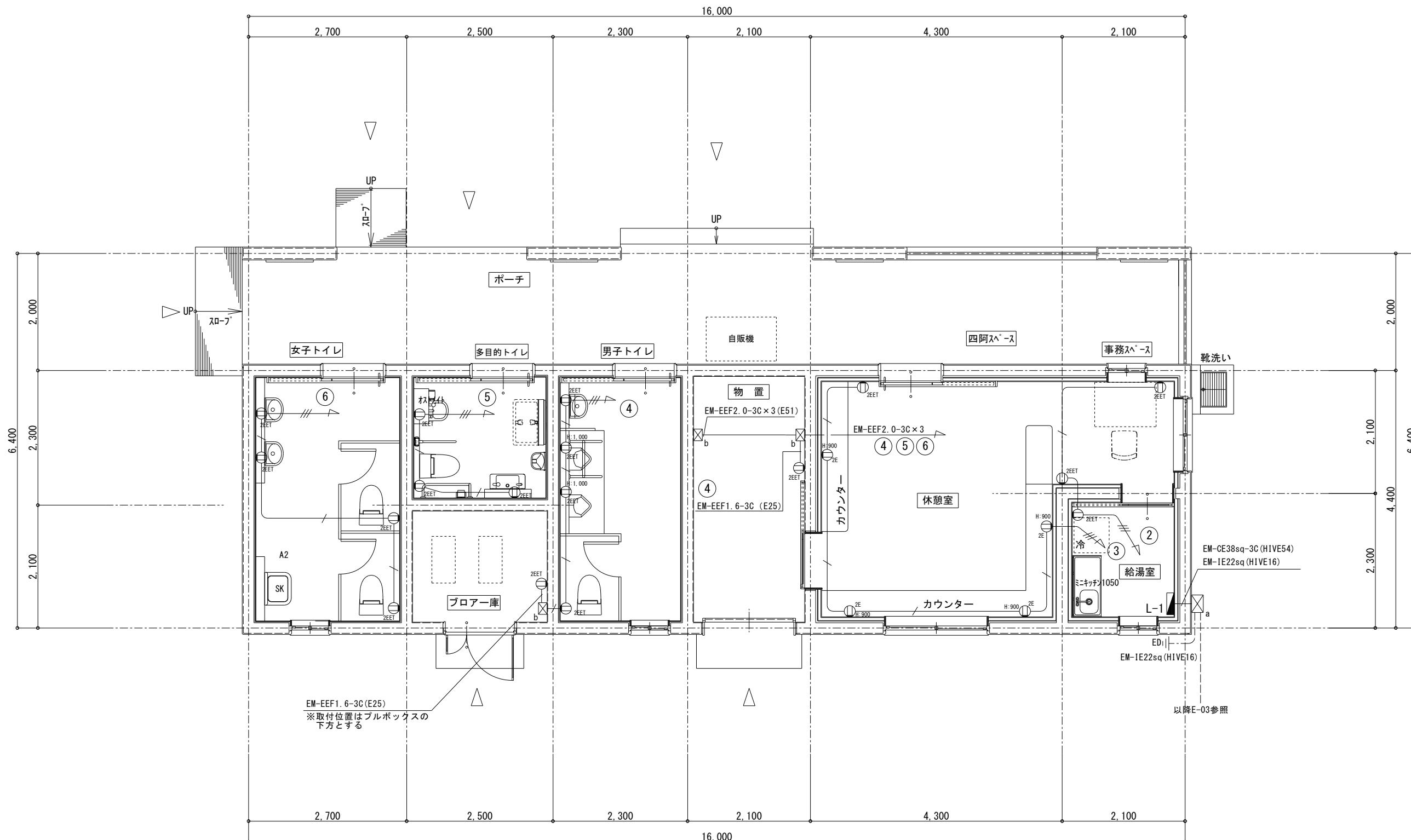


引込開閉器盤

屋外用・鋼板製



備考				



凡例

平面詳細図 S=1:50

※注記 物置とプロアーカーは露出配管とする
コンセントは露出金属ボックス取付とする

	L-1 電灯盤	特記なき配線は下記による
	コンセント 2P15AE × 2	/ EM-EEF1.6-3C
	コンセント 2P15AE × 2+ET	/// EM-EEF2.0-3C
	ブルボックスSS形防水 (SUS) 250×250×250	
	ブルボックスSS形 (錆止め塗装) 200×200×150	



照明器具 姿図

A 1	i D シリーズ直付型 40形 Dスタイル W150 LSS9-4-30	B	軒下用ダウンライト 150形 埋込穴φ150 LRS1RP-13	C	ダウンライト 100形 埋込穴φ150 LRS1-08	D	L E D 標示灯 NNF1193OLE1+FK11571J 消費電力 5w		
A 2	i D シリーズ直付型 40形 Dスタイル W150 LSS9-4-37								
A 3	i D シリーズ直付型 40形 Dスタイル W150 LSS9-4-48								
▽/1	天井取付 熱線センサ付自動スイッチ 親器・8Aタイプ・広角検知形	▽/2	天井取付 熱線センサ付自動スイッチ 子器	▽/3	天井取付 熱線センサ付自動スイッチ 子器・換気扇接続端子付	▽/4	天井取付 熱線センサ付自動スイッチ 換気扇連動用		
	パナソニック : WTK24818		パナソニック : WTK2910K		パナソニック : WTK29318		パナソニック : WTK2604		
	検知後連続動作時間約10秒~30分可変形 明るさセンサ付 定格: 8 A AC 100V		定格: 5 mA DC 12V		換気扇100W・検知後換気扇連続動作時間約10秒~30分可変形 定格: 1 A AC 100V		検知後連続動作時間約10秒~30分可変形 明るさセンサ付 定格: AC 100V 照明 1.2 A 換気扇 1 A		
C/N	3窓用トイレ呼出表示器	電源アダプター		N	呼出ボタン (引きひも付)				
	アイホン : CN-3A44/A		アイホン : PS-1225A		アイホン : NBR-7WA				
	電源電圧 DC 12V (電源アダプタから供給) 形状 埋込形 (JIS4個用スイッチボックス) 材質 ステンレス 窓数 3窓 表示方式 断続ブザー音と表示窓点灯		電源電圧 AC 100V 50/60Hz 入力容量 75VA 出力電圧 DC 12V 出力電流 2.5A 形状 据置・壁取付 (専用金具)両用 材質 難燃性樹脂		形状 壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス) 材質 自己消火性樹脂 備考 引きひも式、押ボタン式両用				

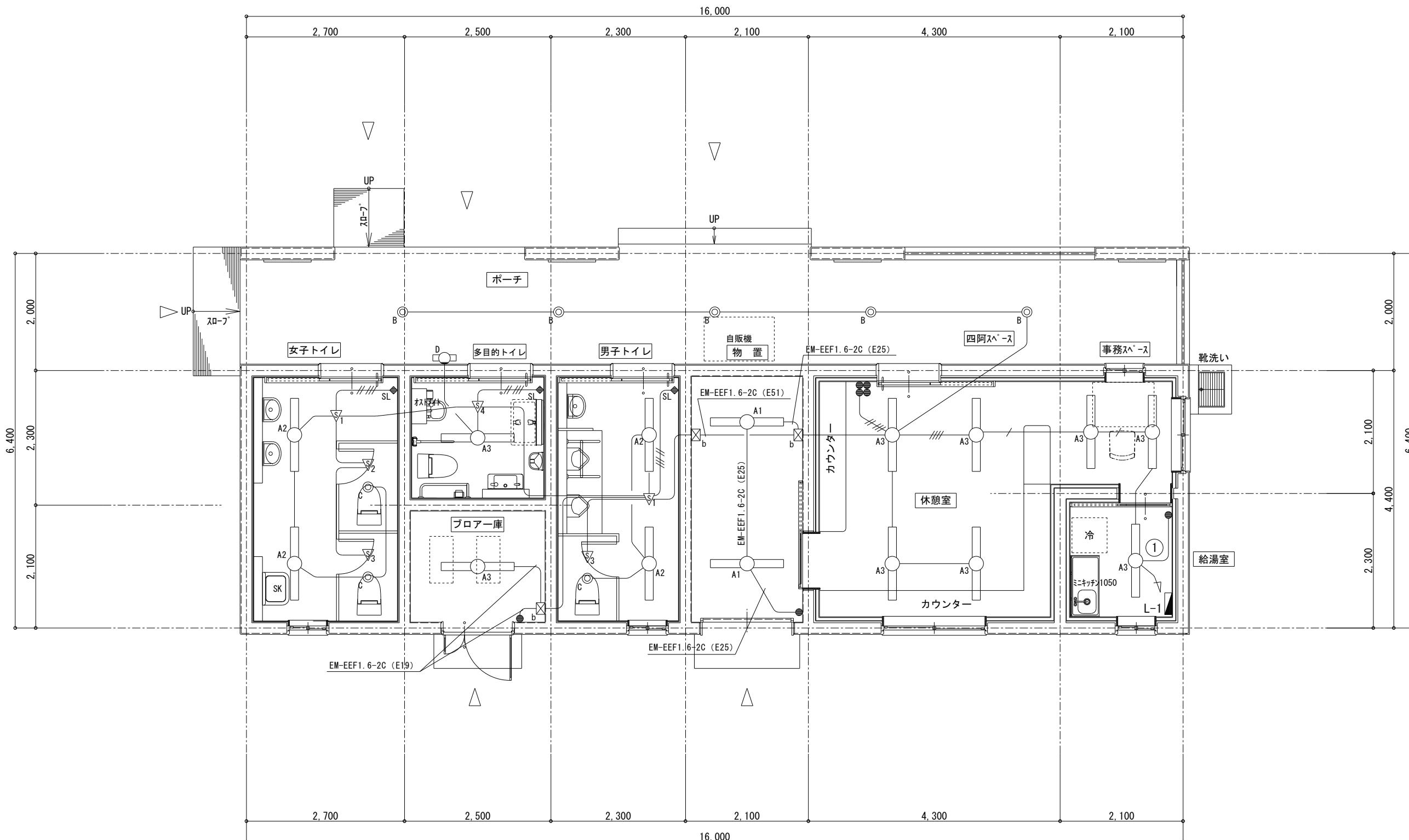
備考



一級建築士事務所
青森県A1第495号
株式会社工藤金正建築設計
1級建築士第153872号
弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正

承認 担当 製図 年月日
Kudou Sugimi Ose R.7.3
工事名称 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事
図面名称 機器姿図

縮尺 設計番号
— —
— 図面番号
E — 06



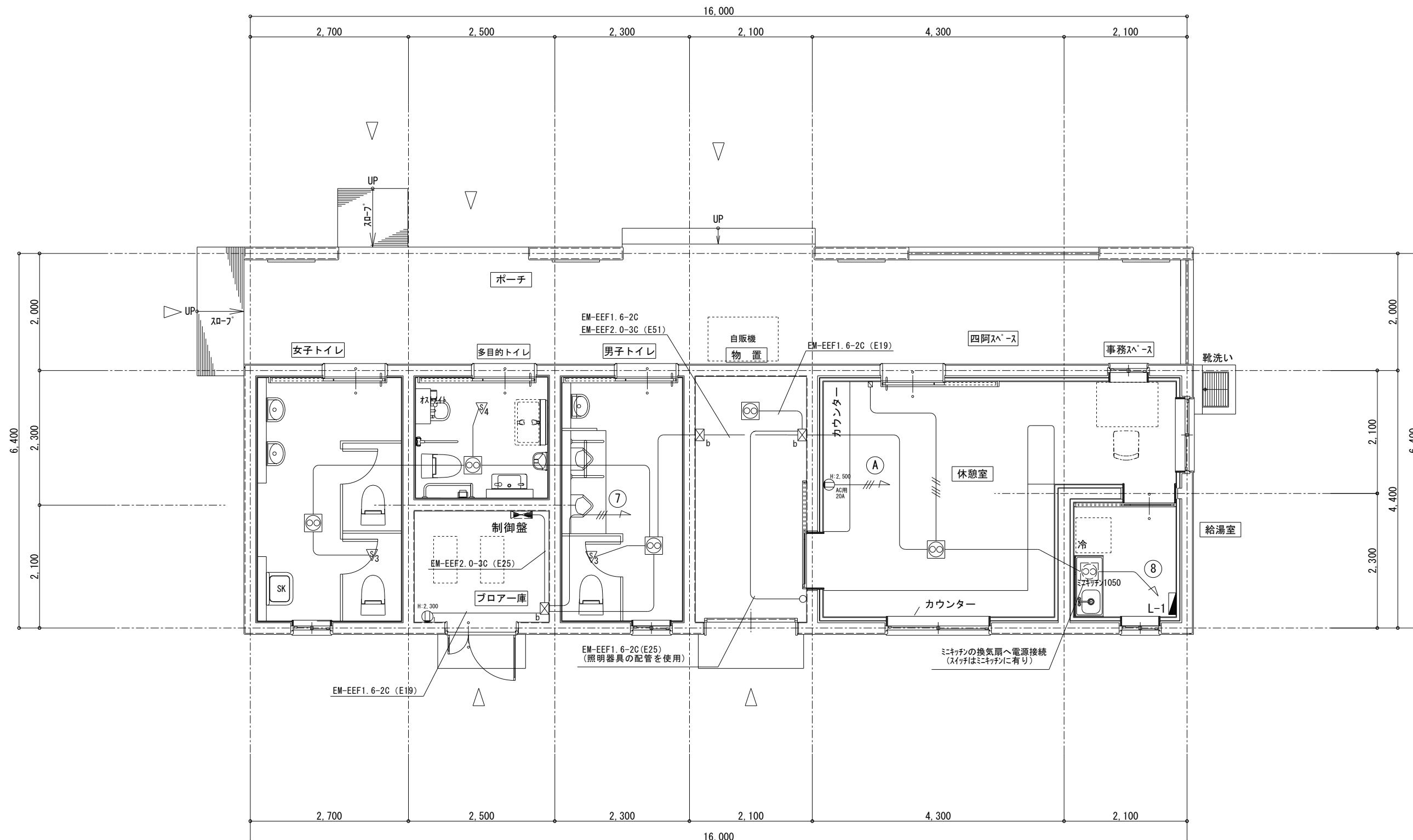
凡例

平面詳細図 S=1:50

※注記 物置とプロアーキーは露出配管とする
照明器具及びスイッチは露出金属ボックス取付とする

	L-1 電灯盤		b プルボックス形(錆止め塗装) 200×200×150
●	ネーム付スイッチ 1P15A	◆ SL	特記なき配線は下記による
◆ SL	熱線センサ付自動スイッチ用操作ユニット 2回路用	▽1	EM-EEF1.6-2C
▽1	熱線センサ付自動スイッチ 親機・8Aタイプ	▽2	/ EM-EEF1.6-3C
▽2	熱線センサ付自動スイッチ 子機	▽3	/// EM-EEF1.6-2C×2
▽3	熱線センサ付自動スイッチ 子機 (換気扇連動用)	▽4	/// EM-EEF1.6-2C+3C
▽4	熱線センサ付自動スイッチ 親機 (換気扇連動用)		



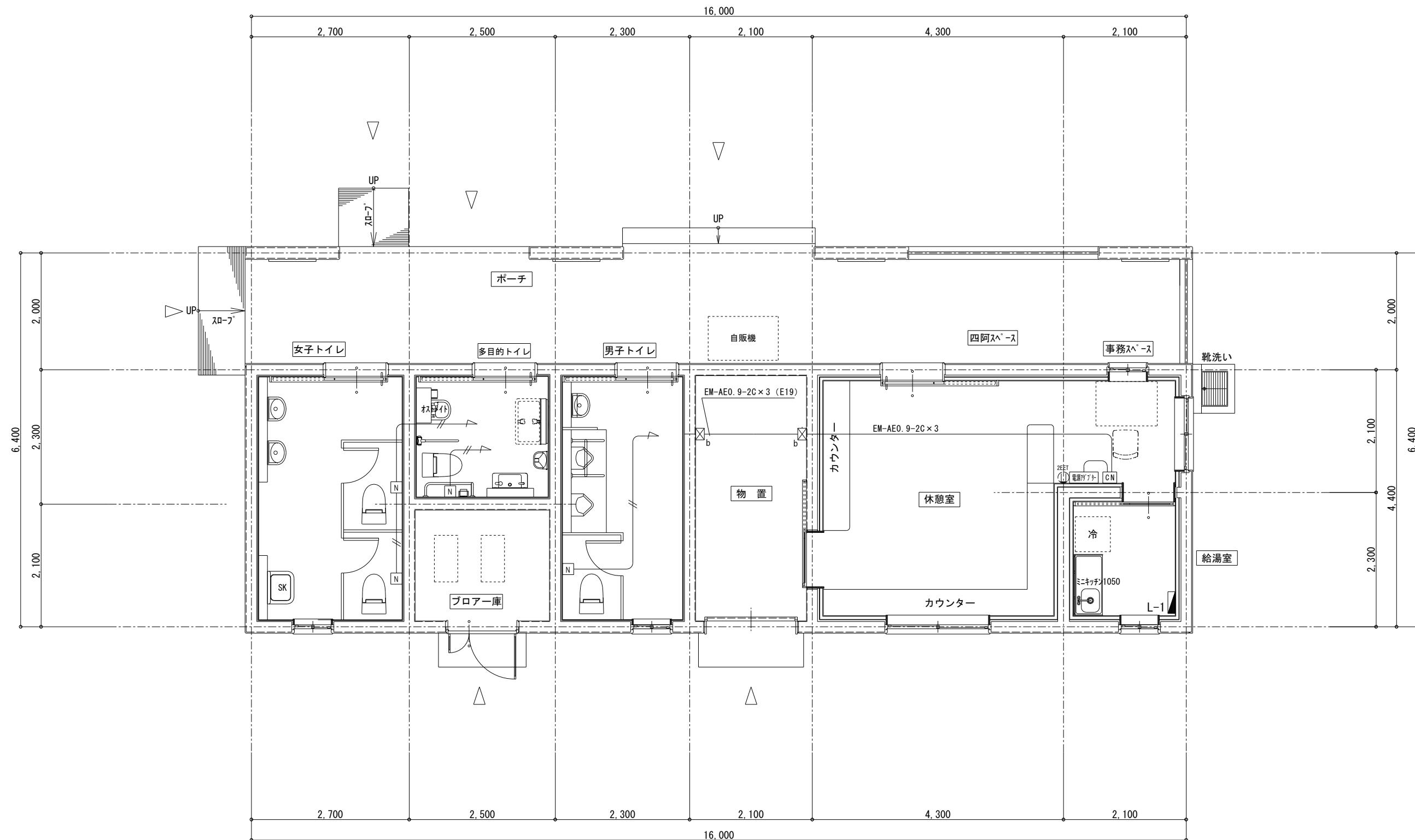


凡例

平面詳細図 S=1:50

※注記 物置とブローアー庫は露出配管とする
コンセント及びスイッチは露出金属ボックス取付とする
物置のスイッチは照明器具のスイッチと同じ露出金属
ボックスを使用する

L-1 電灯盤	b フルベックスSS形(鉄止め塗装) 200×200×150
ケーブル付ハーネットスイッチ 1P4A	制御盤取付は機械設備工事・結線は電気設備工事
コンセント 2P15A×1	換気扇及びスイッチ等
コンセント 接地2P20A×1 AC200V	取付は機械設備工事・結線は電気設備工事
熱線センサ付自動スイッチ 子機(換気扇連動用)	特記なき配線は下記による
熱線センサ付自動スイッチ 親機(換気扇連動用)	<hr/> EM-EEF1.6-2C <hr/> EM-EEF2.0-3C <hr/> EM-EEF1.6-2C+1.6-3C



凡 例

平面詳細図 S=1:50

※注記 物置のみ露出配管とする

-  L-1 電灯盤 特記なき配線は下記による
 3窓用トイレ呼出表示器 ----- // ----- EM-AE0.9-2C
 電源アダプター
 呼出ボタン（引きひも付）
 プラスチックSS形（錆止め塗装） 200×200×150

備考	 株式会社 工藤金正建築設計 <small>1級建築士第153872号</small> 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559 工 藤 金 正	一級建築士事務所 青森県A1第495号				承認	担当	製図	年月日	工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事	縮尺	設計番号
		Kudou	Sugimi	Ose	R 7. 3								
		図面名称	トイレ呼出設備図						1:50	図面番号	E — 09		

工事区分表(他工事との取合い等)										区分は○印を適用する										※複数箇所に○印のあるものは、各工事を適用する									
施 工	項 目	A	E	M	EV	備 考	その他の 関係	項 目	A	E	M	EV	備 考	その他の 関係	項 目	A	E	M	EV	備 考									
A 建築工事		E 電気設備工事		M 機械設備工事		EV エレベーター設備工事		※複数箇所に○印のあるものは、各工事を適用する								A		E		M		EV		備 考					
○配管材料	イ) 一般 既設 ○配管用炭素鋼管(白) ○圧力配管用炭素鋼管(Sch40) 改設 ○配管用炭素鋼管(白) ○圧力配管用炭素鋼管(Sch40) 既設 ○操作性1号消火栓 改設 ○操作性1号消火栓 ○10K イ) 充水タンクの保温 既設 ○有 ○無 ○口 消火配管の保温屋内消火栓 既設 ○有 ○無 ○スプリングラー既設 ○有 ○無 改設 ○要 ○不要 ハ) 屋外露出管については給水管に準ずる。	ロ) 地中埋設部 既設 ○外面被覆銅管(SGP-VS) ○外面被覆銅管(STPG-370VS) 改設 ○外面被覆銅管(SGP-VS) ○外面被覆銅管(STPG-370VS)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
○消 火 設 備	○室内消火栓種別 ○室内消火栓開閉弁 ○保溫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
ガ ス 設 備	○配管材料 ○親メーター ○子メーター ○ガスピボンベ ○バルケンタク ○ガス漏れ警報器 ○埋設深さ	イ) 一般 既設 ○配管用炭素鋼管(白) ガス事業者の規定による 改設 ○配管用炭素鋼管(白) ○ガス事業者の規定による ガス事業者の規定による ○実測式 ○直読式 ○バ尔斯式 ○買取 ○50kg 本 ○イ) 集合装置 ○標準施工72による ○転倒防止等 ○標準施工73 ○(a) ○(b) ○有 ○本工事(図示の箇所に取り付ける) ○分離形 ○一体形 ○別工事 外部出力端子 ○有 ○無 イ) 一般敷地(0.0m以上) ○敷地内車両道路(0.0m以上)	ロ) 地中埋設部 既設 ○配管用炭素鋼管(白) ガス事業者の規定による 改設 ○ガス用ポリエチレン管 ガス事業者の規定による ○買与品 ○貯 ○取 ○50kg 本 ○イ) 集合装置 ○標準施工72による ○転倒防止等 ○標準施工73 ○(a) ○(b) ○有 ○本工事(図示の箇所に取り付ける) ○分離形 ○一体形 ○別工事 外部出力端子 ○有 ○無 イ) 一般敷地(0.0m以上) ○敷地内車両道路(0.0m以上)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
○雨 水 用 設 備	○システム構成その他 ○配管材料 ○量水器 ○弁類	別図による。 イ) 一般管既設 ○改設 ○ ○集水管 既設 ○改設 ○ ○直読式 ○バ尔斯式 ○弁類 ●面に特記なき場合は、JIS又是JV5Kとする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
○厨 房 機 器 設 備	○熱調理器の熱源 ○厨房機器類	既設 ○ガス ○電気 既設 ○ガス ○電気 イ) 仕様・性能等は図示による。機器の寸法は概略寸法とする。 ロ) 厨房機器据付け要領は、標準施工74による。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
●淨 化 槽 設 備	●処理能力 ●流入負荷 ●処理方式 ●主要構造 ●総電気容量 ●まっ氣泡用送風機 ●流入側 ●放流側 ●非気管及び排気かさ ●ポンプ ●制御盤 ●マンホール ●装置耐荷重 ●土工事 ●消毒剤 ●水質表示等の提出 ●フローシート ●消泡装置	対象人員 100人 BOD濃度 260 mg/L BOD除去率 90%以上 汚水量 15.0 L/日 BOD濃度 260 mg/L ○小規模合併処理(告示区分第1の処理方式) ●合併処理(告示区分第2、第3、第6の処理方式) ●ユニット形(FRP製) ○現場施工形 設置スペース 約 3.3 L × 6.8 W ●総電気容量 1相×100V 1.1 kW イ) 屋外に設置する送風機はカバー付とし、コンクリート基礎上に固定する。 ロ) 送風機にはケーブル(ビニルキャブタイヤケーブル)を約 1m付属する。 ハ) 送風機を2基設置する場合タマイマーによる自動交互運転とする。 ●流入側 イ) 流入管底 設計GL-0.95m ロ) 淨化槽本体への流入方式(必要な場合はポンプアップ方式とする) ●放流側 イ) 淨化槽本体よりの放流方式(ポンプアップ方式とする) ●非気管及び排気かさ 構造上不要な場合は設けない。 ●ポンプ 流入用及び放流用ポンプは各々2台設置し、自動交互異常時同時運転とする。 ●制御盤 ○製造者標準品 ○標準仕様書による。 ●マンホール ○製造者標準安全荷重 ○標準図(機材1) ○(MHB) ○(MHA) ○(MHD) 耐荷重はマンホール安全荷重による。 イ) 基礎杭 ○要 (○本工事 ●別途) ○不要 ロ) 基礎コンクリート ○要 (○本工事 ●別途) ○不要 ハ) 根切り ○本工事 ●別途 二) 埋戻し ○本工事 ●別途 ホ) 船体(現場施工形の場合) ○本工事 ○別途 ヘ) 止止め ○要 (○本工事 ●別途) ○不要 ト) 水替え(自然水位GL-m) ○要 (○本工事 ●別途) ○不要 チ) 残土処分 ○要 (○本工事 ●別途) ○不要 30日分を納入する。 一定期間正常状態で使用後、放流水質等を記入した測定表を提出する。 合成樹脂製パネル(厚さ5mm以上、文字は彫り込み)を取り付ける。 ノズル式又は消泡剤式とする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
● 100人 BOD濃度 260 mg/L BOD除去率 90%以上 汚水量 15.0 L/日 BOD濃度 260 mg/L ○小規模合併処理(告示区分第1の処理方式) ●合併処理(告示区分第2、第3、第6の処理方式) ●ユニット形(FRP製) ○現場施工形 設置スペース 約 3.3 L × 6.8 W ●総電気容量 1相×100V 1.1 kW イ) 屋外に設置する送風機はカバー付とし、コンクリート基礎上に固定する。 ロ) 送風機にはケーブル(ビニルキャブタイヤケーブル)を約 1m付属する。 ハ) 送風機を2基設置する場合タマイマーによる自動交互運転とする。 ●流入側 イ) 流入管底 設計GL-0.95m ロ) 淨化槽本体への流入方式(必要な場合はポンプアップ方式とする) ●放流側 イ) 淨化槽本体よりの放流方式(ポンプアップ方式とする) ●非気管及び排気かさ 構造上不要な場合は設けない。 ●ポンプ 流入用及び放流用ポンプは各々2台設置し、自動交互異常時同時に運転とする。 ●制御盤 ○製造者標準品 ○標準仕様書による。 ●マンホール ○製造者標準安全荷重 ○標準図(機材1) ○(MHB) ○(MHA) ○(MHD) 耐荷重はマンホール安全荷重による。 イ) 基礎杭 ○要 (○本工事 ●別途) ○不要 ロ) 基礎コンクリート ○要 (○本工事 ●別途) ○不要 ハ) 根切り ○本工事 ●別途 二) 埋戻し ○本工事 ●別途 ホ) 船体(現場施工形の場合) ○本工事 ○別途 ヘ) 止止め ○要 (○本工事 ●別途) ○不要 ト) 水替え(自然水位GL-m) ○要 (○本工事 ●別途) ○不要 チ) 残土処分 ○要 (○本工事 ●別途) ○不要 30日分を納入する。 一定期間正常状態で使用後、放流水質等を記入した測定表を提出する。 合成樹脂製パネル(厚さ5mm以上、文字は彫り込み)を取り付ける。 ノズル式又は消泡剤式とする。																													
● 100人 BOD濃度 260 mg/L BOD除去率 90%以上 汚水量 15.0 L/日 BOD濃度 260 mg/L ○小規模合併処理(告示区分第1の処理方式) ●合併処理(告示区分第2、第3、第6の処理方式) ●ユニット形(FRP製) ○現場施工形 設置スペース 約 3.3 L × 6.8 W ●総電気容量 1相×100V 1.1 kW イ) 屋外に設置する送風機はカバー付とし、コンクリート基礎上に固定する。 ロ) 送風機にはケーブル(ビニルキャブタイヤケーブル)を約 1m付属する。 ハ) 送風機を2基設置する場合タマイマーによる自動交互運転とする。 ●流入側 イ) 流入管底 設計GL-0.95m ロ) 淨化槽本体への流入方式(必要な場合はポンプアップ方式とする) ●放流側 イ) 淨化槽本体よりの放流方式(ポンプアップ方式とする) ●非気管及び排気かさ 構造上不要な場合は設けない。 ●ポンプ 流入用及び放流用ポンプは各々2台設置し、自動交互異常時同時に運転とする。 ●制御盤 ○製造者標準品 ○標準仕様書による。 ●マンホール ○製造者標準安全荷重 ○標準図(機材1) ○(MHB) ○(MHA) ○(MHD) 耐荷重はマンホール安全荷重による。 イ) 基礎杭 ○要 (○本工事 ●別途) ○不要 ロ) 基礎コンクリート ○要 (○本工事 ●別途) ○不要 ハ) 根切り ○本工事 ●別途 二) 埋戻し ○本工事 ●別途 ホ) 船体(現場施工形の場合) ○本工事 ○別途 ヘ) 止止め ○要 (○本工事 ●別途) ○不要 ト) 水替え(自然水位GL-m) ○要 (○本工事 ●別途) ○不要 チ) 残土処分 ○要 (○本工事 ●別途) ○不要 30日分を納入する。 一定期間正常状態で使用後、放流水質等を記入した測定表を提出する。 合成樹脂製パネル(厚さ5mm以上、文字は彫り込み)を取り付ける。 ノズル式又は消泡剤式とする。																													
● 100人 BOD濃度 260 mg/L BOD除去率 90%以上 汚水量 15.0 L/日 BOD濃度 260 mg/L ○小規模合併処理(告示区分第1の処理方式) ●合併処理(告示区分第2、第3、第6の処理方式) ●ユニット形(FRP製) ○現場施工形 設置スペース 約 3.3 L × 6.8 W ●総電気容量 1相×100V 1.1 kW イ) 屋外に設置する送風機はカバー付とし、コンクリート基礎上に固定する。 ロ) 送風機にはケーブル(ビニルキャブタイヤケーブル)を約 1m付属する。 ハ) 送風機を2基設置する場合タマイマーによる自動交互運転とする。 ●流入側 イ) 流入管底 設計GL-0.95m ロ) 淨化槽本体への流入方式(必要な場合はポンプアップ方式とする) ●放流側 イ) 淨化槽本体よりの放流方式(ポンプアップ方式とする) ●非気管及び排気かさ 構造上不要な場合は設けない。 ●ポンプ 流入用及び放流用ポンプは各々2台設置し、自動交互異常時同時に運転とする。 ●制御盤 ○製造者標準品 ○標準仕様書による。 ●マンホール ○製造者標準安全荷重 ○標準図(機材1) ○(MHB) ○(MHA) ○(MHD) 耐荷重はマンホール安全荷重による。 イ) 基礎杭 ○要 (○本工事 ●別途) ○不要 ロ) 基礎コンクリート ○要 (○本工事 ●別途) ○不要 ハ) 根切り ○本工事 ●別途 二) 埋戻し ○本工事 ●別途 ホ) 船体(現場施工形の場合) ○本工事 ○別途 ヘ) 止止め ○要 (○本工事 ●別途) ○不要 ト) 水替え(自然水位GL-m) ○要 (○本工事 ●別途) ○不要 チ) 残土処分 ○要 (○本工事 ●別途) ○不要 30日分を納入する。 一定期間正常状態で使用後、放流水質等を記入した測定表を提出する。 合成樹脂製パネル(厚さ5mm以上、文字は彫り込み)を取り付ける。 ノズル式又は消泡剤式とする。																													
● 100人 BOD濃度 260 mg/L BOD除去率 90%以上 汚水量 15.0 L/日 BOD濃度 260 mg/L ○小規模合併処理(告示区分第1の処理方式) ●合併処理(告示区分第2、第3、第6の処理方式) ●ユニット形(FRP製) ○現場施工形 設置スペース 約 3.3 L × 6.8 W ●総電気容量 1相×100V 1.1 kW イ) 屋外に設置する送風機はカバー付とし、コンクリート基礎上に固定する。 ロ) 送風機にはケーブル(ビニルキャブタイヤケーブル)を約 1m付属する。 ハ) 送風機を2基設置する場合タマイマーによる自動交互運転とする。 ●流入側 イ) 流入管底 設計GL-0.95m ロ) 淨化槽本体への流入方式(必要な場合はポンプアップ方式とする) ●放流側 イ) 淨化槽本体よりの放流方式(ポンプアップ方式とする) ●非気管及び排気かさ 構造上不要な場合は設けない。 ●ポンプ 流入用及び放流用ポンプは各々2台設置し、自動交互異常時同時に運転とする。 ●制御盤 ○製造者標準品 ○標準仕様書による。 ●マンホール ○製造者標準安全荷重 ○標準図(機材1) ○(MHB) ○(MHA) ○(MHD) 耐荷重はマンホール安全荷重による。 イ) 基礎杭 ○要 (○本工事 ●別途) ○不要 ロ) 基礎コンクリート ○要 (○本工事 ●別途) ○不要 ハ) 根切り ○本工事 ●別途 二) 埋戻し ○本工事 ●別途 ホ) 船体(現場施工形の場合) ○本工事 ○別途 ヘ) 止止め ○要 (○本工事 ●別途) ○不要 ト) 水替え(自然水位GL-m) ○要 (○本工事 ●別途) ○不要 チ) 残土処分 ○要 (○本工事 ●別途) ○不要 30日分を納入する。 一定期間正常状態で使用後、放流水質等を記入した測定表を提出する																													



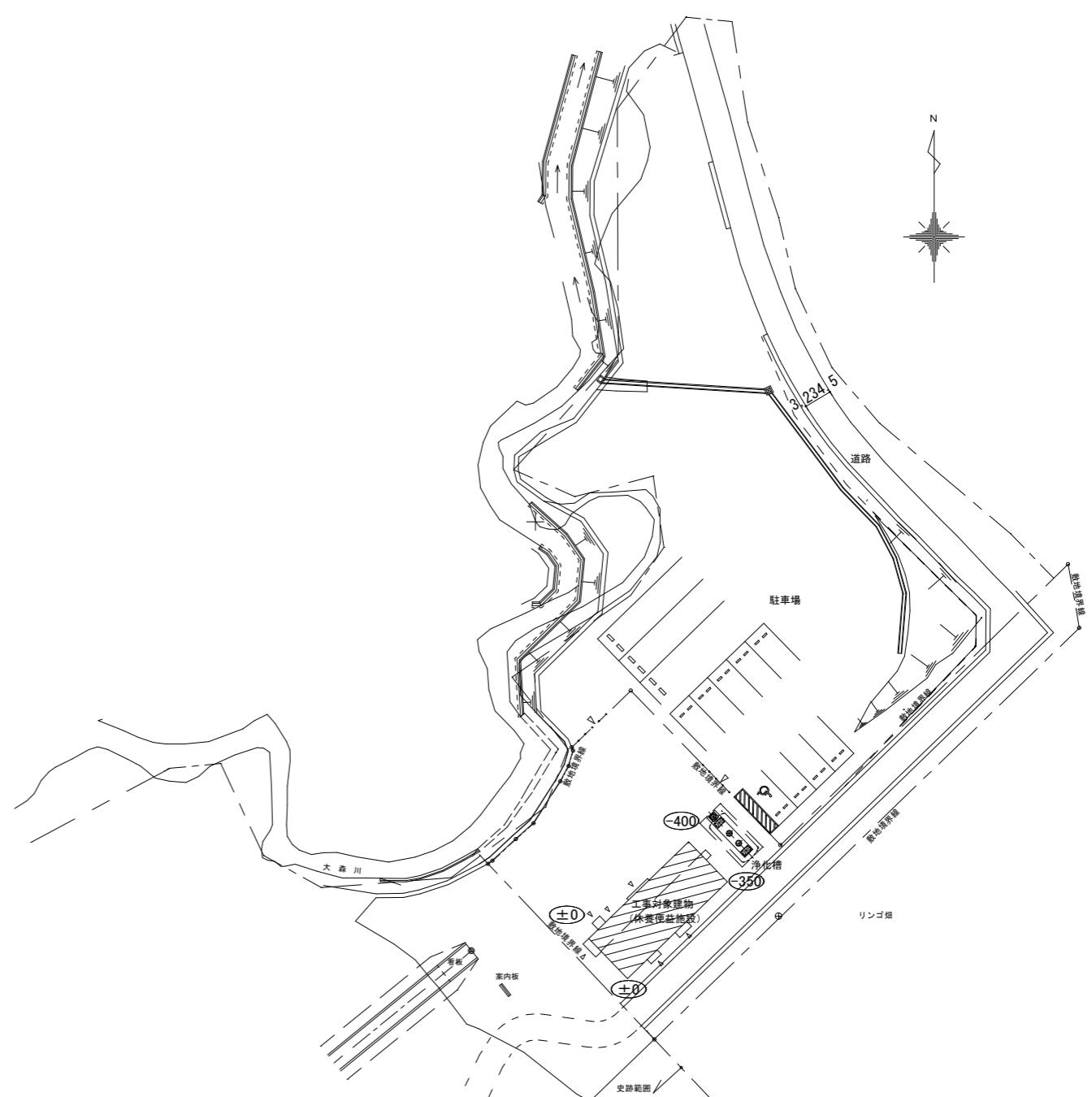
付近見取図

凡 例

記号	名称	仕様
— — — — —	給水管	屋外 PP管(水抜栓まで) 以降埋設 VD管. 隠蔽 VB管
— — — — —	污水. 排水管	屋外 VU管(桟間). 屋内 VP管
— — — — —	通気管	VP管
— A —	工ア - 管	屋外埋設管 HIVP管. 屋内露出管 SGP(白)管
— E —	電気管	PF管及び浄化槽メ-カ-仕様による

特記事項

1. 各官庁の指示及び指導に従う事
 2. 冬季閉鎖に伴う水抜き対策
 3. 量水器BOX内の凍結対策(断熱材の充填)

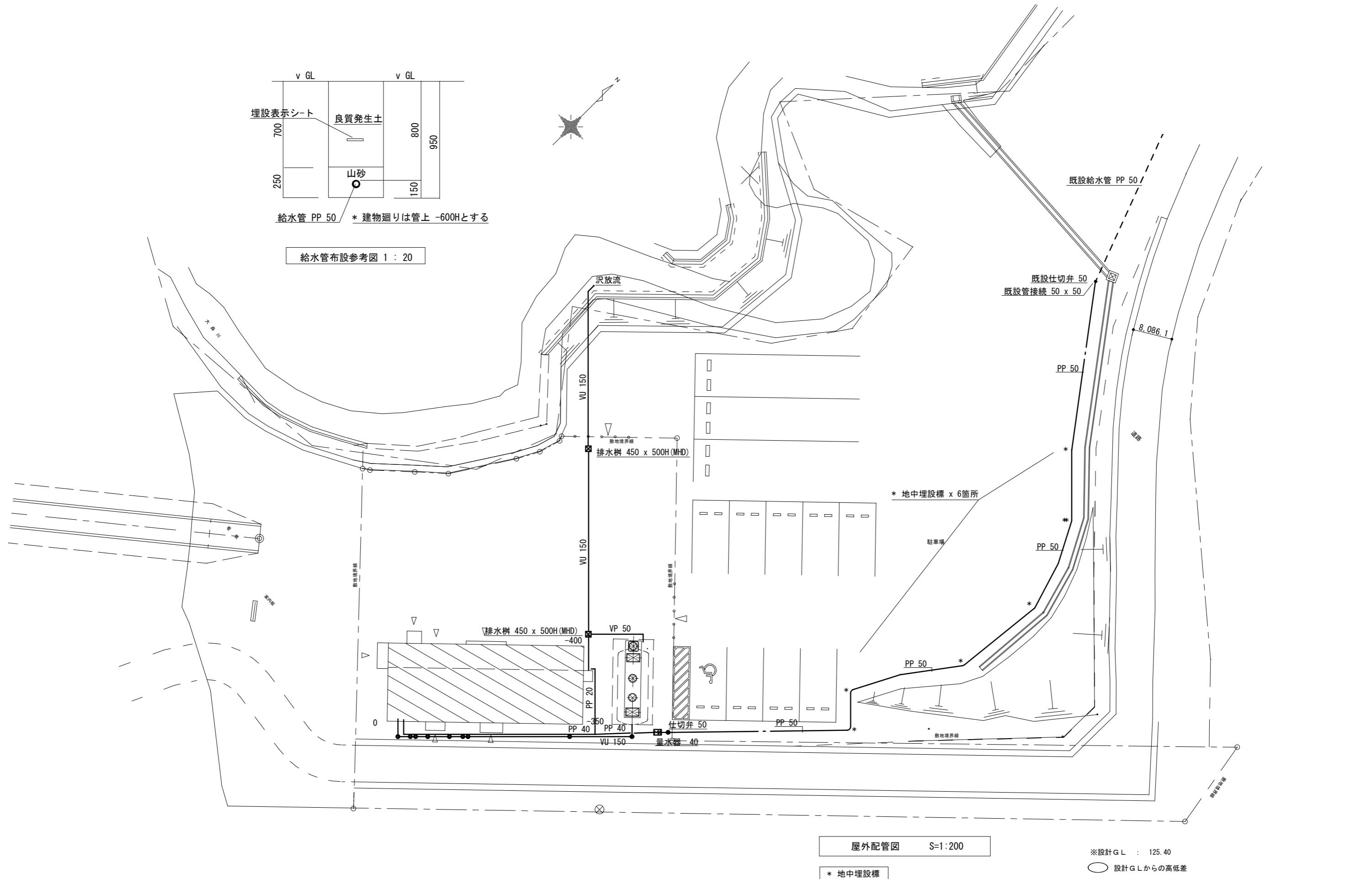


配 置 図 S=1:500

※設計 G.L. : 125.40

○ 設計 G.L. からの高低差

備考	一級建築士事務所 株式会社工藤金正建築設計 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559	青森県A1第495号 1級建築士第153872号	承認 Kudou	担当 Sugimi	製図 kimura	年月日 R.7.3	工事名称 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事	縮尺 1:500	設計番号 M-03
----	--	-----------------------------	-------------	--------------	--------------	--------------	---------------------------------	-------------	--------------



備考



一級建築士事務所
株式会社 工藤金正建築設計
青森県A1第495号
弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559 工藤金正

青森県A1第495号

1級建築士第153872号

工藤金正

承認

担当

製図

年月日

工事名称

令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事

縮尺

設計番号

1:200

M-04

Kudou

Sugimi

Kimura

R.7.3

図面名称

屋外配管図及び給水管布設参考図

衛生器具表

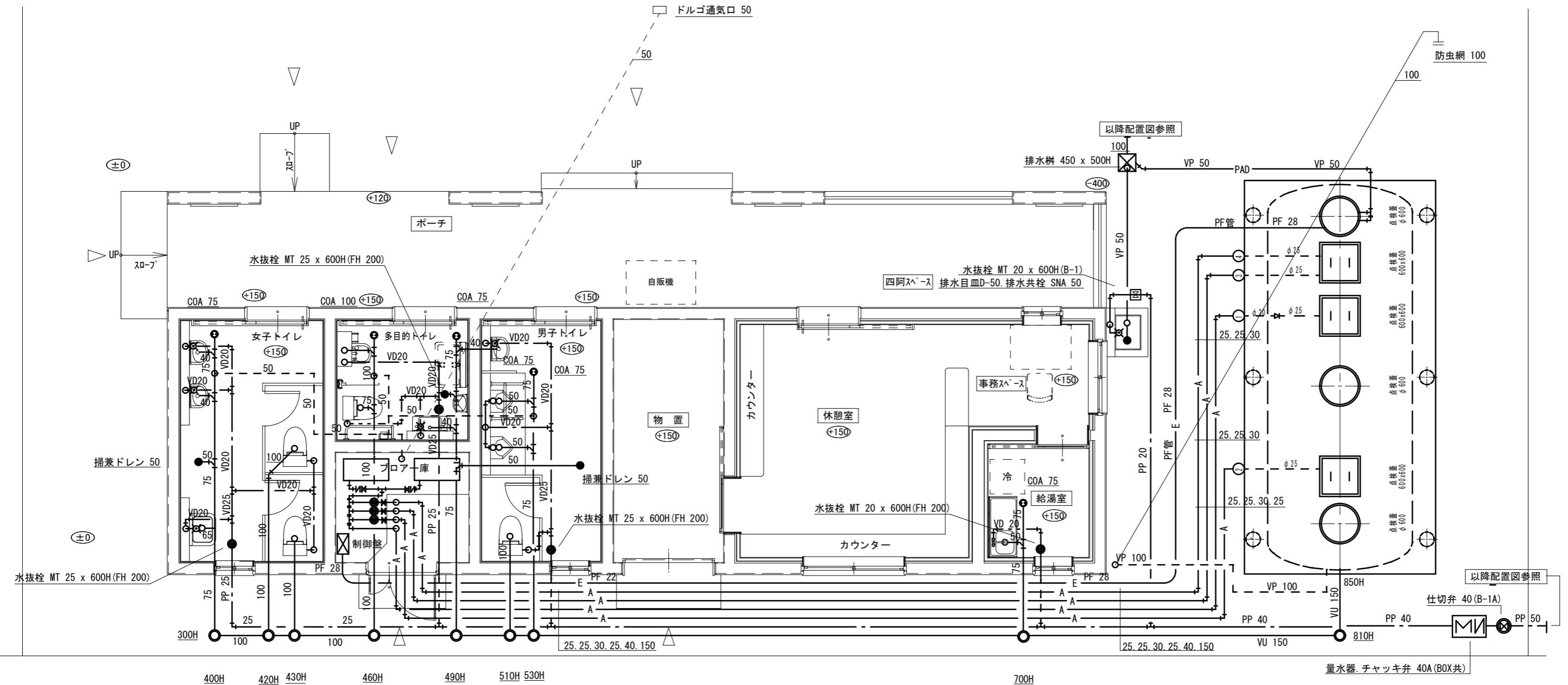
名 称	仕様 (TOTO品番)	仕様 (LIXIL品番)	女子トイレ	多目的 トイレ	男子トイレ	給湯室	屋外	数	備考
洋風大便器 (車いす対応)	CS20AB.SH30BA.TCF5841P.YH181L	BC-220SK.DT-K250N.CW-PC12NECK.KF-67T2L		1				1	1相100Vx410W
	床置.腰掛け.温水洗浄方式(蓋無し).音姫付.ステンレス製2連紙巻器	床置.腰掛け.温水洗浄方式(蓋無し).音姫付.ステンレス製2連紙巻器							
同上手すり	T112CL10.T112HK7R 樹脂製はね上げ式.樹脂製L型.他付属金具共	KF-920AE70D12J.KF-471EH70JU 樹脂製はね上げ式.樹脂製L型.他付属金具共		1				1	
洋風大便器	CS597BCS.SH596BAYR.TCF6553AK.YH181L	BC-P20SUM.DT-PA250UNCHTK.CW-KA32QC.KF-67T2L	2		1			3	1相100Vx410W
	掃除口付.床置.腰掛け.温水洗浄方式.音姫付.ステンレス製2連紙巻器	掃除口付.床置.腰掛け.温水洗浄方式.音姫付.ステンレス製2連紙巻器							
小便器	UFH500.TEA62ADS 低リップ式.壁掛型.自動感知式.他付属部品共	U-406RU.OKU-AT131SD 低リップ式.壁掛型.自動感知式.他付属部品共			2			2	自己発電式
同上手すり	T112CU22	KF-701AEJ			1			1	
手洗器	L210C.TLE28SS1A	L-132AG.AM-300CV1	2		1			3	1相100Vx10W
	小型壁掛形.自動水栓.Sトラップ.床給水.トラップカバー付.他付属金具共	小型壁掛形.自動水栓.Sトラップ.床給水.トラップカバー付.他付属金具共							
手洗器	LSE870APFRMS 小型壁掛形.自動水栓.Sトラップ.床給水.他付属金具共	L-A74TA2B.A-5303W 小型壁掛形.自動水栓.Sトラップ.床給水.他付属金具共		1				1	1相100Vx10W
オストメイト パック	UAS81RPB2NW.LTR141x2.電気温水器付.コンパクトタイプ..側板.他付属金具共	PTOM-B210W.PTOM-ESCR.電気温水器付		1				1	1相100Vx600W
		.コンパクトタイプ..側板.他付属金具共							
掃除流し	SK22A.T23AEQ20	S-202A.LF-7KEZ-19U	1					1	
化粧鏡	YM6090F 600 x 900 X 5mm.他付属金具共	KF-6090A 600 x 900 X 5mm.他付属金具共		1				1	
化粧鏡	YM4560F 450 x 600 X 5mm.他付属金具共	KF-4560A 450 x 600 X 5mm.他付属金具共	2		1			3	
万能ホーム水栓	T200SUN-13C 寒冷地用	LF-7R-13U 寒冷地用						1	1
建築工事一覧表									
ミニキッチン	水栓.天井扇付属品					(1)		(1)	建築工事
ベビーシート				(1)				(1)	建築工事
ベビーチェア				(1)				(1)	建築工事

備考



一級建築士事務所 青森県A1第495号
株式会社工藤金正建築設計 1級建築士第153872号
 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正

承認	担当	製図	年月日	工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休憩便益施設整備工事	縮尺	設計番号
						Kudou	M



衛生設備 平面詳細図 S=1:50

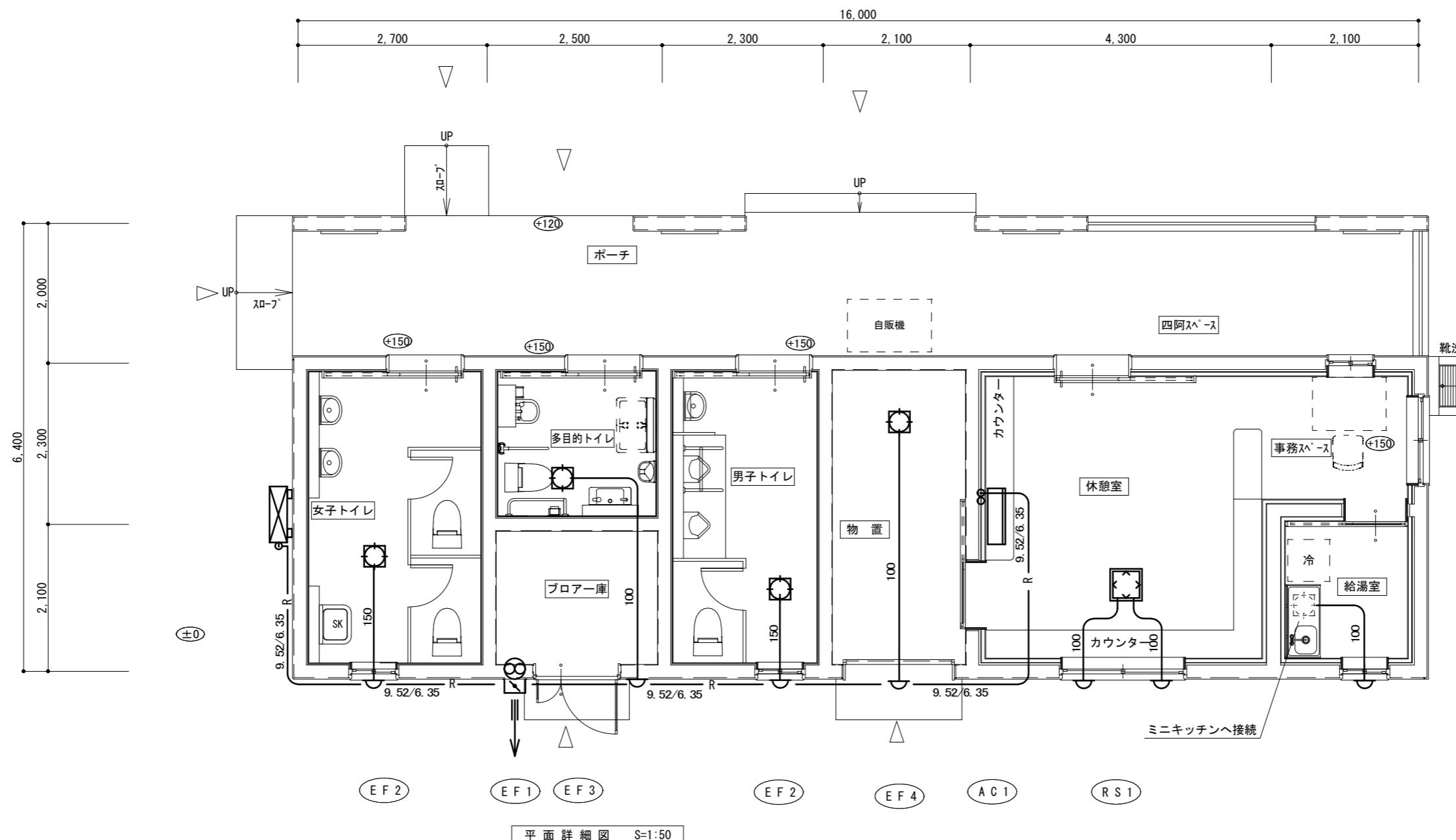
備考



一級建築士事務所
青森県A1第495号
株式会社工藤金正建築設計
1級建築士第153872号
弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559 工藤金正

承認	担当	製図	年月日	工事名称	縮尺	設計番号
				年月日		
Kudou	Sugimi	Sugimi	R 7. 3	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事	1: 50	M — 06
				衛生設備 平面詳細図		

記号	名称	仕様	電気消費量	数	備考
A C 1	空調機(壁掛型)	冷房能力 C : 3.6 KW (~4.3 KW) 暖房能力 H : 4.2 KW (~6.9 KW). ドレンアップメカ. コードレスRSW. 室内外渡り配線. 配管. 室外機ブレケット式.	1相200Vx 1,130 W	1	休憩室
R S 1	全熱交換器(ロスナイ)	100 mm x 100 m ³ /h x 30 Pa. 天井埋込形. 温度交換率 62 %. 電気式シャツタ. SUS製フード(網付). 他付属品共	1相100Vx 50.5 W	1	休憩室
E F 1	換気扇	25 cm x 450 m ³ /h x 10 SP. 格子形. 連動式シャツタ. 引きひも付. SUS製フード(網付). 他付属品共	1相100Vx 26 W	1	プロア-室
E F 2	天井扇	150 mm x 300 m ³ /h x 60 Pa. プラスチックボディ. 深形SUS製セルフード(網付). 他付属部品共	人感センサ-付	1相100Vx 48 W	2 男女トイレ
E F 3	天井扇	100 mm x 100 m ³ /h x 30 Pa. プラスチックボディ. 深形SUS製セルフード(網付). 他付属部品共	人感センサ-付	1相100Vx 16.5 W	多目的トイレ
E F 4	天井扇	100 mm x 100 m ³ /h x 30 Pa. プラスチックボディ. 深形SUS製セルフード(網付). 他付属部品共		1相100Vx 13 W	物置
W C 1	合併式浄化槽	FRP製 100 人槽. 20 PPm. 流入-自然. 放流-ポンプアップ方式. プロア-ポンプ. 法定付属部品共 詳細は別紙図面参照 *電源は1相100V用とする	プロア- 400Wx 2台 排水ポンプ 150Wx 2台	1	屋外

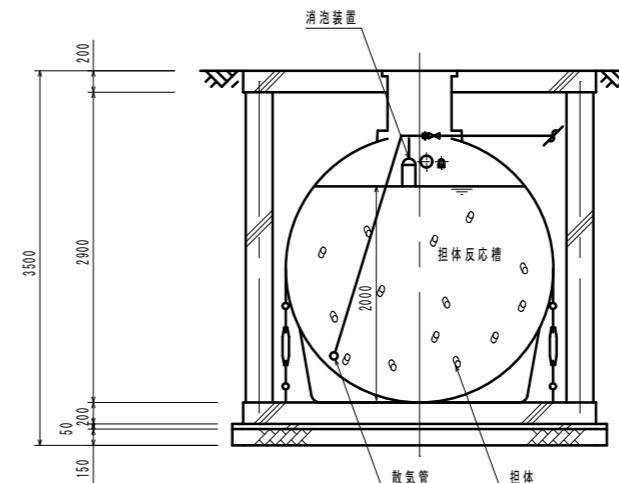
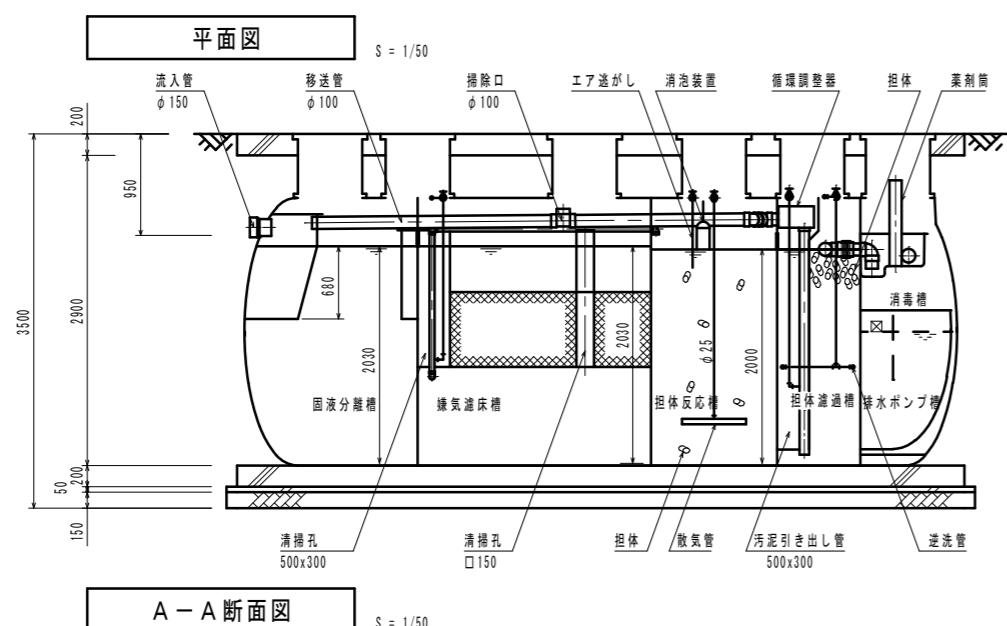
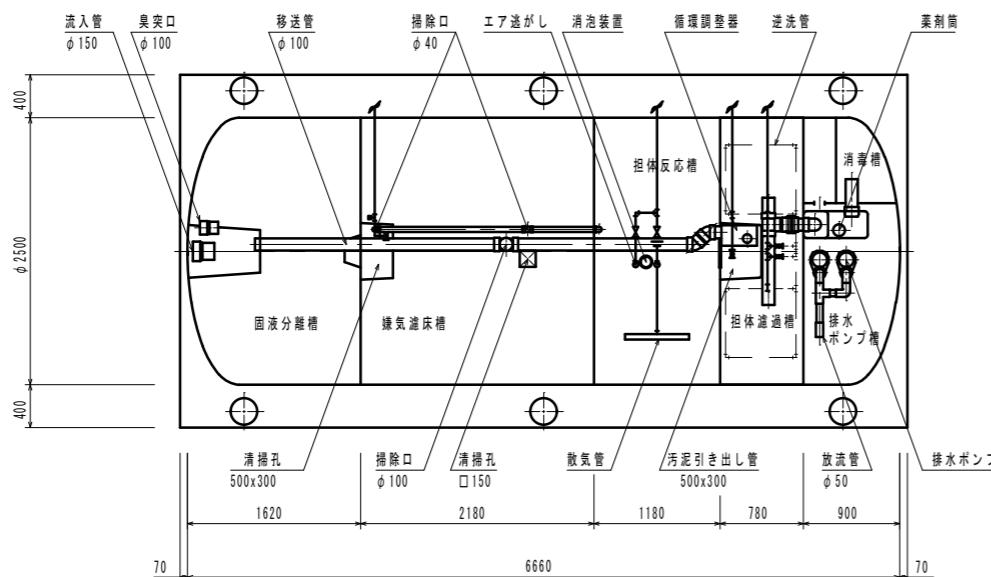
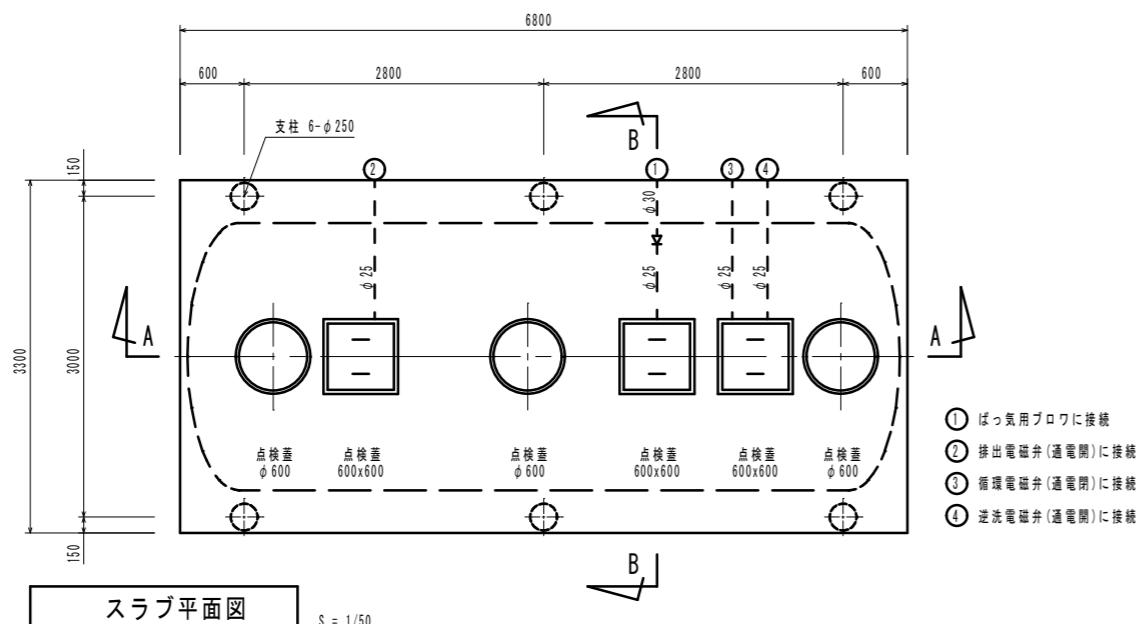


備考



一級建築士事務所 青森県A1第495号
株式会社工藤金正建築設計 1級建築士第153872号
弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正

承認	担当	製図	年月日	工事名称	縮尺		設計番号
					1:50	M—07	
Kudou	Sugimi	kinura	R 7. 3	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事			図面番号
				空調設備 平面詳細図 機器表			M—07



B-B断面図

8 - 1 / 8

設計仕様

型 式	間接式
認定番号	100-1000
適合認定番号	100-1000
処理対象人員	100 人
日平均汚水量	15 m ³ /日
流入水質	BOD 260 mg/L
流出水質	BOD 20 mg/L

槽名	有効容量(m3)
固液分離槽	6.19
嫌気滤床槽	9.22
担体反応槽	4.92
担体滤過槽	2.82
消毒槽	0.45
排水ポンプ槽	1.48

品名	台数	仕様
ばつ氣用プロワ	2	20 A × 300 L /分 × 0.02 MPa × 400 W HC-251S
排水ポンプ	2	40 A × 110 L /分 × 4.0 m × 150 W 32PN2.15S

[注記] 開口の表示は内径寸法とする。

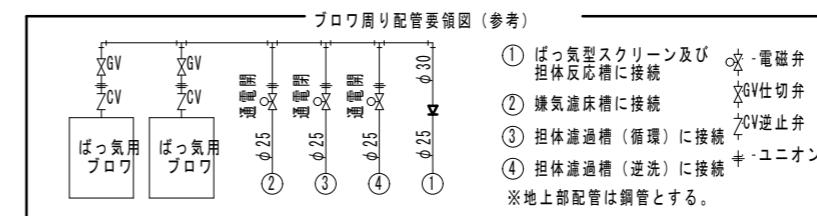
ベースと架台の間に隙間があるときはスペーサを入れるかモルタルを充填すること。

全高は外寸とする。

プロワの設置距離により各空気配管口径は大きくなる場合がある。

左右2ヶ所ある送気口（逆洗用配管）のうち、使用しない方は必ずキャップをのり付けすること。

プロワメイン管はφ30とし、プロワ設置場所によってはさらに大きくなる場合がある。



* 基礎及び土工事全般は建築工事

備考 _____

一級建築士事務所
株式会社 工藤金正建築設計
〒274-0042 千葉県印西市印西2-10-2 TEL 0471-315011 (FAX) 0471-315022

青森県A1第495
1級建築士第15387

承認

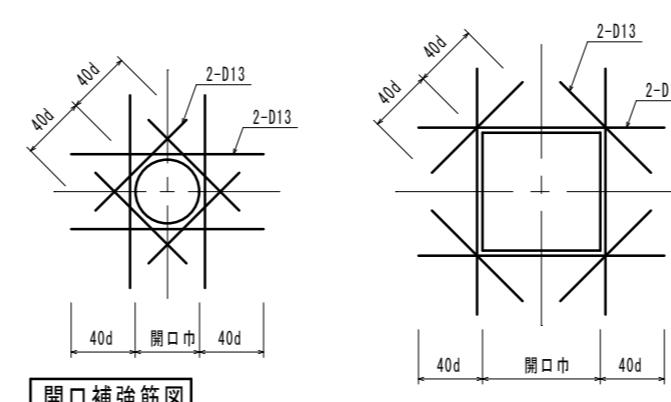
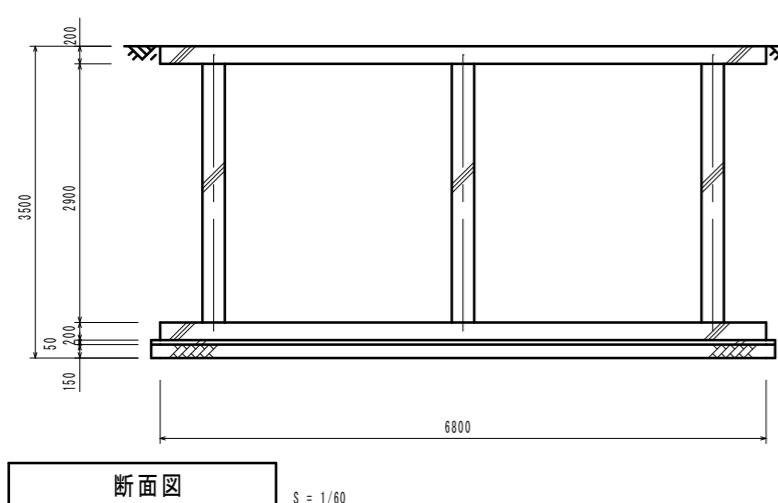
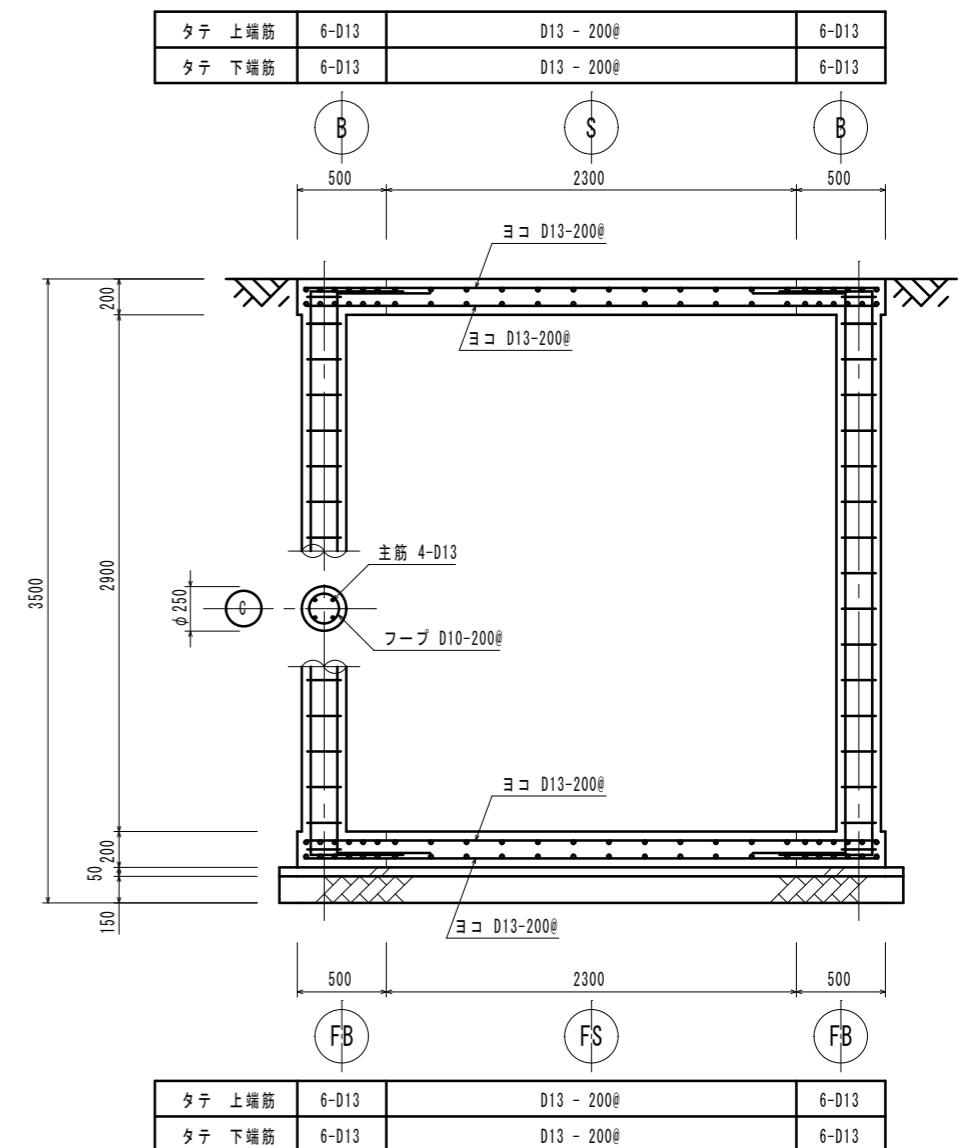
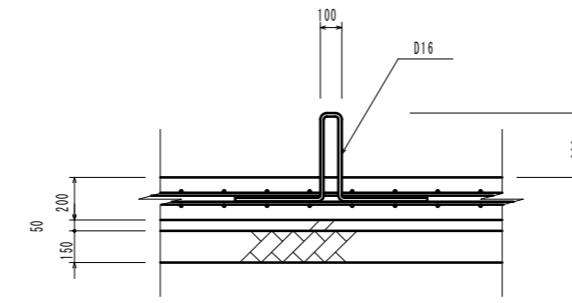
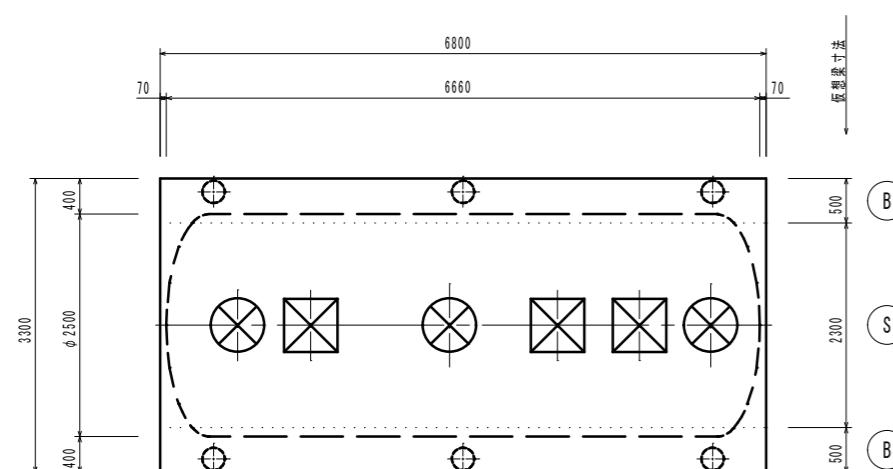
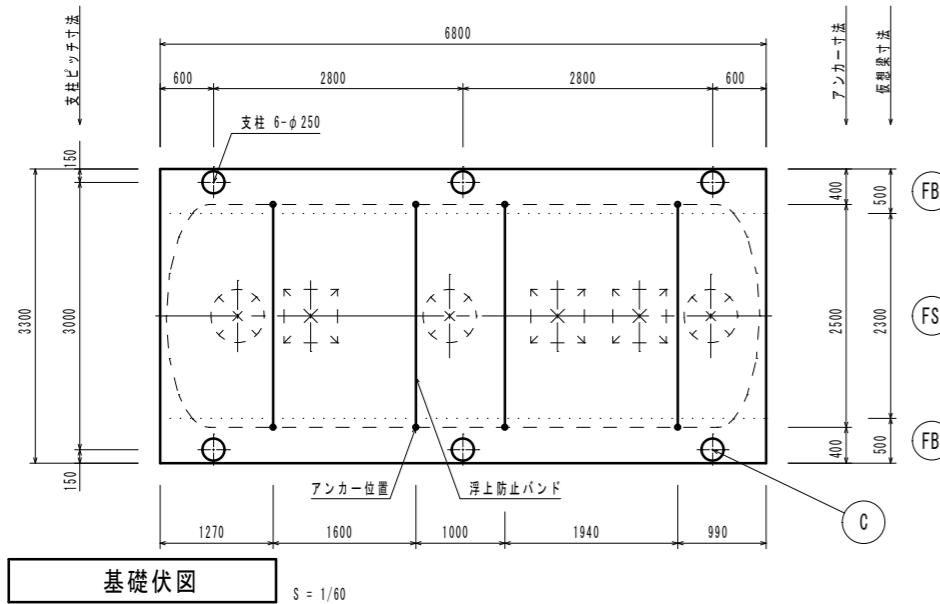
担当

製図
kimura

年月日

事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休憩便益施設整備工事
面名称	合併浄化槽設備 平面図 断面図 仕様書等

縮 尺 設計番号 —
図面番号 M — 08



共通事項	
名 称	仕 様
有筋コンクリート	FC 21 N/mm ²
捨コンクリート	FC 18 N/mm ²
鉄 筋	SD 295A
地 基	砂利地盤

* 基礎及び土工事全般は建築工事 * 参考図面

備考



一級建築士事務所
株式会社 工藤金正建築設計
弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559 工藤金正

青森県A1第495号

承認

担当

製図

年月日

工事名称

令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事

縮 尺

設計番号

—

図面名称

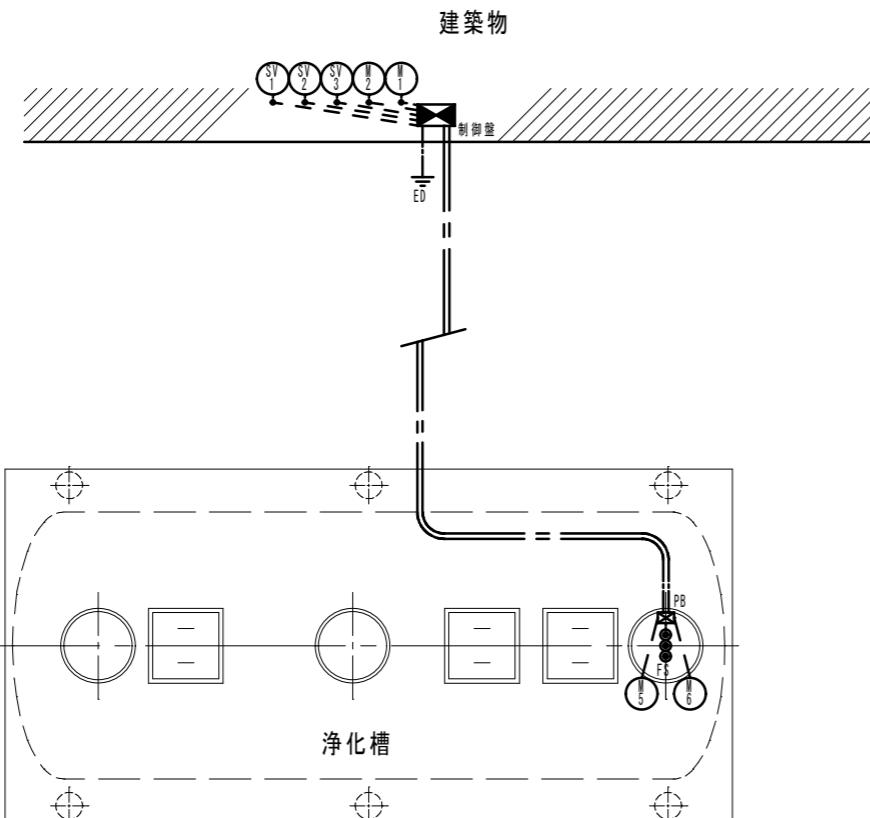
合併浄化槽設備 平面図、断面図、躯体図

$S : 1/60$

図面番号
M — 09

動力配線図

S = 1/50



記号	機器名称	容量	電線、ケーブル	電線管	PB (VE)
M 1	No.1 ばっ氣用プロワ	400 W	CV 2□-3C	22	_____
M 2	No.2 ばっ氣用プロワ	400 W	CV 2□-3C	22	_____
M 5	No.1 排水ポンプ	150 W	CV 2□-3C	28	_____
M 6	No.2 排水ポンプ	150 W	CV 2□-3C	150×150×100	_____
FS	排水ポンプ槽フロートスイッチ	x 3	CVV 2□-3C	22	_____
SV 1	排出電磁弁	—	CVV 2□-3C	22	_____
SV 2	循環電磁弁	—	CVV 2□-3C	22	_____
SV 3	逆洗電磁弁	—	CVV 2□-3C	22	_____
ED	D種接地極	—	IV 2.0	16	_____

[注記]

全ての電線管はHIVE又は、PF管とする。

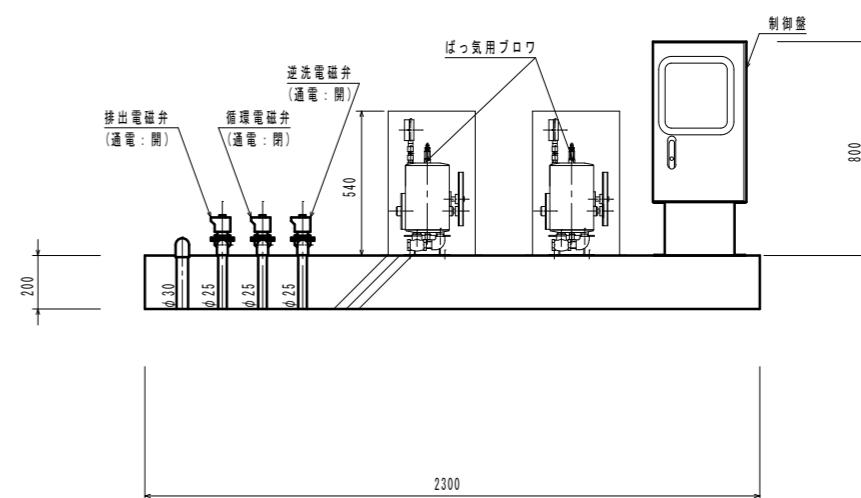
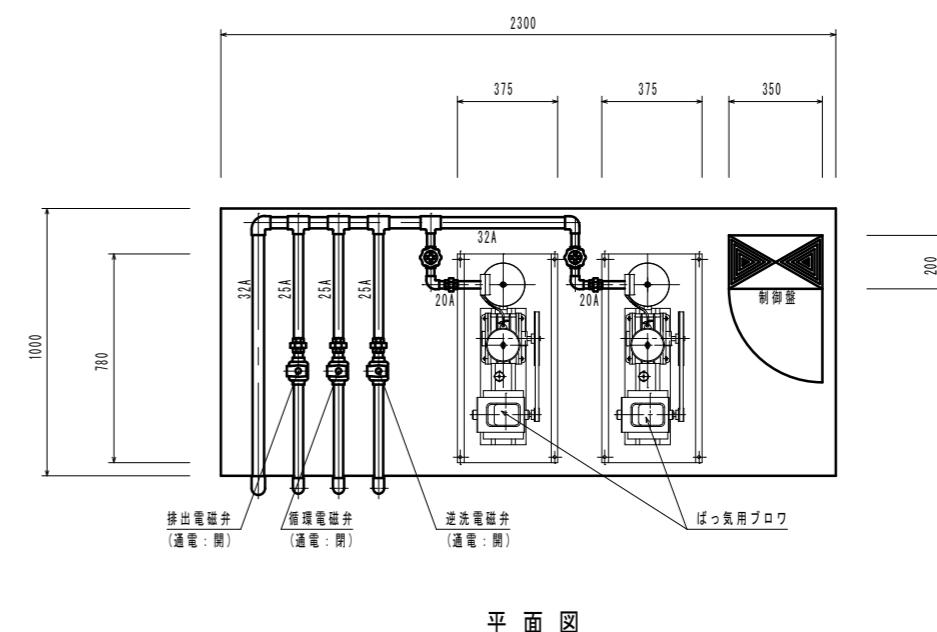
ケーブル及び電線管は制御盤までの距離により変更することがある。

D種接地極は一次側にて接地する場合は不要とする。

プロワまわり配管参考図

S = 1/20

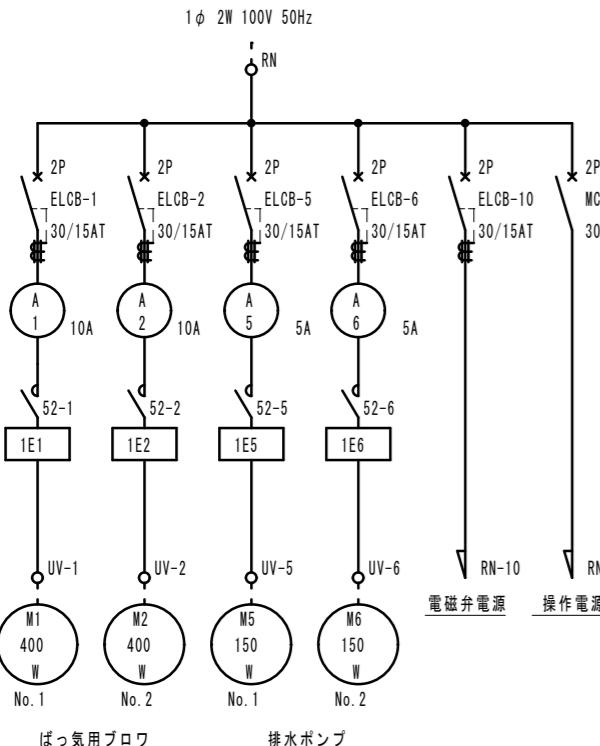
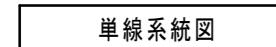
※地上配管は銅管とする。



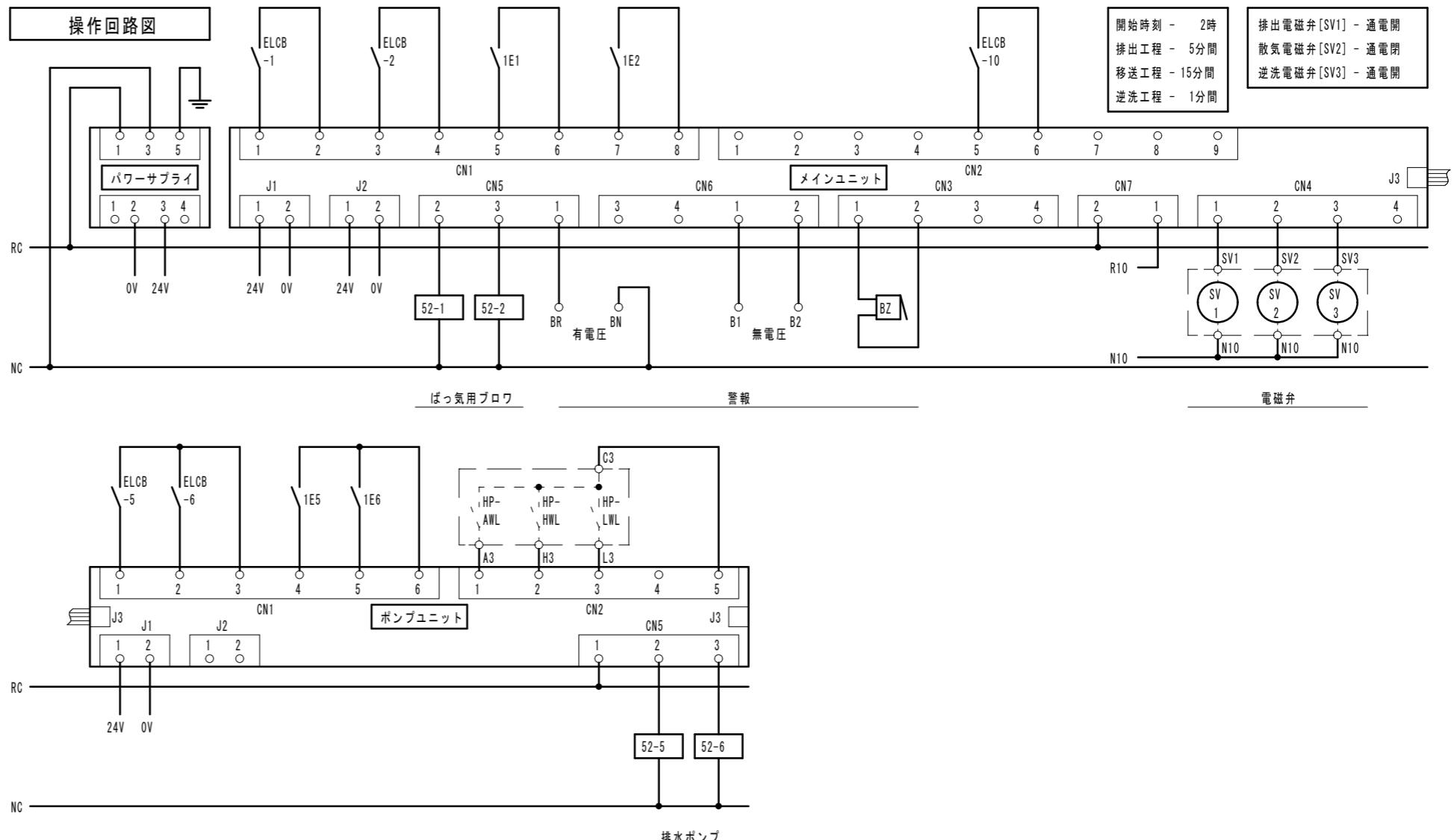
* 基礎は建築工事

* 参考図面



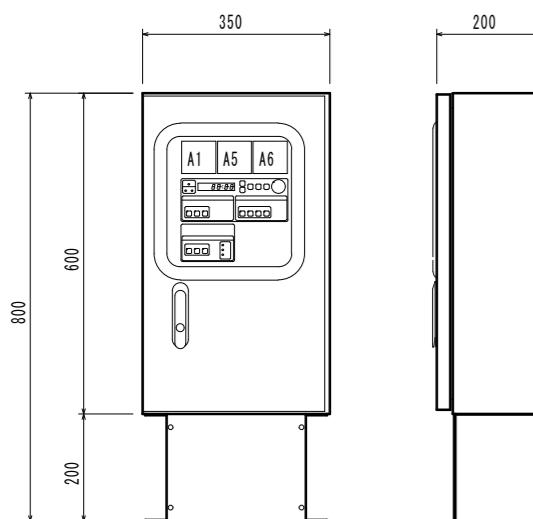


操作回路図



函体寸法図

S=1/10



正圖

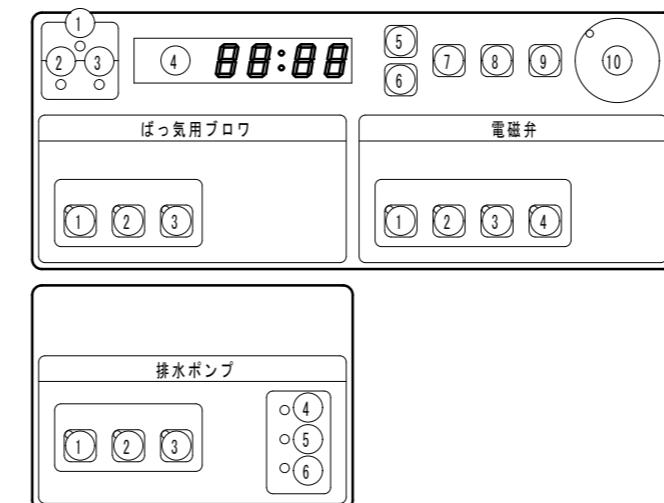
側面図

函体仕

本体	1.6mm SPCC
扉	1.6mm SPCC
取付板	1.6mm SPCC
架台	2.3mm SPCC
塗装色	5Y7/1(ページュ系)

[注記]ばっ氣用プロワは2台同時運転とする

操作パネル図



メイン	
①	[電源]ランプ
②	[漏電]ランプ
③	[過負荷]ランプ
④	時刻・パラメータ表示部
⑤	[UP]ボタン
⑥	[DOWN]ボタン
⑦	[確定]ボタン
⑧	[戻る]ボタン
⑨	[設定確認]ボタン
⑩	[ブザー停止]ランプ・ボタン

排水ポンプ	
1	[自動/手動]ランプ・ボタン
2	[入/切]ランプ・ボタン(No. 1)
3	[入/切]ランプ・ボタン(No. 2)

	電磁弁
1	[自動] / [手動] ランプ・ボタン
2	[手動] ボタン 排出工程ランプ
3	[手動] ボタン 移送工程ランプ
4	[手動] ボタン 逆洗工程ランプ

* 参考図面

備考



一級建築士事務所
株式会社 工藤金正建築設計
弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL 0172(27)1559

青森県A1第495
1級建築士第153872
工藤 金

号 号 正	承 認 Kudou	
-------------	--------------	--

担当	製
Sugi mi	kimu

図	年月日
ura	R 7. 3

工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事
図面名称	合併浄化槽設備 電気設備 系統図

縮 尺	設計番号	—
NON	図面番号	M — 11